

皇學館大学研究開発推進センター紀要 第八号  
令和四年三月一日発行（抜刷）

資料

日本後紀史料

（稿）

番外篇

——『新訂・新撰姓氏録』第一～十卷——

史料編纂所

## 日本後紀史料（稿） 番外篇 —— 『新訂・新撰姓氏録』第一～十卷 ——

## 史料編纂所

## はしがき

『新撰姓氏録』は、京畿内を本貫地とする諸氏族一千百八十二氏について、出自・姓氏の由来・系譜などの情報を集成した全三十巻にも及ぶ書物（別に目録一卷を附す）である。現伝する『新撰姓氏録』の写本は、目録にあつた諸氏族名の下に原本の要点を抽出した、一種の抄本であつて、原本のままではない（田中卓「日本紀講書と新撰姓氏録の撰述」『田中卓著作集』第九巻〈国書刊行会、平成八年九月八六～八七頁〉）。現存の写本に「新撰姓氏録抄」という題簽や内題を有するものがあるのも、こうした事情に由来する。

『新撰姓氏録』の写本には、大別して二つの系統がある。<sup>①</sup> いわゆる建武二年系本と延文五年系本とである。これは、奥書にそれぞれ建武二年（一一三五）、延文五年（一一三〇）の年紀があることに因むものだが、建武二年系本の系統としては、『新撰姓氏録』現存最古の写本である京都大学附属図書館所蔵の菊亭文庫本や西尾市立図書館岩瀬文庫所蔵の柳原紀光旧蔵本<sup>②</sup>が知られており、延文五年系本については、佐伯有清氏が『新撰姓氏録の研究』本文篇（吉川弘文館、昭和三十七年七月）の底本に採用された神宮文庫所蔵の御巫清直旧蔵本や和歌山大

学附属図書館所蔵の度会延良書写本などが名高い。

二系統の写本のうち、建武二年系本は、それなりに首尾一貫した写本だが、いっぽうの延文五年系本は、二つの異なる本からなる複合本である。佐伯氏によれば（『新撰姓氏録の研究』本文篇〈前掲〉二二～二二頁）、建武二年系本と同じ流れに属する第一巻より第二十一巻までの、しかも序文や右京皇別の山道真人<sup>やまぢ</sup>以下酒人真人までの十三氏を脱した不完全な残簡本に、系統の異なる第二十一巻～第三十巻の残簡本を結合させたものだという。あるいは逆に、第二十一巻～第三十巻の残簡本に、建武二年系本の第一～第二十一巻を併せたものとみること可能だが、<sup>③</sup> いずれにしても、延文五年系本では、別系統の写本を安易に補綴した結果、第二十一巻が重複するという不手際が生じている。しかも、後述のように、第二十一巻以降の諸巻では、建武二年系本の記述とのあいだに顕著な相違があり、いずれを是とするかは写本の優劣にもかかわる重要なポイントである。

従来、もつともよく利用されてきた『新撰姓氏録』のテキストは、佐伯氏が校訂された『新撰姓氏録の研究』本文篇（前掲）所載の「校訂新撰姓氏録」だが、これは、前述のように、延文五年系本の代表的写本である御巫清直旧蔵本を底本としている。『新撰姓氏録』研究の第一人者である佐伯氏が延文五年系本を扱ったことで、一般にはこの系統の写本のほうがすぐれていると信じられているが、

かならずしもそうとは云えない。戦後逸早く『新撰姓氏録』の研究に着手された田中卓<sup>なむ</sup>氏は、むしろ建武二年系本のほうを善本とみておられる。両氏が戦後の『新撰姓氏録』研究を牽引してきたことは、衆目の一致するところだが、その両氏の判断が真つ向から対立しているところに『新撰姓氏録』の写本研究のむつかしさがある。

いま、佐伯氏の『新撰姓氏録の研究』本文篇（前掲）の「新撰姓氏録諸本の研究」や田中氏の研究「姓氏録、延良本の出現と菊亭本の意義」（『田中卓著作集』第九卷（国書刊行会、平成八年九月）所収）に拠りつつ、建武二年系本・延文五年系本の相違点を示すと、つぎの四点に整理できる。

- ① 延文五年系本には、序文が附されていない。
- ② 延文五年系本は、「三〇」岡真人の直後の「右京皇別」の四字から「四四」為奈真人の直前「撰津国皇別」の五字までの記載が脱落している。
- ③ 延文五年系本では、第二十一巻が重出している。
- ④ 第二十一巻以降の記載において、建武二年系本で「之後」とされるところが、

延文五年系本の第二十一巻の重出巻以下ではかなりの数「出自」となっている。

田中氏は、①・②が延文系本の大きな缺陷であることを指摘するとともに、③・④にあげた第二十一巻以降の内容についても、建武二年系本のほうが原本の面影を伝えている点があると主張しておられる（『姓氏録、延良本の出現と菊亭本の意義』〈前掲〉二三五～二三九頁）。そして、こうした判断のもとに、自身の「新校・新撰姓氏録」（『田中卓著作集』第九卷〈前掲〉所収）では、全体としては佐伯氏の『新撰姓氏録の研究』本文篇を底本としながらも、第二十一巻以降については、建武二年系本の古写本である菊亭文庫本を底本にし、佐伯校本を併載するという方法を採用している。

では、いずれの見立てが正しいのであろうか。

右の①・②については、佐伯氏自身も、「延文五年系本の缺点であることは辯

護の餘地がない」（『新撰姓氏録の研究』本文篇〈前掲〉一二頁）と、その不備を認められておられる。しかし、③・④については「充分注意する必要がある」として、延文五年系本の特徴である第二十一巻の重出巻から第三十巻の内容には「顕著な注目すべき特色がある」ことに目を向けておられる。

佐伯氏のいう「顕著な注目すべき特色」とは、序にいう「三例」の記載が、建武二年系本の第二十一巻以降と延文五年系本の第二十一巻の重出巻以降の部分とでは大きく異なる点を指している。具体的には前掲④をいう。

これらの相違について、田中氏は、「両様の書法が、初めからあつた筈はない。何れかが元で、何れかが後に改竄したと見るべきであらう」（『姓氏録、延良本の出現と菊亭本の意義』〈前掲〉二二六頁）と指摘される。そして、同氏は、序文が「出自」と「之後」について、それぞれ「枝別之宗・特立之祖。書曰「出自」、「宗氏古記雖云遺漏。而立祖不謬。但事涉狐疑。書曰「之後」」とのべているのを、「出自」と「之後」の書法の軽重はおのずからあきらかだとして、自らの家系を權威づけるための工作が行はれたとすれば、それは「之後↓出自」の方向で改竄されたと考へるのが自然であり、その逆に、「出自」系の氏族が、故意に「之後」系に改めたといふことは、常識的にもありえない。としておられる（同上、二二六～二二七頁）。同氏が建武二年系本を重んじるのも、この点が大きな拠りどころとなっている。

これに対し、佐伯氏は、  
いわゆる「三例」を出自の明確さの度合いを表示するものとして考えた場合、諸蕃の諸氏の多くが、延文五年系本では「出自」となっているのに疑問をさしはさまねばならないのは当然である。（『新撰姓氏録の研究』本文篇〈前掲〉一八頁）

とのべつつも、じつは「三例」とはそうしたものではないと主張される。氏の論点は、以下のとおりである。

いわゆる「三例」を確実性の程度を示すための類別としてではなく、諸氏を配列するのに必要な本枝関係の表示法と考え、そうして「出自」の例を、「枝別之宗」あるいは「特立之祖」から直接系をひく親近の氏、すなわち本宗の氏と考えれば、むしろ支族の少ない諸蕃諸氏の性格からみて、その本宗の多くが「出自」となっているのは当然で、この方が原本のままを伝えたものというべきであって、いよいよもって延文五年系本の優位性は強固さを増す。(同上、一八頁。傍点＝荆木)

佐伯氏も自説を堅持して一步も譲らぬ構えだが、「三例」が出自の明確さの度合いを示すものとする田中氏と、諸氏を配列するのに必要な本枝関係の表示法ととらえる佐伯氏とは、そもそも議論が噛み合っていない。「三例」の理解については、公平にみて佐伯説に分があるように思うが、「之後」が古記に遺漏のある場合に用いられていることも事実であって、その意味では田中氏の主張にも一理ある。

このままでは議論は平行線なので、この問題については別な角度からのアプローチが必要である。そこで筆者が注目したのが、『日本後紀』以下『日本三代実録』に至る四国史にみえる改賜姓記事である。国史の改賜姓記事には、「枝別(之別・別祖)」「苗裔(裔・裔孫)」「出自」「同祖(同族)」「之後」「其先(国人)など(其先(国人)は、いわゆる諸蕃のみに限定される特殊な書式)、多様な表記によって祖先を示しているが、こうした用例を悉皆調査することによって、「出自」や「之後」という表現の意味するところが正しく理解できるのではないかと考えたのである。詳細は別稿に譲るが、結論のみを云えば、右の用法のなかで「出自」が格段権威のある表記だという徴証は、ついに見出しえなかった。そりどころか、「出自」が三十例しかないのに対し、「之後」は七十八例にも及ぶのであって、九世紀以降にあつては(それは、『新撰姓氏録』抄本が流布していく時代でもある)、むしろ、「之後」という表現が一般的であったことが知られる。

さて、そうすると、『新撰姓氏録』の抄出・筆写の段階で、田中氏の想定とは逆に、「出自」→「之後」の方向で書き換えのおこなわれた可能性もじゅうぶん考えられる。しかも、それは、意図的な改竄などではなく、当時の筆法に就いた、きわめて自然な改変だったと判断されるのである。

こうした私見が正鵠を射たものだとすると、田中氏の「新校・新撰姓氏録」のように、建武二年系本を底本とする校訂本がはたして最良の善本なのかは、いささか疑問に思える。むしろ、誤脱が少ないという点では建武二年系本に軍配があるが、延文五年系本の第二十一卷(重出卷)以降の記述も捨てがたいのはたしかである。<sup>5)</sup> 今回の校訂本作成で筆者がもつとも腐心したのはこの点であつて、試行錯誤の末、以下のような方針を選択した。

まず、全巻を通じて、書写の年代が古く、なおかつ脱落のない建武二年系本の菊亭文庫本を底本とする。ただし、同本は虫損箇所が少なからずあるので、これについては、同じ建武二年系本の岩瀬文庫所蔵の柳原紀光本などによって補う。

つぎに、第二十一卷(重出卷)以降の取り扱いである。私見にしたがい、延文五年系本を是とし、底本を途中で変更することも考えたが、鬮本があるならともかく、建武二年系本が全巻完備している以上、途中での変更は適切でない。しかし、第二十一卷(重出卷)以降については、延文五年系本も無視できないので、両者の相違点はなんらかの形でそれを示す必要がある。そこで、いささか煩瑣なるが、第二十一卷以降には建武二年系本とともに延文五年系本の代表的写本である度会延良本(第二十一卷に関しては、同本の重出卷)の当該箇所を併載する方法を採用ことにした。

これは、田中氏の「新校・新撰姓氏録」を参考にしたものである。同氏の「新校本」では、建武二年系本の菊亭文庫本を底本として上段に掲げ、延文五年系本を底本とした佐伯校本を下段に对照して組み、その異同を一覧できるように工夫されている。ここに示す校訂本もそれにヒントを得たものだが、ただ、写本に対する

評価には田中氏と大きな隔たりがある。たとえ体裁は似ていても、意図するところは大きく異なっていることをご理解たまわれれば、幸いである。

因みに、筆者が新たな校訂本の作成を思い立ったのは、延文五年系本に対する評価が田中氏とは異なることだけが理由ではない。別稿でも指摘したように、佐伯氏の「校訂新撰姓氏録」や田中氏の「新校・新撰姓氏録」には校異注の誤記や脱漏が少なからず存在する。そのため、校異に関する、より正確な情報を提供する必要を感じたからである。不本意ではあるが、両本の校訂に不備がみられる場合はそれを校異注において指摘したのも、そうした理由によるものである。

先行校訂本の不備を克服し、より良い校訂本の作成を目指す筆者の試みがどれほど成功しているかは識者のご判断に委ねるしかないが、以上のような次第でここに試作の校訂本を公開し、ご批判を仰ぐ次第である。

(荊木美行)

## 【凡例】

一、本校訂本では、京都大学附属図書館所蔵の菊亭文庫本（以下、「底本」と称する）を底本として用いる。

一、字形については、底本のなかでも一定しないところがあるが（たとえば、京と京・国と國・号と號・土と土など）、校訂本の作成にあたり、以下のような原則を立てる。

(一)原則として正字に統一し、字形を改めたものがある。おもな例は、以下のとおりである。

悪↓悪 為↓爲 違↓違 遺↓遺 囧↓囧 羽↓羽 運↓運 衛↓衛 遠↓遠  
 悦↓悦 海↓海 盖↓蓋 葛↓葛 卷↓卷 帰↓歸 龜↓龜 京↓京 強↓強  
 近↓近 恵↓恵 経↓經 繼↓繼 藝↓藝 兼↓兼 遣↓遣 彦↓彦 戸↓戸  
 吳↓呉 罌↓岡 高↓高 国↓國 坐↓坐 濟↓濟 採↓採 奈↓參 讚↓讚

卅↓卅 使↓使 社↓社 者↓者 舍↓舍 弱↓弱 巡↓巡 所↓所 緒↓緒  
 諸↓諸 淨↓淨 情↓情 將↓將 勝↓勝 真↓真 盡↓盡 隨↓隨 青↓青  
 勢↓勢 清↓清 請↓請 絶↓絶 説↓説 搆↓搆 前↓前 祖↓祖 曾↓曾  
 送↓送 棄↓桑 造↓造 蔵↓蔵 贈↓贈 即↓即 速↓速 孫↓孫 尊↓尊  
 從↓從 臺↓臺 脱↓脱 達↓達 猪↓猪 朝↓朝 直↓直 鎮↓鎮 岳↓圖  
 通↓通 都↓都 土↓土 逃↓逃 道↓道 等↓等 稻↓稻 適↓適 藤↓藤  
 德↓德 鄒↓那 巨↓尼 忍↓忍 半↓半 判↓判 飯↓飯 羨↓羨 倭↓備  
 平↓平 并↓并 穗↓穗 宝↓寶 豐↓豐 迷↓迷 要↓要 來↓來 掠↓掠  
 麗↓麗 歷↓歷 曆↓曆 連↓連 麻↓鹿

これらについては、諸写本間の字形の異同が問題になる場合を除き、一々校異注で断ることはしない。なお、印刷の都合上、多少のフォントのデザインが異なる点が生じる場合があるが、これは考慮しない。

(二)ただし、底本の字体と正字体が大きく異なるものや、古くからの用字をとどめると思われるものについては、底本の字体を尊重する。おもな例は、以下のとおりである。

穀(穀)・淵(淵)・塩(鹽)・鴈(雁)・鑿(鑑)・崗(岡)・号(號)・膏(膏)・船(船)・疎(疎)・蕪(蘇)・尔(爾)・柿(柿)・迓(邇)・躰(體)・玠(珍)・豆(氏)・柀(禰)・嶋(島)・並(苙)・閑(閑)・弥(彌)・与(與)・留(留)

一、底本では、上表・序を除く、氏族名の下の本系記事は、小字二行割りの体裁をとり、原則として上下二段に記されている。本校訂本では、これを一段に改めている。ただし、この体裁を尊重し、本校訂本では標題の氏族名を14ポイント、それにつづく本系の記載の12ポイントの活字とした（ちなみに、延文五年系本は標題も本系も同じ大きさの字で記す）。

一、底本の振り仮名は省略に従う。  
 一、読者の便宜を考慮し、原文にはない句読点と返り点を施す。

一、校合には、佐伯校本や田中校本が重視する建武二年系本の岩瀬文庫所蔵の柳原家旧蔵本（以下、「柳原本」）、延文五年系本の和歌山大学所蔵の度会延良書写本（以下、「延良本」）・神宮文庫所蔵の御巫清白旧蔵本（以下、「御巫本」）を用いる。なお、校異欄では、これら三本を総称して「諸本」と表記する場合がある。

一、柳原本・延良本・御巫本と底本との字句の異同については、校異欄に出来る限り詳しく注記する。御巫本の異本の注記で朱筆のものについてはその旨を断る。なお、注記は、漢字片假名交じりの表記を採り、簡潔な文語体で記す。

一、校異は、原則として底本↓諸本↓諸板本↓諸活字本の順で排列するが、板本・活字本は、校訂上これら諸本の情報が必要な場合に限る。なお、田中校本・佐伯校本の校異注に不備のある場合は、校異注の末尾にその旨を注記する。

一、校異は、頭注の形で掲出する校訂本が多いが、今回の校訂本では、本文との対照の便宜を考慮し、氏族ごとに本文の記事のあとに8ポイントの活字で掲出する。ただし、上表・序については、文脈を考慮しつつ、適宜分割し、まとまりごとに校異を掲げる。

一、第二十一巻については、校合に用いた延良本・御巫本では初出巻・重出巻が重複しているので、校異では延良本<sup>㊦</sup>・御巫本<sup>㊦</sup>・延良本<sup>㊧</sup>・御巫本<sup>㊧</sup>の表記を用いて両者を区別する。

一、その他、文字の校訂にあたっては、上記以外の諸写本・諸板本・活字本も参照したが、そのなかのおもなものの名称（敬称略。括弧内は略称）は、つぎのとおりである（五十音順）。

〔写本〕（\*は佐伯氏のいう混成本もふくむ延文五年系本であることを示す）

賀茂季鷹旧蔵本（賀茂本）

上田正昭旧蔵本（上田本）

関西大学内藤文庫本（内藤本）

\*宮内庁書陵部所蔵・大橋長憲旧蔵本（大橋本）

\*宮内庁書陵部所蔵・小西新右衛門本（小西甲本）

\*宮内庁書陵部所蔵・鷹司家旧蔵本（鷹司本）

國學院大學図書館所蔵・武田祐吉旧蔵伊藤介夫旧蔵本（有不爲齋本）

\*國學院大學図書館所蔵・武田祐吉旧蔵林讀耕齋本（林讀耕齋本）

国立公文書館内閣文庫所蔵・昌平坂学問所旧蔵本（昌平本）

\*国立公文書館内閣文庫所蔵・中原師英旧蔵本（中原本）

\*国立歴史民俗博物館所蔵・田中教忠旧蔵本（田中本）

塩竈神社所蔵・村井古巖旧蔵本（村井本）

\*神宮文庫所蔵・度会益弘書写本（益弘本）

\*神宮文庫所蔵・林崎文庫旧蔵本（林崎本）

静嘉堂文庫所蔵・色川三中旧蔵本（色川乙本）

\*多和文庫所蔵・香木舎文庫所蔵本（香木舎本）

\*天理大学附属天理図書館所蔵・吉田文庫甲本（吉田甲本）

天理大学附属天理図書館所蔵・吉田文庫乙本（吉田乙本）

\*天理大学附属天理図書館所蔵・脇坂安元旧蔵本（脇坂本）

\*東京大学史料編纂所所蔵・小西新右衛門本（小西乙本）

\*前田育徳会尊経閣文庫所蔵本（前田本）

\*無窮会神習文庫所蔵・井上頼因旧蔵本（井上本）

無窮会神習文庫所蔵・色川三中旧蔵本（色川甲本）

\*無窮会神習文庫所蔵・内山真龍『新撰姓氏録註』（内山註本）

無窮会神習文庫所蔵・西山政年校合本（西山本）

※右の諸写本では、柳原本の不備を補うものとして有不爲齋本や村井本を参照した。なお、写本の解題は、佐伯氏『新撰姓氏録の研究』本文篇（前掲）・考證篇一（吉川弘文館、昭和五十六年）・拾遺篇（同上、平成十三年）や

田中氏「姓氏録、延良本の出現と菊亭本の意義」（前掲）・拙稿「賀茂季鷹  
旧蔵『新撰姓氏録』について」（拙著『記紀皇統譜の基礎的研究』〈汲古書  
院、平成二十三年三月〉所収）などを参照されたい。

〔板本〕

白井宗因板本（寛文八年刊、白井板本）  
松下見林板本（寛文九年刊、松下板本）  
群書類従本（文化末年頃刊か、群従本）  
橋本稲彦板本（文化四年刊、橋本板本）

※校異注では、板本四種を総称して「諸板本」と言う場合がある。

〔活字本〕

栗田寛『新撰姓氏録考證』（考證本）〔明治三十三年刊、本文は主として橋本板  
本に拠る〕

大倉精神文化研究所『神典』（神典本）〔昭和十一年刊、本文は考證本に拠る〕  
物集高見『皇學叢書』（皇學本）〔昭和三年刊、底本は橋本板本〕

佐伯有清『新撰姓氏録の研究』本文篇第八刷（平成七年刊、底本は御巫本）所  
収「校訂新撰姓氏録」（佐伯校本）

田中卓『新撰姓氏録の研究』所収「新校・新撰姓氏録」初版（平成八年刊、底  
本は佐伯校本・菊亭本）（田中校本）

※田中校本に関しては、第二十一巻以降の建武二年系本を底本とする上段本  
文、佐伯校本を底本とする下段本文を、それぞれ田中校本（甲）・田中校  
本（乙）と称する。

佐伯有清「菊亭文庫本新撰姓氏録翻刻」（同氏『新撰姓氏録の研究』拾遺篇〈前  
掲〉所収）（佐伯翻刻）

延敏洙編、金恩淑・李根雨・徐甫京・朴宰用著『新撰姓氏録』上中下（東北ア

ジア歴史財団、ハンゲル）（延本）

一、読者の利用の便を考慮し、田中氏発案の「録番号」を採用し、氏族名の右傍  
に「」を附して番号を示した。標題氏族だけではなく、文中に登場する他  
の氏族名についても同様である。

一、校訂に用いた記号は、次の二つである。

○ ……校訂上は底本（菊亭本）のままよいが、その字句に関して、他本  
に異同が見られることを示す。

● ……その字句または体裁に関して、底本を他本によって改訂したことを  
示す。その根拠については校異注に記す。なお、「」「々々」「」  
の記号を漢字に置き換えた場合、(一)虫損による闕字を他本で補う場  
合にも、それぞれこの記号を用いる。

一、前述のように、底本の異体字を機械的に正字に置き換えた字については、原  
則として校異注で改変を断ることはしないが、写本系統を考える上で参考に  
なると思われる一部の文字の異同（たとえば、京↓京、置↓岡、備↓備など）  
については○を附して校異注でふれている。

一、右の記号を附した字句について、佐伯校本・田中校本に校異の誤記・誤脱が  
ある場合は、その旨を附記する。

一、置字は原則として「々々」の形に統一したが、「」「」についてはそのま  
まの形で記す。

一、「はしがき」でものべたように、第二十一巻以降については、底本とともに、  
延文五年系本の代表的写本である延良本（第二十一巻については重出巻）を  
掲げ、その右傍に傍線を附すことによって異同を明確にする。

一、附録に掲載した『新撰姓氏録』逸文については、田中氏『新撰姓氏録の  
研究』（前掲）所載のものに若干訂正を施したものをそのまま掲載する。附  
録では、まず「逸文」を掲げ、該当する条文が存在する場合はそれをあげ、

さらに両者の字句が一致する箇所には傍線を施している。

一、第十一巻以降は、順次次号以下に掲載する。

一、本校訂本の作成は、荊木美行が担当した。

#### 〔附記〕

佐伯校本・田中校本及び佐伯氏の「菊亭文庫本新撰姓氏録翻刻」(前掲)からは多大な便益を蒙った。両先生から生前に受けた学恩と併せて感謝申し上げる。また、貴重なご蔵書を提供して下さった上田正昭先生にもお礼申し上げます。なお、本校訂本の作成にあたっては、かつて筆者が指導した南部将也君が作成された校本も適宜参考にさせていただいた。佐伯・田中両先生はすでに鬼籍に入られたので、直接のお礼は叶わないが、先学の業績には更めて深謝申し上げる次第である。

#### 〔補註〕

(1) 佐伯氏は、この二大別に加えて、「混成本」という建武二年系本と延文五年系本とを混成した写本の存在を指摘し、国立公文書館内閣文庫所蔵の中原師英旧蔵本や神宮文庫所蔵の林崎文庫旧蔵本(林崎本)・宮内庁書陵部所蔵の大橋長喜旧蔵本などがそれにあるとされている(同氏『新撰姓氏録の研究』本文篇(吉川弘文館、昭和三十七年七月)六四頁以下)。ただ、佐伯氏も認めておられるように、この「混成本」は延文五年系本を底本としており、田中氏の云われるように、「(延文系本)に(建武系本)が校合混入したもので、両系と同じ次元で、わざわざ一系をたてる程のものではあるまい」(田中卓著作集 第九巻(国書刊行会、平成八年九月)序、七頁)。

(2) 菊亭文庫本は、南北朝期から室町時代前期にかけての、現存最古の写本で、田中氏は、この写本のみ「判」の字がないことから、小槻兼治の自署本と推測しておられる(『姓氏録 延良本の出現と菊亭本の意義』『田中卓著作集』第九巻(前掲)所収、二二六―二三四頁)。ただし、佐伯氏も田中氏も、ついに原本はご覧になっていない。佐伯氏は、『新撰姓氏録の研究』拾遺篇(吉川弘文館、平成十三年八月)の「序」において「私が昨年(平成十二年)十一月末に京都大学附属図書館を訪れて、現に当本が無事所蔵されていることを確認しえた」と記しておられる(四頁)。しかし、田中氏が、佐伯氏から拾遺

篇を贈られた際の礼状で、とくにマイクロでは判読不能の題簽の「新撰姓氏録抄」の字の有無についてたしかめたところ、佐伯氏からは、原本を手にとつて確認したわけではないという旨の返事があったという。これは田中氏から直にうかがった話であり、その際、佐伯氏の返信をみせていただき、そのコピーも拝領した。たしかに、「(八七)大春日朝臣の本系の記載のように、綴じ目にかかり、マイクロだけでは判読のむづかしい部分も原本をご覧になっていれば覗くことができたはずで、やはり佐伯氏も原本について調査されたのではないと思う。いずれにしても、両氏がすでに故人となり、この経緯を知るものも稀だと思つたので、あえてここに書き留めておく。なお、原本は損傷がはなはだしく現在閲覧停止だが、館に現存するのは筆者が実見して確認済みである。

(3) 以下、建武二年系本の流れを汲む第二十一巻を「第二十一巻の初出巻」と称し、延文五年系本のそれを「第二十一巻の重出巻」と称して建武二年系本の「初出巻」と區別する。

(4) 拙稿「『新撰姓氏録』の出自記載をめぐって」(『塚口義信博士古稀記念日本古代学論叢』(和泉書院、平成二十八年十一月)所収)・「田中卓博士と『新撰姓氏録』」(『皇學館論叢』五二―四、令和元年八月)・「『新撰姓氏録』抄本をめぐる問題―「三例」の記載をめぐって―」(小口雅史編『古代東アジア史料論』(同成社、令和二年六月)所収)ほか。

(5) なお、これ以外にも、佐伯氏が『新撰姓氏録の研究』(前掲)本文篇の一七―一八頁で指摘された諸点は、延文系本が善本である証拠として有効だと思われる。

(6) ただし、両本の誤記や誤脱を悉皆あげることが、校異注のスペースの制限もあり、不可能なので、注記は網羅的なものでないことをお断りしておく。なお、田中氏「新校・新撰姓氏録」の校訂上の問題点については、かつて拙稿「田中卓著作『新撰姓氏録の研究』」(『皇學館論叢』二九―一六、平成八年四月、のち拙著『記紀と古代史料の研究』(国書刊行会、平成二十年二月)所収)でその一部を指摘しておいたので、興味のあるかたは参照されたい。



### ○<sub>1</sub> 上新撰姓氏錄表

1 上―底本・柳原本此ノ字有ルモ、延良本・御巫本无シ。

臣萬多等言。臣聞、陰陽定位、裁<sub>2</sub>萬物<sub>1</sub>以先<sub>2</sub>人倫<sub>1</sub>、穀聖正<sub>2</sub>名叶<sub>2</sub>五音<sub>1</sub>、而甄<sub>2</sub>姓<sub>1</sub>氏<sub>1</sub>。是以、因<sub>2</sub>生之本自遠<sub>1</sub>、胙<sub>2</sub>土之基增崇<sub>1</sub>。沿<sub>2</sub>帝道<sub>1</sub>而汚隆<sub>2</sub>、襲<sub>2</sub>王風<sub>1</sub>而興替者也。<sub>4</sub>

1 胙―底本・柳原本「昨」ニ誤ルモ、延良本・御巫本ニ抛リ改ム。

2 沿―底本・柳原本「沿」(沿ノ異体字)、延良本・御巫本「治」ニ作ル。

3 汚―底本「汚」、諸本「汙」ニ作ル。佐伯校本ハ「汚」ニ作ルモ校異ヲ逸ス。

4 替―底本・柳原本「替」、延良本・御巫本「贊」ニ作ル。但シ、延良本ハ右傍ニ「替」ト記ス。

伏惟、國家降天孫而創業、横地軸以開<sub>2</sub>邦<sub>1</sub>。一統架<sub>2</sub>宗<sub>1</sub>、環<sub>2</sub>八洲<sub>1</sub>以御。辨<sub>2</sub>五運<sub>1</sub>無代<sub>4</sub>。跨<sub>2</sub>億載<sub>1</sub>而期<sub>2</sub>圖<sub>5</sub>。高門接<sub>2</sub>軫<sub>1</sub>、甲姓聯<sub>2</sub>衡<sub>1</sub>。枝葉寔<sub>2</sub>繁<sub>6</sub>、派流弥<sub>2</sub>衆<sub>7</sub>。

1 孫而―底本虫損。諸本ニ抛リ補ウ。

2 架―底本虫損。諸本ニ抛リ補ウ。

3 洲―底本・柳原本・延良本「洲」ニ作ル。御巫本ハ「洲」ノ草体ニ近キモ「洌」ト見ユ。田中校本ハ校異ヲ逸ス。

4 五運無代―底本虫損。諸本ニ抛リ補ウ。

5 圖―底本虫損。柳原本「圖」、延良本・御巫本「圖」ニ作ル。イズレモ「圖」ノ異体字ナレバ正字ニ改メ補ウ。田中校本ハ字体ニハ触レズ。

6 衡枝葉寔―底本虫損。諸本ニ抛リ補ウ(枝―柳原本「枝」ニ作ルモ、延良本・御巫本ハ「技」ニ誤ル。底本虫損ニテ判読不能ナレバ、柳原本ニ抛リ補ウ)。

7 派―底本虫損。諸本「派」ニ作ル。橋本板本ニ抛リ改ム。

既而德廣所<sub>2</sub>覃<sub>1</sub>、占<sub>2</sub>雲靡<sub>1</sub>輟。情願<sub>2</sub>編戶<sub>1</sub>、星陳相尋。或擬<sub>2</sub>丘陵<sub>1</sub>而挺峻、或飛<sub>2</sub>軒蓋<sub>1</sub>以騰<sub>2</sub>華<sub>6</sub>。又有<sub>2</sub>僞<sub>1</sub>會冒<sub>2</sub>祖<sub>7</sub>、妄認<sub>2</sub>膏腴<sub>1</sub>、證<sub>2</sub>神引<sub>1</sub>皇、虛詫<sub>2</sub>黻冕<sub>10</sub>。先朝、鑒<sub>2</sub>其假濫<sub>1</sub>、留<sub>2</sub>慮根源<sub>1</sub>、昧旦臨<sub>2</sub>軒<sub>7</sub>。昃景忘<sub>2</sub>膳<sub>11</sub>。

今<sup>○1</sup>臣等、謹奉<sup>二</sup>綸言<sup>一</sup>、追<sup>二</sup>逐前旨<sup>一</sup>。徒<sup>○3</sup>勤<sup>二</sup>三絶<sup>一</sup>。空<sup>○4</sup>淹<sup>二</sup>四時<sup>一</sup>。矧<sup>○5</sup>夫、才<sup>○6</sup>非<sup>二</sup>博物<sup>一</sup>、識<sup>○7</sup>謝<sup>二</sup>通<sup>一</sup>。何以<sup>○8</sup>温<sup>二</sup>知本枝<sup>一</sup>、抑<sup>○9</sup>揚緒閱<sup>一</sup>。

- 1 覃占雲―底本虫損。諸本ニ捩リ補ウ。
- 2 戸―底本「戸」ニ作ルモ、諸本「戸」ニ誤ル。但、柳原本・延良本ハ右傍ニ「戸」ト記ス。
- 3 星―底本・柳原本・御巫本「星」ニ作ルモ、延良本「里」ニ誤ル。
- 4 陳―底本・延良本・御巫本「陳」ニ作ルモ、柳原本「陣」ニ誤ル。
- 5 擬―底本・諸本「撰」ニ作ル。但シ、底本・延良本ハ右傍ニ「擬イ」ト記ス。橋本板本ニ捩リ「擬」ニ改ム。
- 6 蓋―底本・諸本「蓋」ニ作ル。田中校本ハ「底本、虫損有リ。諸本「蓋」(蓋ノ俗字)ニ作ル」トスルモ、「蓋」ト見テ可ナリ。
- 7 冒―底本「冒」ニ作ルモ、諸本「昌」ニ誤ル。但、延良本ハ右傍ニ「冒」ト記ス。
- 8 膏―底本・柳原本・御巫本「膏」ニ作ルモ、延良本「高」ニ誤リ、右傍ニ「膏」ト記ス。田中校本ハ校異ヲ逸ス。
- 9 虚―底本・柳原本「虚」、延良本・御巫本「虚」ニ作ル。
- 10 託―底本・柳原本「託」、延良本・御巫本・群従本「託」ニ作ル。
- 11 昃―底本・諸本「仄」ニ作ル。但シ、延良本ハ右傍ニ「昃」ト記ス。田中校本「諸写本ガ「仄」(まだれ)ニ作ル点ヲ考慮シテ底本(佐伯校本)ノ「仄」ヲ「昃」ニ改ム」トスルニ従ウ。
- 1 今―底本・延良本・御巫本「今」ニ作ルモ、柳原本ハ「令」ニ誤ル。
- 2 逐―底本・諸本「遂」ニ作ルモ、群従本ニ捩リ改ム。
- 3 勤―底本「封」ニ誤リ、諸本「對」ニ作ル。但シ、底本・柳原本「勤イ」ト記ス。両本ノ註記ニ捩リ改ム。
- 4 絶―底本「絶」ニ誤ル。諸本ニ捩リ改ム。
- 5 博―底本・柳原本「博」ニ作ルモ、延良本・御巫本「博」ニ誤ル。田中校本、校異ヲ逸ス。
- 6 謝―底本・延良本・御巫本「謝」、柳原本「讞」ニ作ル。
- 7 瞻―底本・延良本・御巫本「瞻」、柳原本「瞻」ニ作ル。諸板本・佐伯校本ハ「瞻」ニ作ル。考證本ハ「瞻」ニ作リ、田中校本モ之ニ倣ウ。考證本ニ捩リ改ム。
- 8 緒―底本・諸本「緒」ニ作ルモ、群従本・橋本板本・考證本「諸」ニ誤ル。
- 9 閱―底本「閱」、柳原本「閱」、延良本・御巫本「聞」ニ作リ、白井板本・松下板本・橋本板本「聞」ニ作ル。群従本ハ「閱」ニ作リ、右傍ニ「聞イ」ト記ス。

然書府舊文、見進新系、<sup>1</sup> 讎校合之、<sup>2</sup> 則惣以入<sup>3</sup> 録。其未<sup>4</sup> 詳者、則集爲<sup>5</sup> 別卷。年  
肇<sup>6</sup> 神武、人兼<sup>7</sup> 倭漢。凡一千一百八十二氏。并目卅一卷。名曰<sup>8</sup> 新撰姓氏錄。譬<sup>9</sup>  
窺<sup>10</sup> 井談<sup>11</sup> 星、取<sup>12</sup> 蠡議<sup>13</sup> 海。恐<sup>14</sup> 綜覈<sup>15</sup> 踈訛、撰<sup>16</sup> 緝<sup>17</sup> 謬章。謹詣<sup>18</sup> 闕<sup>19</sup> 奉進。伏增<sup>20</sup> 谷水。謹言。

- 1 系―底本・柳原本「糸」ニ作ルモ、延良本・御巫本ニ抛リ改ム。
- 2 讎―底本・柳原本「讎」ニ作ルモ、延良本・御巫本ニ抛リ改ム。
- 3 校―底本・柳原本「校」、延良本・御巫本「校」ニ作ル。佐伯校本ハ「校」ヲ探ル。田中校本ハ、上表デハ「校」、奥書デハ「校」ヲ探ル。ココデハ底本ニ抛ル。
- 4 惣―底本・柳原本「惣」、延良本・御巫本「捨」ニ作ル。
- 5 并―底本虫損。諸本ニ抛リ補ウ。
- 6 曰―底本此ノ字有ルモ、諸本无シ。
- 7 録譬窺―底本破損（但シ、「窺」ノ下部ハ残ル）。諸本ニ抛リ補ウ。
- 8 蠡―底本・延良本・御巫本「蠡」、柳原本「蠶」ニ作ル。田中校本ハ校異ヲ逸ス。
- 9 覈―底本破損。延良本・御巫本ニ抛リ補ウ。柳原本ハ「覈」ニ誤ル。
- 10 踈―底本・諸本「踈」ニ作ルモ、佐伯校本ハ「踈」トス。田中校本ハ「底本（佐伯校本）ハ、御巫本ガモトモト「踈」ニ作ツテキルコトヲ見落シ、他本ノ「踈」ニ作ルハ誤リ」ト注スルモ、底本ノ校異自体ガ誤ナリ」ト記ス。
- 11 緝―底本「緝」、柳原本「緝」、延良本・御巫本「緝」ニ作ル（イズレモ「緝」ノ異体字）。延良本ハ右傍ニ「緝」ト訂ス。白井板本・松下板本・橋本板本ハ「緝」ニ作り、群従本ハ「緝」ニ作ル。
- 12 闕奉―底本破損。諸本ニ抛リ補ウ。
- 13 氷―底本・諸本「氷」ニ作ル。松下板本・群従本「氷」、橋本板本「冰」ニ作ルモ、白井板本ハ「水」ニ誤ル。
- 14 言―底本・諸本「言」ニ作ル。群従本「言」、白井板本・松下板本・橋本板本ハ「白」ニ作ル。

弘仁六年七月廿日

- 1 弘仁六年―御巫本、右傍ニ朱書ニテ「五十二代嵯峨天皇年号」ト記ス。
- 2 廿―底本・柳原本「廿」、延良本・御巫本「二十」ニ作ル。
- 3 日―底本虫損。諸本ニ抛リ補ウ。

中務卿四品臣萬多親王

右大臣從二位兼行皇太弟傳勳五等臣藤原朝臣園人

參議從三位行宮内卿兼近江守臣藤原朝臣緒嗣

正五位下行造東寺長官臣阿倍朝臣眞勝

從五位上行尾張守臣三原朝臣弟平

從五位上大外記兼因幡介臣上毛野朝臣穎人等上表

- 1 臣―底本・延良本・御巫本「臣」、柳原本「巨」ニ作ル。  
皇―底本・柳原本「皇」ニ作ルモ、延良本・御巫本「天皇」ニ誤ル。
- 2 傳―底本・延良本・御巫本此ノ字有ルモ、柳原本无シ。
- 3 動―底本・延良本・御巫本「勳」ニ作ルモ、柳原本「勳」ニ誤ル。
- 4 江―底本缺クモ、諸本ニ抛リ補ウ。
- 5 臣―底本・延良本・御巫本此ノ字有ルモ、柳原本无シ。
- 6 倍―底本・諸本「倍」ニ作リ、白井板本・松下板本・橋本板本ハ「部」ニ作ル。群從本ハ「倍」ニ作リ、右傍ニ「部イ」ト記ス。
- 7 臣―底本・延良本・御巫本「臣」、柳原本「巨」ニ作ル。
- 8 上―底本・柳原本・延良本此ノ字有ルモ、御巫本无シ。
- 9 穎―底本・柳原本「穎」、延良本・御巫本「款」ニ作ル。佐伯校本「正字ニ改ム」トシテ「穎」ニ作ル。田中校本ハ「穎」ノ俗字トシ、佐伯翻刻モ「穎」ニ作ル。今之ニ從ウ。
- 10 表―底本・柳原本此ノ字有ルモ、延良本・御巫本无シ。
- 11 底本、表ノ後(三丁ウ)ニ「左傳。天子建德。因生以賜姓。胙之土而命之氏。諸侯以字爲諡。因以為族。說者以為天子賜姓爲命氏。諸侯命族。族者氏之別名也。然則因生賜姓。若舜生姚墟。以為姚姓。封之於虞。即號有虞氏是也。若其後至尊更不得賜姓。即遂以虞爲姓。云姓虞氏。今此云姓劉氏。亦其義也。故姓者所以統繫百代使不別也。氏者所以別子孫之所出。又系本篇言姓則在上。言氏則在下。故五帝本紀云。禹姓姒氏。契姓子氏。弃姓姬氏是也」ト書入有リ。原典ニ抛リ、虫損箇所ヲ補ウ。
- 12

### 新撰姓氏錄序

1 新撰姓氏錄序一序ノ標目並ビニ全文ハ、底本・柳原本等ノ建武系写本ニ存シ、延良本・御巫本等ノ延文系写本ハ標目・全文ヲ缺ク。

此者第一卷之序也。不載於官書目錄、而載此卷。

又抄三姓氏錄文一注於此卷。是皆爲備指掌、私所爲也。

1 第一底本「第」ニ作ルモ、柳原本「弟」ニ誤ル。

※此ノ文、前掲「新撰姓氏錄序」六字ノ下ニ小字割書ニテ記ス。閲覽ノ便ヲ計リ分ケテ記ス。

蓋聞、天孫降レ襲西化之時、神世伊開、書記靡レ傳。神武臨レ夏東征之年、人物漸滋、  
梟帥間起。泊乎神劍下授、靈鳥于飛、歸首星陳、群凶霧散。膺受明命、光宅  
中洲、泰階平齊、海内靜謐。既而謹レ德孝功、胙土命氏。國造・縣主始号於斯。

1 帥一底本・柳原本・白井板本・松下板本「師」ニ誤ル。群從本・橋本板本ニ拠リ改ム。

2 泊一底本「泊」ニ作ル。柳原本「泊」ニ誤ル。

3 鳥一底本「鳥」ニ誤ル。柳原本ニ拠リ改ム。

4 膺一底本虫損。柳原本ニ拠リ補ウ。

5 洲一底本虫損。柳原本ニ拠リ補ウ。

6 功胙一底本虫損。柳原本「功昨」ニ作ル。村井本ニ拠リ「功胙」ニ改メ補ウ。

7 土一底本「土」ニ作ルモ、柳原本ハ「上」ニ誤ル。

8 縣主始号於一底本虫損。柳原本ニ拠リ補ウ。但シ、柳原本ハ「縣」ヲ「縣」ノ字体ニ作ル。

9 斯一底本「斯」ニ作ルモ、柳原本ハ「期」ニ誤ル。

垂仁撫レ運、惠澤弥新、舉措得レ中。姓氏稍分。况復任那欽レ風、新羅歸レ賁爾來、  
諸蕃仰レ德、無思不來。懷レ遠賜レ姓、是時著明。允恭御宇、萬姓紛紜。時下詔旨、

盟<sup>レ</sup>神探<sup>レ</sup>湯。首<sup>レ</sup>實者全、冒<sup>レ</sup>虛者害。自<sup>レ</sup>茲厥後、涇渭別<sup>レ</sup>流。皇極握<sup>レ</sup>鏡、國記皆燔、  
 幼弱迷<sup>二</sup>其根源<sup>一</sup>。狡強倍<sup>二</sup>其僞說<sup>一</sup>。天智天皇儲宮也、船史惠尺奉進<sup>二</sup>燼書<sup>一</sup>。至<sup>二</sup>庚午  
 年<sup>一</sup>、編<sup>二</sup>造戶籍<sup>一</sup>。人民氏骨、各得<sup>二</sup>其宜<sup>一</sup>。

- 1 惠―底本虫損。柳原本ニ抛リ補ウ。
- 2 弥―底本虫損。柳原本ニ抛リ補ウ。田中校本ハ底本ノ破損ニ触レズ。
- 3 舉措―底本虫損。柳原本ニ抛リ補ウ。群従本ハ「措」ヲ「指」ニ誤ル。
- 4 中―底本虫損。柳原本ニ抛リ補ウ。
- 5 分况―底本虫損。柳原本ニ抛リ補ウ。
- 6 任―底本虫損。柳原本ニ抛リ補ウ。
- 7 那―底本破損スルモ「那」ト判読シウル。柳原本ハ「郡」ニ誤ル。
- 8 欽―底本「欽」ニ作り、右傍ニ「銘イ」ト記ス。柳原本「銘」ニ作り、右傍ニ「欽イ」ト記ス。
- 9 首―底本虫損。柳原本ニ抛リ補ウ。田中校本ハ底本ノ破損ニ触レズ。
- 10 全―底本「全」ニ作ルモ、柳原本「人王」二字ニ誤ル。
- 11 冒―底本・諸板本「冒」(「冒」ノ俗字)ニ作ルモ、柳原本ハ「胃」ニ誤ル。
- 12 後―佐伯校本ハ「後」ノ下ニ「氏姓自定。更無詐人」ノ八字有り。此ノ字ハ群従本ニモ見ユレド、底本・柳原本无シ。田中校本ハ「後人ノ補筆セル疑有リ」トシテ八字ヲ削ル。
- 13 狡―底本・柳原本「校」ニ誤ル。白井板本モ「校」ニ誤ルモ、松下板本・群従本・橋本板本ニ抛リ改ム。
- 14 各―底本「各」ニ作ルモ、柳原本「名」ニ誤ル。

自<sup>レ</sup>茲以降、歷代帝王隨<sup>レ</sup>時改正、聯綿不<sup>レ</sup>絕。勝寶年中、時有<sup>二</sup>恩旨<sup>一</sup>、聽<sup>二</sup>許諸蕃<sup>一</sup>、  
 任<sup>レ</sup>願賜<sup>レ</sup>之。遂使<sup>二</sup>前姓後姓文字斯同、蕃俗・和俗氏族相疑<sup>一</sup>。萬方庶氏、陳<sup>二</sup>高貴<sup>一</sup>、  
 之枝葉、三韓蕃賓、稱<sup>二</sup>日本之神胤<sup>一</sup>。時移人易、罕<sup>二</sup>知而言<sup>一</sup>。寶字之末、其爭猶繁。  
 仍聚<sup>二</sup>名儒<sup>一</sup>撰<sup>二</sup>氏族志<sup>一</sup>。抄案弗<sup>レ</sup>半、逢<sup>二</sup>時有<sup>一</sup>難。諸儒解體、輟而不<sup>レ</sup>興。

- 1 隨―底本・柳原本「隨」ニ作ル。田中校本ハ「隨」ヲ探ルモ校異ヲ逸ス。
- 2 年―底本・諸板本「年」、柳原本・群従本・佐伯校本「季」ニ作ル。

- 3 時―底本・柳原本・諸板本「時」、考證本・佐伯校本「特」二作ル。
- 4 疑―底本・諸板本「疑」二作ルモ、柳原本「季」二誤ル。
- 5 氏―底本・柳原本・群従本「氏」二作ル。白井板本・群従本・橋本板本「氏」、松下板本・佐伯校本ハ「民」二作ル。
- 6 蕃―底本破損。柳原本ニ抛リ補ウ。
- 7 罕―底本「罕」二作ルモ、柳原本「罕」二誤ル。
- 8 争―底本破損。柳原本ニ抛リ補ウ。
- 9 聚―底本破損。柳原本ニ抛リ補ウ。
- 10 儒撰―底本破損。柳原本ニ抛リ補ウ。
- 11 弗―底本破損。柳原本ニ抛リ補ウ。

皇統弥照聖明、生而穀哲、自躰<sup>○1</sup>性仁。威被<sup>○2</sup>日出之崖、德光<sup>○3</sup>三月朏之域。停<sup>○4</sup>烽廢  
 關、文軌爲<sup>○5</sup>一。慮<sup>○6</sup>周品物<sup>○7</sup>思切<sup>○8</sup>正名<sup>○9</sup>。廼降<sup>○10</sup>絲綸<sup>○11</sup>、撰<sup>○12</sup>勘本系<sup>○13</sup>。細帙未<sup>○14</sup>畢、鳳輿  
 登遐。

- 1 穀―底本一部破損。柳原本ニ抛リ補ウ。
- 2 關―底本「關」、柳原本「開」二作ル。田中校本ハ校異ヲ逸ス。
- 3 絲―底本「降」ト「綸」ノ間ニ「ヲ附シ、右傍ニ「絲」ノ異体字」ヲ記ス。柳原本ハ「絲」ニ作ル。
- 4 系―底本「系」ニ作ルモ、柳原本「糸」ニ誤ル。田中校本ハ校異ヲ逸ス。

天朝、至明繼<sup>○1</sup>明、紹<sup>○2</sup>脩前業<sup>○3</sup>。至聖承<sup>○4</sup>聖、垂<sup>○5</sup>眷後謀<sup>○6</sup>。爰勅<sup>○7</sup>中務卿四品臣萬多親  
 王・右大臣從二位兼行皇太弟傅臣藤原朝臣園人・參議正四位下行右衛門督兼近江  
 守臣藤原朝臣緒嗣・正五位下行陰陽頭臣阿倍朝臣眞勝・從五位上行尾張守臣三原  
 朝臣弟平・從五位上行大外記兼因幡介臣上毛野朝臣穀人等<sup>○8</sup>、追<sup>○9</sup>慕前志<sup>○10</sup>、推<sup>○11</sup>弘此  
 文<sup>○12</sup>、開<sup>○13</sup>書府之秘藏<sup>○14</sup>、尋<sup>○15</sup>諸氏之表<sup>○16</sup>。

1 明繼明一底本「明繼明」ニ作ルモ、柳原本「明」一字ニ作リ、諸板本「明」ニ作ル(村井本ハ「紹」ノ上ニ〇ヲ附シ、鼈頭ニ「繼明」ト記ス)。田中校本ハ「繼明」ハ衍カトシテ削ルモ、佐伯説(拾遺篇九二〜九四頁)ニ拠リ底本ノ儘トス。

2 業一底本「業」ニ作ルモ、柳原本「業」ニ誤ル。

3 卿一底本此ノ字无シ。柳原本ニ拠リ補ウ。

4 臣一底本・柳原本此ノ字无シ。群従本ニ拠リ補ウ。

5 緒一底本ハ「緒」以下「阿倍朝臣」ニ至ル十五字有リ。群従本・橋本板本モ同ジ。柳原本ハ「五」ヲ除ク十四字有リ。白井板本・松下板本ニハ此ノ部分无シ。

6 嗣一底本「嗣」、柳原本「嗣」ニ作ル。共ニ「嗣」ノ譌字ナレバ、群従本ニ拠リ「嗣」ニ改ム。

7 五一底本此ノ字有ルモ、柳原本无シ。

8 臣一底本此ノ字无シ。柳原本ニ拠リ補ウ。

9 穀一底本・柳原本「穀」ニ作リ、右傍ニ「穎イ」ト記ス。

10 等一底本「等」ノ上ニ二字有リ。田中校本、「虫損ト汚染テ未詳」トス。汚染ハ、書キ損ジヲ塗潰タルモノナリ。底本ニハ他ニモ塗潰ニヨル消去ノ例数箇所有リ。

11 慕一底本・柳原本「慕」ニ作ルモ、昌平本ハ「暮」ニ誤ル。

12 推一底本・柳原本「雅」ニ作リ、松下板本モ同ジ。白井板本・群従本・橋本板本ハ「推」ニ作ル。文意カラ白井板本等ニ拠リ改ム。

13 表一底本破損。田中校本「底本、破損アレド」[苑]ハ讀ミトリエルトスルモ(佐伯翻刻モ「苑」、残存部分ノ字形ハ「表」ニ類似シ、「苑」トスルハ不可(田中校本ハ底本以外ノ校異ヲ逸ス)。柳原本「表」ニ作レバ、暫ク字形ノ顯カナル同本ニ従ウ。

14 抵一底本・柳原本「抵」ニ作ル(「抵」ハ「抵」ト同字)。田中校本ハ底本ノ字体ヲ「拉」トミ、柳原本・昌平本モ同ジトスルガ、三本トモ「抵」ト見テ可ナリ。

臣等、歴探<sup>1</sup>古記、博觀<sup>2</sup>舊史。文駁<sup>3</sup>辭踏、音訓組雜、會<sup>4</sup>釋一事、還作<sup>5</sup>楯矛。搆<sup>6</sup>合兩說<sup>7</sup>則有<sup>8</sup>抵牾<sup>9</sup>。新進<sup>10</sup>本系、多違<sup>11</sup>故實。或錯綜<sup>12</sup>兩氏混爲<sup>13</sup>一祖。或不<sup>14</sup>知<sup>15</sup>源流<sup>16</sup>倒錯<sup>17</sup>祖次。或迷<sup>18</sup>失<sup>19</sup>己祖、過入<sup>20</sup>他氏。或巧入<sup>21</sup>他氏以爲<sup>22</sup>己祖。新古煩亂<sup>23</sup>不<sup>24</sup>易<sup>25</sup>芟夷。彼此謬錯、不<sup>26</sup>可<sup>27</sup>勝數。是以雖<sup>28</sup>欲<sup>29</sup>成<sup>30</sup>之不日、而猶<sup>31</sup>十<sup>32</sup>歲於茲。京畿本系、未<sup>33</sup>進<sup>34</sup>過半。今依<sup>35</sup>見進<sup>36</sup>、以類銓<sup>37</sup>矣。

1 臣一底本破損。柳原本ニ拠リ補ウ。  
 2 記一底本破損。柳原本ニ拠リ補ウ。



- 3 觀―底本破損。柳原本ニ抛リ補ウ。
- 4 辭―底本・柳原本「辭」ニ作ル。「辭」ハ「辭」ニ通ス。
- 5 躋―底本・柳原本「躋」ニ作ル。「躋」ハ「躋」ノ譌字ナレバ、諸板本ニ抛リ改ム。
- 6 一事還作―底本破損。柳原本ニ抛リ補ウ。但シ、「作」ハ辛ウジテ判読シウル。佐伯翻刻ハ破損ニハ触レズ。
- 7 楯―底本虫損スルモ「指」ト判読シウル。柳原本モ「指」ニ作ル。諸板本ニ抛リ改ム。
- 8 矛―底本「矛」ニ作ルモ、柳原本「弟」ニ誤ル。
- 9 構―底本「構」ニ作ルモ、柳原本「擗」ニ誤ル。
- 10 則―底本破損。柳原本ニ抛リ補ウ。
- 11 抵扨―底本「抵扨」、柳原本「扨扨」ニ作ル。白井板本・松下板本・橋本板本「扨扨」ニ作り、群従本ハ「扨扨」ニ作ル。暫ク底本ノ儘トス。
- 12 系―底本「系」ニ作ルモ、柳原本「糸」ニ誤ル。
- 13 己―底本「己」ニ作ルモ、柳原本「巳」ニ誤ル。
- 14 芟―底本「芟」ニ作ルモ、柳原本「芟」ニ作ル（「芟」ハ「芟」ノ異体字）。
- 15 系―底本「系」ニ作ルモ、柳原本「糸」ニ誤ル。田中校本ハ校異ヲ逸ス。
- 16 銓―底本・柳原本「銓」ニ作ル。群従本「銓」ニ作り、白井板本・松下板本・橋本板本「銓」ニ作ル。
- 17 矣―底本「矣」ニ作ルモ、柳原本「失」ニ誤ル。

本<sub>二</sub>其元生<sub>一</sub>、則有<sub>二</sub>三體<sub>一</sub>。論<sub>二</sub>其群分<sub>一</sub>、則有<sub>二</sub>三例<sub>一</sub>。天神地祇之胄、謂<sub>二</sub>之神別<sub>一</sub>。天皇皇子之派、謂<sub>二</sub>之皇別<sub>一</sub>。大漢三韓之族、謂<sub>二</sub>之諸蕃<sub>一</sub>。所<sub>レ</sub>以<sub>二</sub>別<sub>二</sub>同異<sub>一</sub>序<sub>中</sub>前後<sub>上</sub>。是爲<sub>二</sub>三體<sub>一</sub>也。枝別之宗、特立之祖、書曰<sub>二</sub>出自<sub>一</sub>。或古記本系並錄而載。或載<sub>二</sub>古記<sub>一</sub>而漏<sub>二</sub>本系<sub>一</sub>、或載<sub>二</sub>本系<sub>一</sub>而漏<sub>二</sub>古記<sub>一</sub>、書曰<sub>二</sub>同祖之後<sub>一</sub>。宗氏古記雖<sub>レ</sub>云<sub>二</sub>遺漏<sub>一</sub>、而立<sub>レ</sub>祖不<sub>レ</sub>謬、但事涉<sub>二</sub>狐疑<sub>一</sub>、書曰<sub>二</sub>之後<sub>一</sub>。所<sub>レ</sub>以<sub>二</sub>辨<sub>二</sub>遠近<sub>一</sub>示<sub>中</sub>親疎<sub>上</sub>。是爲<sub>二</sub>三例<sub>一</sub>也。

- 1 體―底本ハ「體論其群分則有三」ノ八字有ルモ、柳原本无シ。白井板本・松下板本モ之ヲ逸ス。
- 2 論―底本「論」ニ作り、群従本・橋本板本「跡」ニ作ル。佐伯校本ハ「跡」ニ作り、田中校本ハ「論」ニ作ル。
- 3 胄―底本・柳原本「胄」ニ作り、諸写本ノ字体モ定マラズ。白井板本「曾」、松下板本・橋本板本「聖」、群従本ハ「曹」ニ作ル。田中校本ハ「〇」印（他本ニ異同有リ）ヲ附スモ、校異注ニ於イテ「底本（佐伯校本）、所<sub>レ</sub>抛<sub>レ</sub>逸ス」ト記セバ「△」印ガ妥当カ。尚、佐伯校本ガ「胄」ニ作ルハ誤リ、「曹」「曹」ハ別字。

4 皇―底本・柳原本「々」ニ作ル。直上ノ字ノ反復ナレバ「皇」ニ改ム。田中校本ハ「々」ノ儘トス。

5 派―底本・柳原本「派」ニ誤ル。橋本板本ニ抛リ改ム。

6 枝―底本「枝」、柳原本「枝」ニ作ル。

7 特―底本「特」ニ作ル。柳原本「時」ニ誤ル。

8 日―底本・柳原本「日」ニ作ル。行ナレバ削ル。

9 並―底本破損。柳原本ニ抛リ補ウ。

10 系―底本「糸」ニ誤ル。柳原本ニ抛リ改ム。

11 後―底本破損。柳原本ニ抛リ補ウ。

12 雖云―底本破損。柳原本ニ抛リ補ウ。

13 疑―底本虫損スルモ、「疑」ト判読シウル。柳原本ハ「疑」ニ誤ル。

14 之―底本「日」ノ下ニ〇ヲ附ス。底本、破損ニ抛リ判読不能ナレド、右傍ニ「之」ヲ記セルカ。柳原本ハ「日」ノ下ニ「之」有リ。

15 所以―底本破損スルモ、辛ウジテ「所」ハ判読シウル。柳原本ハ「以」ニ作ル。

16 遠―底本破損。諸本ニ抛リ補ウ。

17 疎―底本・柳原本「疎」ニ作ル。白井板本・松下板本・群従本ハ「疎」ニ作り、橋本板本ハ「疎」ニ作ル。田中校本ハ「疎」ニ改ムルモ、校異ヲ逸ス。暫ク底本ノ儘トス。

18 三―底本破損。柳原本ニ抛リ補ウ。

夫寸璞尺木尙有<sup>1</sup>二瑕節<sup>2</sup>。况乎後生叵<sup>3</sup>知<sup>4</sup>二前世<sup>5</sup>。故祖自相變、世數頗誤、則不<sup>6</sup>レ爲<sup>7</sup>二大失<sup>8</sup>、討論而裁成。眞人是皇別之上氏也。并集<sup>9</sup>二京畿<sup>10</sup>以爲<sup>11</sup>二一卷<sup>12</sup>、附<sup>13</sup>二皇別首<sup>14</sup>。未定是諸氏之未<sup>15</sup>レ明也。惣爲<sup>16</sup>二一卷<sup>17</sup>、附<sup>18</sup>二諸蕃尾<sup>19</sup>。又有<sup>20</sup>下諸姓漏<sup>21</sup>二本系<sup>22</sup>而載<sup>23</sup>中古記<sup>24</sup>、則抄<sup>25</sup>古記<sup>26</sup>以寫附。本系之与<sup>27</sup>古記<sup>28</sup>違、則據<sup>29</sup>古記<sup>30</sup>以刪定。今案之中、證<sup>31</sup>引古記<sup>32</sup>、則雖<sup>33</sup>文駁<sup>34</sup>而不<sup>35</sup>必改<sup>36</sup>。所<sup>37</sup>以存<sup>38</sup>其文<sup>39</sup>取辭達<sup>40</sup>也。京畿之氏、大牀牢<sup>41</sup>籠諸國之氏<sup>42</sup>、或不<sup>43</sup>必入<sup>44</sup>二京畿<sup>45</sup>。

1 璞―底本「璞」、柳原本「璞」ニ作ル。諸板本ニ抛リ改ム。

2 瑕―底本「瑕」ニ作ルモ、柳原本「瑕」ニ誤ル。

3 節―底本破損アルモ、「節」ト判読シウル。柳原本モ「節」ニ作ル。

- 4 况―底本・柳原本「況」ニ作ル。田中校本「況」ニ改ム。
- 5 討―底本「討」ニ作ルモ、柳原本「計」ニ誤ル。
- 6 畿―底本「畿」ニ作ルモ、柳原本「幾」ニ誤ル。
- 7 又―底本「又」ニ作ルモ、柳原本「人」ニ誤ル。
- 8 刪―底本「刪」ニ作ルモ、柳原本「刪」ニ誤ル。白井板本・松下板本「刪」ニ作り、群従本・橋本板本ハ「刪」ニ作ル。イズレモ「刪」ト同字。
- 9 今―底本「今」ニ作ル。柳原本「定」ヲ見セ消チニシ、右傍ニ「今」ト記ス。
- 10 文―底本「父」ニ誤ル。柳原本ニ拠リ改ム。
- 11 辭―底本・柳原本「辭」ニ作ルモ、「辭」ニ通ズレバ改ム。田中校本ハ「辭」ニ改ムルモ、校異ヲ逸ス。

臣等奉<sup>レ</sup>勅、謹加<sup>二</sup>研精<sup>一</sup>。拮<sup>二</sup>摭群言<sup>一</sup>、沙<sup>二</sup>汰金礫<sup>一</sup>。截<sup>二</sup>舊記之煩蕪<sup>一</sup>、採<sup>二</sup>會新之機要<sup>一</sup>。除<sup>二</sup>新系之塗說<sup>一</sup>、撮<sup>二</sup>通古之折中<sup>一</sup>。思<sup>レ</sup>所<sup>三</sup>以<sup>二</sup>令<sup>一</sup>文約辭易、冷然示<sup>レ</sup>掌。煥<sup>乎</sup>指南。起<sup>レ</sup>自<sup>二</sup>神武<sup>一</sup>、迄<sup>二</sup>乎弘仁<sup>一</sup>。溫<sup>レ</sup>故知新、能事粗畢。

- 1 臣―底本「臣」ノ草体ニ作り、柳原本「臣」ニ作ル。
- 2 摭―底本・柳原本「撫」ニ誤ル。群従本モ同ジ。白井板本・松下板本・橋本板本ニ拠リ改ム。
- 3 汰―底本「汰」、柳原本「汰」ニ作ル。
- 4 說―底本「訛」、柳原本「說」ニ作ル（「說」ハ「說」ト同字）。柳原本ニ拠リ改ム。
- 5 思所以―底本破損。柳原本ニ拠リ補ウ。
- 6 辭―底本・柳原本「辭」ニ作ル。「辭」ハ「辭」ニ通ズレバ正字ニ改ム。
- 7 煥―底本・群従本「煥」、柳原本「煥」ニ作ル。白井板本・群従本・橋本板本ハ「煥」ニ誤ル。ココデハ松下板本ニ拠ル。
- 8 指南起―底本破損。柳原本ニ拠リ補ウ。

凡一千一百八十二氏。惣爲<sup>二</sup>卅卷<sup>一</sup>、勒成<sup>二</sup>三部<sup>一</sup>。名曰<sup>二</sup>新撰姓氏錄<sup>一</sup>。雖<sup>レ</sup>非<sup>二</sup>韋編耽樂<sup>一</sup>之氣、玉板翫好之文、抑亦人倫之樞機、國家之隱栝也。唯京畿未進、并諸國且進等類。一時難<sup>レ</sup>盡、闕而不<sup>レ</sup>究。其諸姓目列<sup>二</sup>於別卷<sup>一</sup>、云<sup>レ</sup>尔。

- 1 耽―底本「耽」（「耽」ノ俗字）、柳原本「耽」ニ作ル。
- 2 氣―底本・柳原本「氣」ニ作ル。但シ、柳原本ハ右傍ニ「義イ」ト記ス。
- 3 隱栝―底本・柳原本「隱栝」ニ作ル。諸板本ハ「隱栝」ニ作ル。
- 4 畿―底本「畿」ニ作ルモ、柳原本「幾」ニ誤ル。
- 5 國―底本「國」ニ作ルモ、佐伯翻刻「國」ニ誤ル。
- 6 尔―底本・柳原本「尔」ニ作ル。此ノ字体ハ「八九」（九〇）ノ校訂ニ関ワルモノナレバ「爾」ニ改メズ。尚、底本ノミ、此ノ字ノ下ニ「新撰姓氏録抄」ノ六字有リ。

# 新撰姓氏錄抄

〇<sub>1</sub>

1 抄―底本・諸本「抄」ノ字有リ。但シ、柳原本ハ右傍ニ「イナシ」ト記ス。

## 第一帙

〇<sub>1</sub>

〇<sub>2</sub>

1 第―底本・延良本・御巫本「第」ニ作ルモ、柳原本「弟」ニ誤ル。  
2 帙―底本・柳原本「帙」、延良本・御巫本「帙」ニ作ル。諸板本「帙」ニ作ル。

## 左京皇別

〇<sub>1</sub>

〇<sub>2</sub>

起<sub>〇<sub>3</sub></sub>自<sub>〇<sub>3</sub></sub>左京息長真人<sub>〇<sub>3</sub></sub>。盡<sub>〇<sub>4</sub></sub>攝津國爲奈真人<sub>〇<sub>4</sub></sub>。冊<sub>〇<sub>5</sub></sub>四氏<sub>〇<sub>6</sub></sub>。

1 左―白井板本・松下板本「右」ニ誤ル。  
2 京―底本「京」、諸本「京」ニ作ル。「京」「京」ハ同字。  
3 起―底本・柳原本ハ以下十九字ヲ小字・右寄。延良本・御巫本ハ、本文ト同ジ大キサニテ、三行ニ分チテ記ス。群従本ハ「左京皇別」ノ下ニ二行割書ニテ記ス。  
4 盡―底本・諸本「盡」ニ作ル。「盡」「盡」ハ同字。  
5 奈―底本・柳原本「奈」ニ作ル。延良本・御巫本ニ抛リ正字ニ改ム。  
6 冊四―底本・諸本「冊四」ニ誤ル。白井板本・松下板本「三十三」、橋本板本「四十四」、群従本「冊四」ニ作ル。群従本・橋本板本ヲ是トシ且ツ群従本ニ抛リ「冊四」ニ改ム。尚、佐伯校本ハ群従本ニハ触レズ、「私見ニヨリ訂ス」トシテ「冊四」ニ改ム。

## 息長真人

〇<sub>1</sub>

〇<sub>2</sub>

出<sub>〇<sub>1</sub></sub>自<sub>〇<sub>1</sub></sub>譽田天皇<sub>〇<sub>1</sub></sub>皇子<sub>〇<sub>2</sub></sub>、稚<sub>〇<sub>3</sub></sub>淳毛<sub>〇<sub>3</sub></sub>二<sub>〇<sub>4</sub></sub>俣王<sub>〇<sub>4</sub></sub>之後<sub>〇<sub>5</sub></sub>也<sub>〇<sub>5</sub></sub>。

1 田―底本一部虫損。柳原本ニ抛リ補ウ。  
2 謚應神―底本・延良本・御巫本ハ小字割書トシ、柳原本ハ稍小サキ字ニテ右寄ニ記ス。群従本・橋本板本モ小字ニテ二行割書トシ、白井板本・松下板本ハ本文ト同様ニ記ス。田中校本ハ校異ヲ逸ス。  
3 稚―底本・延良本・御巫本「稚」ニ作ルモ、柳原本「雅」ニ誤ル。  
4 俣―底本・諸本「俣」ニ作ルモ、林崎本「俣」ニ作ル。田中校本ハ校異ヲ逸ス。  
5 王―底本・柳原本「五」ニ誤ル。延良本・御巫本ニ抛リ改ム。

山道真人<sup>(三)</sup>

息長真人同祖。●<sup>1</sup> 稚淳毛<sup>○2</sup>二侯親王之後也。●<sup>3</sup> 日本紀合也。○<sup>4</sup>○<sup>5</sup>○<sup>6</sup>

- 1 真人―底本・柳原本「々々」二作ルモ、延良本・御巫本二抛り改ム。
- 2 稚―底本・延良本・御巫本「稚」二作ルモ、柳原本「雅」ニ誤ル。
- 3 毛―底本・柳原本此ノ字无シ。延良本・御巫本ニ抛り補ウ。
- 4 侯―底本・諸本「侯」二作ルモ、林崎本「侯」ニ誤ル。
- 5 親―底本・諸本「親」二作ルモ、白井板本・橋本板本无シ。
- 6 合也―底本・柳原本「合也」二字二作ルモ、延良本・御巫本「令」一字二作ル。

坂田酒人真人<sup>(三)</sup>

息長息長真人同祖。●<sup>1</sup>

- 1 真人―底本・柳原本「々々」二作ルモ、延良本・御巫本二抛り改ム。

八多真人<sup>(四)</sup>

出自謚應神皇子、稚野毛二侯王也。●<sup>1</sup> 日本紀合也。○<sup>2</sup>○<sup>3</sup>○<sup>4</sup>○<sup>5</sup>

- 1 真人―底本・柳原本「々々」二作ルモ、延良本・御巫本二抛り改ム。
- 2 子―底本・柳原本・御巫本此ノ字有ルモ、延良本无シ。但シ、右傍ニ「子款」ト記ス。
- 3 稚―底本・延良本・御巫本「稚」二作ルモ、柳原本「雅」ニ誤ル。
- 4 紀―底本・延良本・御巫本「紀」二作ルモ、柳原本「記」ニ誤ル。
- 5 合也―底本・柳原本「合也」二字二作リ、延良本・御巫本「令」一字二作ル。

三國真人<sup>(五)</sup>

謚繼體皇子、梔子王之後也。●<sup>1</sup> 依日本紀附。○<sup>2</sup>○<sup>3</sup>

- 1 真人―底本・柳原本「々々」二作ルモ、延良本・御巫本二抛り改ム。
- 2 梔―底本「挽」二作ルモ、諸本ニ抛り改ム。
- 3 紀―底本・柳原本「記」ニ誤ル。延良本・御巫本二抛り改ム。

路眞人<sup>〔六〕</sup>

○<sub>1</sub> ●<sub>2</sub>

出<sub>レ</sub>自<sub>二</sub>謚敏達皇子、難波王<sub>一</sub>也。日本紀合。<sup>○<sub>3</sub> ●<sub>4</sub> ○<sub>5</sub></sup>

- 1 路―底本・延良本・御巫本「路」、柳原本「踏」二作ル。
- 2 眞人―底本・柳原本「々々」二作ルモ、延良本・御巫本二抛り改ム。
- 3 也―底本・柳原本・延良本此ノ字有ルモ、御巫本无シ。
- 4 紀―底本・柳原本「記」ニ誤ル。延良本・御巫本二抛り改ム。
- 5 合―底本・柳原本「合」、延良本・御巫本「令」二作ル。

守山眞人<sup>〔七〕</sup>

○<sub>1</sub>

路眞人同祖。難波親王之後也。日本紀合。<sup>○<sub>2</sub> ●<sub>1</sub> ●<sub>3</sub> ○<sub>4</sub></sup>

- 1 眞人―底本・柳原本「々々」二作ルモ、延良本・御巫本二抛り改ム。
- 2 路―底本・延良本・御巫本「路」、柳原本「踏」二作ル。
- 3 紀―底本・柳原本「記」ニ誤ル。延良本・御巫本二抛り改ム。
- 4 合―底本・柳原本「合」、延良本・御巫本「令」二作ル。

甘南備眞人<sup>〔八〕</sup>

○<sub>1</sub> ●<sub>2</sub>

路眞人同祖。續日本紀合。<sup>○<sub>3</sub> ●<sub>2</sub> ●<sub>4</sub> ○<sub>5</sub></sup>

- 1 甘―底本「甘」二作ル。諸本、字形ハ異レド、スベテ「甘」ノ俗字ト見ル。
- 2 眞人―底本・柳原本「々々」二作ルモ、延良本・御巫本二抛り改ム。
- 3 路―底本・延良本・御巫本「路」、柳原本「踏」二作ル。
- 4 紀―底本・柳原本「記」ニ誤ル。延良本・御巫本二抛り改ム。
- 5 合―底本・柳原本「合」、延良本・御巫本「令」二作ル。

飛多眞人<sup>〔九〕</sup>

○<sub>1</sub>

路眞人同祖。<sup>○<sub>2</sub></sup>

- 1 眞人―底本・柳原本「々々」二作ルモ、延良本・御巫本二抛り改ム。
- 2 路―底本・延良本・御巫本「路」、柳原本「踏」二作ル。

英多眞人<sup>(二〇)</sup>

路眞人同祖。<sup>(六)</sup>

- 1 眞人―底本・柳原本「々々」ニ作ルモ、延良本・御巫本ニ抛リ改ム。
- 2 路―底本・延良本・御巫本「路」、柳原本「踏」ニ作ル。

大宅眞人<sup>(二二)</sup>

路眞人同祖。依<sup>(六)</sup>續日本紀<sup>(一)</sup>刊定。<sup>(三)</sup>

- 1 眞人―底本・柳原本「々々」ニ作ルモ、延良本・御巫本ニ抛リ改ム。
- 2 路―底本・延良本・御巫本「路」、柳原本「踏」ニ作ル。
- 3 紀―底本・柳原本「記」ニ誤ル。延良本・御巫本ニ抛リ改ム。

大原眞人<sup>(二三)</sup>

出<sup>(一)</sup>自<sup>(二)</sup>諡敏達孫、百濟王也。續日本紀<sup>(一)</sup>合也。<sup>(五)</sup>

- 1 原―底本破損。但シ、右傍ニ「ハラ」ト振り假名ハ残ル。諸本ニ抛リ補ウ。田中校本ハ此ノ校異ヲ逸ス。
- 2 眞人―底本虫損。柳原本「々々」ト有レバ、底本モ「々々」ナルベシ。延良本・御巫本ニ抛リ補ウ。
- 3 出自―底本破損。諸本ニ抛リ補ウ。
- 4 孫―底本・御巫本「孫」、柳原本・延良本「孫」ニ作ル。「孫」「孫」ハ同字。
- 5 紀―底本・柳原本「記」ニ誤ル。延良本・御巫本ニ抛リ改ム。
- 6 合―底本・柳原本「合」、延良本・御巫本「令」ニ作ル。
- 7 也―底本・延良本・御巫本此ノ字有ルモ、柳原本无シ。

嶋根眞人<sup>(二四)</sup>

大原眞人同祖。百濟親王之後也。<sup>(三)</sup>

- 1 嶋―底本・柳原本「嶋」、延良本・御巫本「島」ニ作ル。
- 2 眞人―底本・柳原本「々々」ニ作ルモ、延良本・御巫本ニ抛リ改ム。



○<sup>(二四)</sup>  
●<sup>1</sup>●<sup>2</sup>  
●<sup>3</sup>●<sup>4</sup>  
豊國真人

大原真人同祖。續日本紀合也。<sup>3</sup>○<sup>4</sup>

- 1 豊―「豊」以下四字、底本破損。諸本ニ抛リ補ウ。但シ、「豊」ハ上部ノミ残ル。田中校本モ「豊」ハ判読シウルトス。
- 2 真人―柳原本「々々」ニ作ルモ、延良本・御巫本ニ抛リ改ム。
- 3 紀―底本・柳原本「記」ニ誤ル。延良本・御巫本ニ抛リ改ム。
- 4 合―底本・柳原本「合」、延良本・御巫本「令」ニ作ル。

○<sup>(二五)</sup>  
●<sup>1</sup>●<sup>2</sup>  
山於真人

大原真人同祖。<sup>1</sup>

- 1 真人―底本・柳原本「々々」ニ作ルモ、延良本・御巫本ニ抛リ改ム。

○<sup>(二六)</sup>  
●<sup>1</sup>●<sup>2</sup>  
吉野真人

大原真人同祖。<sup>1</sup>

- 1 真人―底本・柳原本「々々」ニ作ルモ、延良本・御巫本ニ抛リ改ム。

○<sup>(二七)</sup>  
●<sup>1</sup>●<sup>2</sup>  
桑田真人

大原真人同祖。<sup>2</sup>

- 1 桑―底本「桑」、諸本ハ「桑」ニ作ル。「桑」「桑」ハ同字。
- 2 真人―底本・柳原本「々々」ニ作ルモ、延良本・御巫本ニ抛リ改ム。柳原本ハ「々々」ヲ斜ニ排ス。

○<sup>(二八)</sup>  
●<sup>1</sup>●<sup>2</sup>  
池上真人

大原真人同祖。<sup>1</sup>

- 1 真人―底本・柳原本「々々」ニ作ルモ、延良本・御巫本ニ抛リ改ム。

○<sup>(二九)</sup>  
●<sup>1</sup>●<sup>2</sup>  
海上真人

大原真人同祖。依續日本紀<sup>1</sup>附。<sup>2</sup>

- 1 真人―底本・柳原本「々々」ニ作ルモ、延良本・御巫本ニ抛リ改ム。
- 2 紀―底本・柳原本「記」ニ誤ル。延良本・御巫本ニ抛リ改ム。

清原眞人<sup>(三)</sup>  
●●●●●  
○<sub>1</sub>

桑田眞人同祖。百濟親王之後也。  
○<sub>2</sub> ●<sub>3</sub> ●<sub>4</sub> ●<sub>5</sub>

1 眞人―底本・柳原本「々々」二作ルモ、延良本・御巫本二抛リ改ム。

2 桑―底本・諸本「葉」二作ル(一七)註一参照。

3 田―底本・柳原本「原」、延良本・御巫本「田」二作ル。但シ、柳原本ハ右傍ニ「田坎」ト記ス。底本等ノ「原」ハ前段ノ目移リニ抛ルモノト見テ改ム。

4 親―白井板本、右傍ニ「衍カ」ト記ス。

5 之―底本・諸本此ノ字无シ。佐伯校本・田中校本ニ抛リ補ウ。

香山眞人<sup>(三)</sup>  
●●●●●  
○<sub>1</sub>

出レ自ニ諡敏達皇子、春日王也。  
\*<sub>2</sub>

1 眞人―底本・柳原本「々々」二作ルモ、延良本・御巫本二抛リ改ム。

2 (文末)―底本ハ「也」ノ下ニ小字ニテ「敏達皇子春日也」七字小字ノ書人有ルモ削ル。

登美眞人<sup>(三)</sup>  
○<sub>1</sub> ●●●●●  
○<sub>2</sub>

出レ自ニ諡用明皇子、來目王也。續日本紀合也。  
○<sub>3</sub> ●<sub>4</sub> ●<sub>5</sub>

1 美―底本・諸本「美」二作ル。

2 眞人―底本・柳原本「々々」二作ルモ、延良本・御巫本二抛リ改ム。

3 來目―底本「來目」二作ルモ、諸本「來日」ニ誤ル。松下板本・白井板本「春月」二作り、群從本・橋本板本ハ「來目」二作ル。田中校本ハ板本ニ関スル校異ヲ逸ス。

4 紀―底本「記」ニ誤ル。諸本ニ抛リ改ム。

5 合―底本・柳原本「合」、延良本・御巫本「令」二作ル。

蜷瀨眞人<sup>(三)</sup>  
○<sub>1</sub> ●●●●●  
○<sub>2</sub>

出レ自ニ諡用明皇子、殖栗王也。

1 瀨―底本・延良本・御巫本「瀨」、柳原本「淵」二作ル。諸板本モ「淵」二作ル。田中校本ハ「淵」トスルモ校異ヲ逸ス。

2 眞人―底本・柳原本「々々」二作ルモ、延良本・御巫本二抛リ改ム。

三嶋真人<sup>(二四)</sup>  
○<sub>1</sub> ●<sub>2</sub>

出<sub>レ</sub>自<sub>二</sub>謚舒明皇子、賀陽王<sub>一</sub>也。續日本紀合。<sub>3</sub>  
○<sub>4</sub>

- 1 嶋―底本・柳原本「嶋」、延良本・御巫本「島」ニ作ル。
- 2 真人―底本・柳原本「々々」ニ作ルモ、延良本・御巫本ニ抛リ改ム。
- 3 紀―底本「記」ニ誤ル。諸本ニ抛リ改ム。
- 4 合―底本・柳原本「合」、延良本・御巫本「令」ニ作ル。

淡海真人<sup>(二五)</sup>  
●<sub>1</sub>

出<sub>レ</sub>自<sub>二</sub>謚天智皇子、大友末<sub>一</sub>也。續日本紀合。<sub>2</sub>  
○<sub>3</sub>

- 1 真人―底本・柳原本「々々」ニ作ルモ、延良本・御巫本ニ抛リ改ム。
- 2 友―底本・諸本「友」(友)ニ作ル。「友」ハ同字。
- 3 續日本紀合―底本・柳原本此ノ字有ルモ、延良本・御巫本无シ。

三園真人<sup>(二六)</sup>  
●<sub>1</sub>

出<sub>レ</sub>自<sub>二</sub>謚天武皇子、淨廣<sub>一</sub>磯城親王之後也。<sub>2</sub>

- 1 真人―底本・柳原本「々々」ニ作ルモ、延良本・御巫本ニ抛リ改ム。
- 2 □―底本以下諸本此ノ字无シ。白井板本・松下板本モ同ジ。群従本「□」、橋本板本「壹」ニ作ル。佐伯校本ハ「橋本、考本ニ抛リ補ウ」トスルモ、田中校本ハ「典拠確カデナイタメ、群従本ニ従フ」トス。今群本ニ抛リ空格トス。

笠原真人<sup>(二七)</sup>  
●<sub>1</sub>

三園真人同祖。磯城親王之後也。<sub>2</sub>  
○<sub>1</sub>

- 1 真人―底本・柳原本「々々」ニ作ルモ、延良本・御巫本ニ抛リ改ム。
- 2 園―底本・柳原本「園」ニ誤ル。延良本・御巫本ニ抛リ改ム。

高階真人<sup>(二八)</sup>  
●<sub>1</sub>

出<sub>レ</sub>自<sub>二</sub>謚天武皇子、淨廣壹太政大臣高市王<sub>一</sub>也。續日本紀合也。<sub>3</sub>  
○<sub>4</sub>

- 1 真人―底本・柳原本「々々」ニ作ルモ、延良本・御巫本ニ抛リ改ム。
- 2 太―底本・柳原本「太」、延良本・御巫本「大」ニ作ル。
- 3 紀―底本「記」ニ誤ル。諸本ニ抛リ改ム。
- 4 合―底本・柳原本「合」、延良本・御巫本「令」ニ作ル。

氷上真人<sup>(三五)</sup>  
●○<sub>1</sub>

出<sub>レ</sub>自<sub>二</sub>諡天武皇子、一品太惣管新田部王<sub>一</sub>也。續日本紀合。<sup>○<sub>2</sub></sup>  
●○<sub>3</sub>  
○<sub>4</sub>

- 1 真人―底本・柳原本「々々」ニ作ルモ、延良本・御巫本ニ抛リ改ム。
- 2 太―底本・柳原本「太」、延良本・御巫本「大」ニ作ル。
- 3 紀―底本「記」ニ誤ル。諸本ニ抛リ改ム。
- 4 合―底本・柳原本「合」、延良本・御巫本「令」ニ作ル。

岡真人<sup>(三〇)</sup>  
○<sub>1</sub>●○<sub>2</sub>

出<sub>レ</sub>自<sub>二</sub>諡天武皇子、一品贈太政大臣舍人王<sub>一</sub>也。續日本紀合也。<sup>○<sub>3</sub></sup>  
●○<sub>4</sub>  
○<sub>5</sub>  
○<sub>6</sub>

- 1 岡―底本「罡」ニ作ルモ、諸本ハ「岡」ニ作ル。「罡」「岡」ハ同字。
- 2 真人―底本・柳原本「々々」ニ作ルモ、延良本・御巫本ニ抛リ改ム。
- 3 太―底本・柳原本「太」、延良本・御巫本「大」ニ作ル。
- 4 紀―底本「記」ニ誤ル。諸本ニ抛リ改ム。
- 5 合―底本・柳原本「合」、延良本・御巫本「令」ニ作ル。
- 6 也―底本・柳原本此ノ字有ルモ、延良本・御巫本无シ。

右京皇別<sup>○<sub>1</sub></sup>  
○<sub>2</sub>

- 1 右―延良本・御巫本等ノ延文系写本ハ「右京皇別」ヨリ「攝津國皇別」ニ至ル十三氏ヲ逸ス。
- 2 京―底本「京」、柳原本「京」ニ作ル。「京」「京」ハ同字。

山道真人<sup>(三三)</sup>  
●○<sub>1</sub>

息長真人同祖。應神皇子、稚淳毛二俣親王之後也。<sup>○<sub>2</sub></sup>  
○<sub>3</sub>  
○<sub>3</sub>  
○<sub>3</sub>

- 1 真人―底本・柳原本「々々」ニ作ルモ、例ニ抛リ改ム。群従本「真人」ニ作ル。
- 2 稚―底本「稚」ニ作ルモ、柳原本「雅」ニ誤ル。田中校本ハ校異ヲ逸ス。
- 3 淳―底本・柳原本「停」ニ誤ルモ、白井板本・松下板本・群従本ニ抛リ改ム。佐伯校本ハ此ノ部分ヲ「副本〔柳原本〕・色甲本・昌本ニヨリ補ウ」トスルモ、柳原本ノ誤字ノコトハ触レズ。マタ、田中校本ガ「延良本・御巫本」「淳」。底本・柳原本「停」ニ誤ルトスルハ不審。

息長丹生真人<sup>(三)</sup>

息長真人同祖<sup>(一)</sup>

1 真人―底本・柳原本「々々」ニ作ル。例ニ抛リ改ム。

三國真人<sup>(三)</sup>

諡繼體皇子、椀子王之後也。日本紀合也。<sup>(二)</sup>

1 真人―底本・柳原本「々々」ニ作ル。例ニ抛リ改ム。  
2 紀―底本「記」ニ誤ル。柳原本ニ抛リ改ム。  
3 也―底本破損スルモ、「也」ト判読シウル。諸本「也」ノ字有リ。佐伯校本ハ「也」ヲ削ルモ改変ノ理由ヲ記サズ。

坂田真人<sup>(三)</sup>

出自諡繼體皇子、仲王之後也。日本紀合也。<sup>(三)</sup>

1 田―底本破損（但シ、「田」ノ残畫ハ残ル）。柳原本ニ抛リ補ウ。  
2 真人―柳原本「々々」ニ作ル。例ニ抛リ改ム。  
3 出―底本破損。柳原本ニ抛リ補ウ。  
4 之―底本破損。柳原本ニ抛リ補ウ。  
5 紀―底本「記」ニ作ルモ、諸本ニ抛リ改ム。

多治真人<sup>(三)</sup>

宣化天皇皇子、賀美惠波王之後也。<sup>(二)</sup>

1 真人―底本・柳原本「々々」ニ作ル。例ニ抛リ改ム。  
2 皇―底本・柳原本「々」ニ作ル。例ニ抛リ改ム。

爲名真人<sup>(三)</sup>

同天皇皇子、火焰王之後也。日本紀合也。<sup>(三)</sup>

1 名―底本破損。柳原本ニ抛リ補ウ。  
2 真人―底本破損（但シ、疊字ノ二字目ハ残ル）柳原本「々々」ニ作ル。例ニ抛リ改ム。  
3 皇―底本・柳原本「々」ニ作ル。例ニ抛リ改ム。

春日真人<sup>(三七)</sup>  
●<sub>1</sub>

敏達天皇皇子、春日王之後也。<sub>2</sub>

- 1 真人―底本・柳原本「々々」二作ル。例ニ抛リ改ム。
- 2 皇―底本・柳原本「々」二作ル。例ニ抛リ改ム。

高額真人<sup>(三六)</sup>  
●<sub>1</sub>

春日真人同祖。春日親王之後也。<sub>1</sub>

- 1 真人―底本・柳原本「々々」二作ル。例ニ抛リ改ム。

當麻真人<sup>(三五)</sup>  
●<sub>1</sub>

用明皇子、磨古王也。日本紀合也。<sub>2</sub>  
●<sub>3</sub> ○<sub>4</sub>

- 1 真人―底本・柳原本「々々」二作ル。例ニ抛リ改ム。
- 2 磨―底本・柳原本「磨」一字二作り、群従本モ「磨」二作ル。白井板本・松下板本・橋本板本ハ「麻呂」二字二作ル。暫ク底本ノ儘トス。
- 3 紀―底本「記」ニ誤ル。柳原本ニ抛リ改ム。
- 4 也―底本・柳原本此ノ字有ルモ、佐伯校本ハ脱ス。

文室真人<sup>(三四)</sup>  
●<sub>1</sub>

天武皇子、二品長屋王之後也。續日本紀合也。<sub>2</sub>  
●<sub>3</sub>

- 1 真人―底本・柳原本「々々」二作ル。例ニ抛リ改ム。
- 2 紀―底本「記」ニ誤ル。柳原本ニ抛リ改ム。

豊野真人<sup>(三三)</sup>  
●<sub>1</sub>

同天皇皇子、淨廣壹高市王之後也。續日本紀合。<sub>3</sub>

- 1 真人―底本・柳原本「々々」二作ル。例ニ抛リ改ム。
- 2 皇―底本・柳原本「々」二作ル。例ニ抛リ改ム。
- 3 紀―底本「記」ニ誤ル。柳原本ニ抛リ改ム。

### 山城國皇別

#### 三國眞人<sup>(四)</sup> ●<sub>1</sub>

繼體皇子、<sup>●<sub>2</sub></sup> 椀子王之後也。<sup>○<sub>3</sub></sup> 日本紀合也。<sup>●<sub>4</sub></sup>

- 1 眞人―底本・柳原本「々々」ニ作ル。例ニ抛リ改ム。
- 2 椀―底本「椀」、柳原本「椀」ニ作ル。繼體天皇紀ニ抛リ「椀」ニ改ム。田中校本ハ校異ヲ逸ス。
- 3 之後―底本此ノ字有ルモ、柳原本无シ。
- 4 紀―底本「記」ニ誤ル。柳原本ニ抛リ改ム。

### 大和國皇別

#### 酒人眞人<sup>(四)</sup> ●<sub>1</sub>

繼體皇子、<sup>●<sub>2</sub></sup> 兔王之後也。日本紀合也。<sup>●<sub>2</sub></sup>

- 1 眞人―底本・柳原本「々々」ニ作ル。例ニ抛リ改ム。
- 2 紀―底本「記」ニ誤ル。柳原本ニ抛リ改ム。

### 攝津國皇別<sup>1</sup>

- 1 攝―底本・柳原本「攝」ニ作ル。「攝」ノ譌字ト見テ改ム。田中校本ハ字形ニハ触レズ。

#### 爲奈眞人<sup>(四)</sup> ●<sub>1</sub>

宣化皇子、<sup>○<sub>2</sub></sup> 火焰王之後也。日本紀合也。<sup>●<sub>3</sub></sup>  
<sup>○<sub>4</sub></sup>  
<sup>○<sub>5</sub></sup>

- 1 眞人―底本・柳原本「々々」ニ作ルモ、延良本・御巫本ニ抛リ改ム。
- 2 子―底本・延良本・御巫本此ノ字有ルモ、柳原本无シ。
- 3 紀―底本「記」ニ誤ル。諸本ニ抛リ改ム。
- 4 合―底本・柳原本「合」、延良本・御巫本「令」ニ作ル。
- 5 也―底本・諸本此ノ字有ルモ、佐伯校本ハ脱ス。

### 右第一卷

左京皇別上

起源朝臣、<sup>〔公〕</sup>盡新田部宿祢。冊二氏。

- 1 京―底本「京」、諸本「京」ニ作ル。「京」「京」ハ同字。
- 2 上―底本・柳原本此ノ字有ルモ、延良本・御巫本无シ。
- 3 盡―底本破損。柳原本「書」ニ誤ル。延良本・御巫本「盡」ニ作ル。延良本・御巫本ニ拠リ「盡」ヲ補ウモ正字ニ改ム。
- 4 新―底本・諸本此ノ字无シ。群從本ニヨリ補フ。
- 5 冊―底本・柳原本「冊」ニ誤ル。延良本・柳原本ニ拠リ改ム。

源朝臣

源朝臣信、年六。<sup>〔廣〕</sup>弟源朝臣弘、年四。<sup>〔野〕</sup>弟源朝臣常、年四。弟源朝臣明、年二。<sup>〔已上二人〕</sup>腹飯高氏、妹源朝臣貞姫、年六。<sup>〔腹布〕</sup>施氏。妹源朝臣潔姫、年六。妹源朝臣全姫、年四。<sup>〔已上二人〕</sup>腹當麻氏。妹源朝臣善姫、年二。<sup>〔腹百〕</sup>濟氏。信等八人、是今上親王也。而依弘仁五年五月八日勅賜姓。貫於左京一條一坊。即以信爲二戸主。

- 1 朝臣―底本・柳原本「々々」ニ作ルモ、延良本・御巫本ニ拠リ改ム。
- 2 妹―底本・柳原本・延良本「妹」ニ作ル。御巫本ハ「姫」ニ作り、右傍ニ朱筆デ「妹イ」ト記ス。田中校本ハ校異ヲ逸ス。
- 3 全―底本・諸本「全」ニ作ルモ、林崎本ハ「令」ニ誤ル。
- 4 腹―底本・柳原本此ノ字有ルモ、延良本・御巫本无シ。

良岑朝臣

從四位下良岑朝臣安世、是皇統弥照天皇<sup>〔武〕</sup>諡<sup>〔桓〕</sup>御宇也。從七位下百濟宿祢之繼、爲レ女而供奉所レ生也。延曆廿一年十二月廿七日、特賜二姓良岑朝臣。貫於右京。

- 1 朝―底本、此ノ字ノ旁ハ正字体ノ「月」ニ近キモ、佐伯翻刻ハ「朝」ノ字体ヲ用イル。下文ニモ同様ノ例有レド、一々指摘セズ。
- 2 岑―底本・諸本「岑」ニ作ル。佐伯校本「峯」ニ作ル。



### 長岡朝臣<sup>(四七)</sup>

- 3 朝臣―底本・柳原本「々々」ニ作ルモ、延良本・御巫本ニ抛リ改ム。
- 4 字―底本・諸本「字」ニ作ル。白井板本・松下板本・群従本「字」ニ作ルモ、橋本板本ハ「子」ニ誤ル。
- 5 廿―底本・柳原本「廿」、延良本・御巫本「二十」ニ作ル。
- 6 特―底本・延良本・御巫本「特」ニ作ルモ、柳原本「持」ニ誤ル。
- 7 姓―底本・延良本・御巫本此ノ字有ルモ、柳原本无シ。
- 8 右―底本・諸本「右」ニ作ル。白井板本・松下板本・群従本「右」ニ作ルモ、橋本板本・考證本・皇學本「左」ニ誤ル。
- 9 京―底本「京」、諸本「京」ニ作ル。「京」「京」ハ同字。

正六位上長岡朝臣岡成、是皇統弥照天皇<sup>武</sup>之御東宮也。多治比真人豐繼、爲レ女孺而供奉所レ生也。延曆六年特賜<sup>武</sup>二姓長岡朝臣。貫<sup>一</sup>於右京。續日本紀合。

- 1 岡―底本「岡」ニ作ルモ、諸本「岡」ニ作ル。「岡」ハ同字。
- 2 朝臣―底本・柳原本「々々」ニ作ルモ、延良本・御巫本ニ抛リ改ム。
- 3 孺―底本・柳原本此ノ字有ルモ、延良本・御巫本无シ。
- 4 特―底本・延良本・御巫本「特」ニ作ルモ、柳原本「持」ニ誤ル。
- 5 右―底本・諸本「右」ニ作ルモ、橋本本・考證本・皇學本「左」ニ誤ル。柳原本ハ「右」以下七字ヲ小字割書ニテ記ス。
- 6 京―底本「京」、諸本「京」ニ作ル。「京」「京」ハ同字。
- 7 紀―底本「記」ニ誤ル。諸本ニ抛リ改ム。
- 8 合―底本・柳原本「合」、延良本・御巫本「令」ニ作ル。

### 廣根朝臣<sup>(四六)</sup>

正六位上廣根朝臣諸勝、是光仁天皇龍潛之時、女孺從五位下縣犬養宿祢勇耳、侍御而所レ生也。桓武天皇延曆六年特賜<sup>一</sup>二廣根。續日本紀合。

- 1 朝臣―底本・柳原本「々々」ニ作ルモ、延良本・御巫本ニ抛リ改ム。
- 2 仁―底本・柳原本此ノ字有ルモ、延良本・御巫本无シ。但シ、御巫本ハ「光」ノ下ニ〇ヲ挿入シ、左傍ニ朱筆デ「仁イ」ト記ス。田中校本ハ御巫本ノ校異ヲ逸ス。尚、田中校本ハ「光」「仁」ニソレゾレノ傍ニ校異記号ノ〇ヲ附スモ、「光」ハ不要。
- 3 潛―底本・柳原本「潜」、延良本・御巫本「滯」ニ作ル。

春原朝臣<sup>(五)</sup>

- 4 孺―底本・柳原本此ノ字有ルモ、延良本・御巫本无シ。
- 5 犬養―底本「犬食」、柳原本「大食」ニ誤ル。延良本・御巫本ニ抛リ改ム。
- 6 祢―底本・延良本・御巫本「祢」ニ作ルモ、柳原本「祢」ニ誤ル。
- 7 勇―底本「勇」、柳原本「勇」、延良本・御巫本「勇」ニ作ル。イズレモ同字。
- 8 特―底本・延良本・御巫本「特」ニ作ルモ、柳原本「持」ニ誤ル。
- 9 紀―底本「記」ニ誤ル。諸本ニ抛リ改ム。
- 10 合―底本・柳原本「合」、延良本・御巫本「令」ニ作ル。

天智天皇皇子、淨廣壹河嶋王之後也<sup>(三)</sup>

- 1 朝臣―底本・柳原本「々々」ニ作ルモ、延良本・御巫本ニ抛リ改ム。
- 2 皇―底本・諸本「々」ニ作ル。例ニ抛リ改ム。
- 3 嶋―底本・柳原本「嶋」、延良本・御巫本「島」ニ作ル。

三原朝臣<sup>(五)</sup>

天武天皇皇子、一品新田部王之後也<sup>(二)</sup>

- 1 朝臣―底本・柳原本「々々」ニ作ルモ、延良本・御巫本ニ抛リ改ム。
- 2 武―底本「智」ニ誤ル。諸本ニ抛リ改ム。
- 3 皇―底本・諸本「々」ニ作ル。例ニ抛リ改ム。

永原朝臣<sup>(五)</sup>

天武天皇皇子、淨廣壹高市王之後也。續日本紀合<sup>(八)</sup>

- 1 原―底本破損。諸本ニ抛リ補ウ。
- 2 朝臣―底本・柳原本「々々」ニ作ルモ、延良本・御巫本ニ抛リ改ム。
- 3 天武―底本・柳原本「天武」、延良本・御巫本「同」ニ作ル。
- 4 皇―底本・諸本「々」ニ作ル。例ニ抛リ改ム。
- 5 廣―底本ハ「廣」ヲ見セ消チニシテ右傍ニ「壹」ト記ス。諸本「廣」ノ字无シ。
- 6 壹―諸本此ノ字有リ。底本ハ「廣」ヲ抹消シ右傍ニ「壹」ト記ス(註5参照)。淨廣壹ノコトナレバ上ニ「廣」ヲ補ウ。
- 7 市―底本・柳原本「市」ニ作ルモ、延良本・御巫本ハ「布」ニ誤ル。
- 8 紀―底本「記」ニ誤ル。諸本ニ抛リ改ム。
- 9 合―底本・柳原本「合」、延良本・御巫本「令」ニ作ル。



淡海朝臣<sup>(五)</sup>

- 19 未―底本・柳原本「未」ニ作ルモ、延良本・御巫本「末」ニ誤ル。
- 20 平―底本・延良本・御巫本此ノ字有ルモ、柳原本无シ。
- 21 二―底本・諸本「二」ニ作ル。但シ、「一」ノ可能性有リ(註22参照)。
- 22 午―底本・柳原本「午」、延良本・御巫本「子」ニ作ル。「甲子」ナラバ十二月十九日、「甲午」ナラバ十一月十九日。「統紀」天平八年十一月壬辰(十七日)条ノ賜姓記事ト照合スルニ、「十一月甲午」ノ可能性有リ。
- 23 左―底本・延良本・御巫本此ノ字有ルモ、柳原本无シ。佐伯校本・田中校本ハ共ニ校異ヲ逸ス。
- 24 (文末)―延良本・御巫本ハ「兄」ノ下ニ「橘諸兄始名葛城王」八字有リ。佐伯校本ハ衍入ト見テ削リ、田中校本モ此ニ従ウ。

春原朝臣同祖。河嶋親王之後也。<sup>(五)</sup>

- 1 朝臣―底本・柳原本「々々」ニ作ルモ、延良本・御巫本ニ抛リ改ム。
- 2 嶋―底本・柳原本「嶋」、延良本・御巫本「島」ニ作ル。
- 3 也―底本・延良本・御巫本此ノ字有ルモ、柳原本无シ。田中校本ハ校異ヲ逸ス。

阿倍朝臣<sup>(五)</sup>

孝元天皇皇子、大彥命之後也。日本紀・續日本紀合。<sup>(五)</sup>

- 1 朝臣―底本「々々」、柳原本无シ。延良本・御巫本ニ抛リ改ム。田中校本ハ柳原本ノ校異ヲ逸ス。
- 2 皇―底本・諸本「々」ニ作ル。例ニ抛リ改ム。
- 3 紀―底本「記」ニ誤ル。諸本ニ抛リ改ム。
- 4 續日本紀―底本「續日本記」、柳原本「續日本紀」ニ作ル。延良本・御巫本无シ。
- 5 合―底本・柳原本「合」、延良本・御巫本「令」ニ作ル。

布勢朝臣<sup>(五)</sup>

阿倍朝臣同祖。日本紀漏。<sup>(五)</sup>

- 1 朝臣―底本・柳原本「々々」ニ作ルモ、延良本・御巫本ニ抛リ改ム。
- 2 紀―底本「記」ニ誤ル。諸本ニ抛リ改ム。

完人朝臣<sup>(五)</sup>  
○<sub>1</sub> ●<sub>2</sub>

阿倍朝臣同祖。大彥命男、彥背立大稻腰命之後也。日本紀合。<sup>○<sub>3</sub></sup>  
●<sub>4</sub> ●<sub>5</sub> ●<sub>6</sub>

- 1 完―底本・諸本「完」ニ作ル。白井板本・松下板本「完」ニ作り、橋本校本・考證本ハ「完」ニ作ル。佐伯校本「完」ハ作り、田中校本ハ橋本校本ニ從イ「完」ニ作ル。「完」ハ「完」ニ通用スレバ底本ノ儘トス。
- 2 朝臣―底本・柳原本「々々」ニ作ルモ、延良本・御巫本ニ抛リ改ム。
- 3 大―底本・延良本・御巫本「大」、柳原本「太」ニ誤ル。
- 4 腰―底本「腰」、延良本・御巫本「腰」ニ作ル。「腰」ハ同字。柳原本・昌平本ハ「要日」ノ二字ニ誤ル。佐伯校本・田中校本ガ、柳原本ヲ「要」一字ニ作ルト記スハ誤リ。
- 5 紀―底本「記」ニ誤ル。諸本ニ抛リ改ム。但シ、柳原本ハ「日本紀合」ヲ小字割書トス。
- 6 合―底本・柳原本「合」、延良本・御巫本「令」ニ作ル。

高橋朝臣<sup>(五)</sup>  
●<sub>1</sub>

阿倍朝臣同祖。大稻輿命之後也。景行天皇巡狩東國供獻大蛤。于時

天皇喜其奇美、賜姓膳臣。天淳中原瀛真人天皇十二年、改膳臣賜高橋朝臣。

- 1 朝臣―底本・柳原本「々々」ニ作ルモ、延良本・御巫本ニ抛リ改ム。
- 2 輿―底本「輿」ニ作ルモ、延良本・御巫本ニ抛リ改ム。柳原本ハ「与」ニ誤ル。
- 3 供―底本此ノ字无シ。諸本ニ抛リ補ウ。
- 4 喜―底本・延良本・御巫本「喜」ニ作ルモ、柳原本ハ「吉右」ノ二字ニ誤ル。
- 5 淳―底本・諸本「停」ニ誤ルモ、諸板本ニ抛リ改ム。佐伯校本ガ底本（御巫本）ノ「停」ヲ改メ「淳」ニ作り、「副本（柳原本）……ニヨリ改ム」トスルハ不審。
- 6 天皇―底本・柳原本此ノ字无シ。延良本・御巫本ニ抛リ補ウ。
- 7 諡天武―底本・諸本、本文ト同様ニ記ス。例ニ抛リ改ム。佐伯校本ハ小字割書ニ作ルモ、改変ノ理由ハ記サズ。
- 8 十二年―御巫本、左傍ニ「十一月日本紀」ト記ス。

許曾倍朝臣<sup>(五)</sup>  
●<sub>1</sub>

阿倍朝臣同祖。大彥命之後也。日本紀漏。

- 1 朝臣―底本・柳原本「々々」ニ作ルモ、延良本・御巫本ニ抛リ改ム。
- 2 紀―底本「記」ニ誤ル。諸本ニ抛リ改ム。

阿閉臣(五)

阿倍朝臣同祖。(五)

- 1 閉―底本・柳原本・延良本「閉」、御巫本「閉」ニ作ル。「閉」「閉」ハ同字。
- 2 朝臣―底本・柳原本「々々」ニ作ルモ、延良本・御巫本ニ抛リ改ム。

竹田臣(五)

阿倍朝臣同祖。大彥命男、武渟川別命之後也。(五)

- 1 臣―底本・柳原本「々」ニ作ルモ、延良本・御巫本ニ抛リ改ム。
- 2 朝臣―底本・柳原本「々々」、延良本・御巫本ニ抛リ改ム。
- 3 渟―底本「渟」ニ作ルモ、諸本「渟」ニ誤ル。

名張臣(五)

阿倍朝臣同祖。大彥命之後也。(五)

- 1 臣―底本「々」ニ作ル。諸本ハ「々」「臣」イツレモ无シ。例ニ抛リ「臣」ニ改ム。
- 2 朝臣―底本・柳原本「々々」ニ作ルモ、延良本・御巫本ニ抛リ改ム。

佐々貴山公(五)

阿倍朝臣同祖。(五)

- 1 朝臣―底本・柳原本「々々」ニ作ルモ、延良本・御巫本ニ抛リ改ム。

膳大伴部(五)

阿倍朝臣同祖。大彥命孫、磐鹿六鴈命之後也。景行天皇巡狩東國、至上總國、從海路渡淡水門、出海中得白蛤。於是磐鹿六鴈爲膳進之。故美六鴈賜膳大伴部。(五)

- 1 朝臣―底本・柳原本「々々」ニ作ルモ、延良本・御巫本ニ抛リ改ム。
- 2 磐鹿―底本「般若麻」ノ三字ニ作り、右傍ニ「磐麻イ」ト記ス。柳原本ハ「般若麻」ノ三字ニ、延良本・御巫本ハ「磐麻」ノ二字ニ作ル。諸板本ニ抛リ改ム。田中校本ハ、底本・柳原本「般若麻」ニ作ルト記スモ、異体字ニハ触レズ。

- 3 六―底本・延良本・御巫本此ノ字有リ。柳原本无シ。
- 4 鷹―底本「鷹」、諸本「雁」ニ作ル。「鷹」「雁」ハ同字。
- 5 鷹―底本・柳原本「鷹」、延良本・御巫本「雁」ニ作ル。前出ノ字体ニ改ム（註4参照）。

### 阿倍志斐連<sup>〔案〕</sup>

大彦命八世孫、稚子臣之後也。孫自臣八世孫、名代、謚天武御世、獻<sup>○<sub>2</sub></sup>之楊花<sup>○<sub>1</sub></sup>。勅曰何花哉。奏曰、辛夷花也。群臣奏曰、是楊花也。名代猶<sup>○<sub>4</sub></sup>强奏<sup>●<sub>3</sub></sup>辛夷花<sup>○<sub>3</sub></sup>。因賜<sup>●<sub>5</sub></sup>阿倍志斐連姓<sup>○<sub>4</sub></sup>也。日本紀漏。

- 1 斐―底本・延良本・御巫本「斐」ニ作ル。柳原本「非久」ノ二字ニ誤ルモ、見セ消チトシテ右傍ニ「斐」ト記ス。田中校本ハ、柳原本ノ書入ニ触レズ。
- 2 稚―底本・延良本・御巫本「稚」ニ作ルモ、柳原本ハ「雅」ニ誤ル。
- 3 哉―底本・柳原本「代」ニ誤ルモ、延良本・御巫本ニ抛リ改ム（註4参照）。
- 4 奏―佐伯校本ハ「副本・色甲本・昌本・狩本・上本」代」ノミアリ」トシテ上ニ「名代」ヲ補イ「名代奏」トスルモ、「代」ハ「哉」ノ誤字ナラン（田中校本ノ校異注参照）。
- 5 紀―底本「記」ニ誤ル。諸本ニ抛リ改ム。

### 石川朝臣<sup>〔案〕</sup>

孝元天皇皇子、彦太忍信命之後也。日本紀合。

- 1 朝臣―底本破損。柳原本「々々」ニ作り、右傍ニ「朝臣」ト記ス。延良本・御巫本「朝臣」ニ作ル。諸本ニ抛リ補ウ。田中校本ガ「底本「々々」ニ作ル」トスルハ誤リ。
- 2 皇―底本・諸本「々」ニ作ル。例ニ抛リ改ム。
- 3 太―底本・延良本・御巫本「太」、柳原本「大」ニ作ル。
- 4 信―底本・柳原本「信」、延良本・御巫本「倍」ニ作ル。
- 5 紀―底本「記」ニ誤ル。諸本ニ抛リ改ム。
- 6 合―底本・柳原本「合」、延良本・御巫本「令」ニ作ル。

### 田口朝臣<sup>〔案〕</sup>

石川朝臣同祖。武内宿祢大臣之後也。蝙蝠臣、豐御食炊屋姫天皇<sup>〔案〕</sup>御<sup>古</sup>。

世、家<sup>2</sup>於大和國高市郡田口村、仍号<sup>2</sup>田口臣<sup>1</sup>。日本紀漏<sup>6</sup>。

櫻井朝臣<sup>(六)</sup>

- 1 朝臣―底本・柳原本「々々」ニ作ルモ、延良本・御巫本ニ抛リ改ム。
- 2 祢―底本・延良本・御巫本「祢」ニ作ルモ、柳原本「祢」ニ誤ル。田中校本ハ校異ヲ逸ス。
- 3 大―底本破損。諸本ニ抛リ補ウ。田中校本ハ校異ヲ逸ス。
- 4 豊―底本破損。諸本ニ抛リ補ウ。
- 5 田―底本破損。諸本ニ抛リ補ウ。
- 6 紀―底本「記」ニ誤ル。諸本ニ抛リ改ム。

石川朝臣同祖。蘓我石川宿祢四世孫、稻目宿祢大臣之後也、日本紀合<sup>3</sup>。

紀朝臣<sup>(六)</sup>

- 1 朝臣―底本・柳原本「々々」ニ作ルモ、延良本・御巫本ニ抛リ改ム。
- 2 目―底本・柳原本「目」ニ作り、右傍ニ「田イ」ト記ス。延良本・御巫本ハ「田」ニ作ル。
- 3 紀―底本「記」ニ誤ル。諸本ニ抛リ改ム。柳原本ハ「日本紀合」ヲ小字割書ニテ記ス。
- 4 合―底本・柳原本「合」、延良本・御巫本「令」ニ作ル。

石川朝臣同祖。建内宿祢男、紀角宿祢之後也。

角朝臣<sup>(六)</sup>

- 1 朝臣―底本・柳原本「々々」ニ作ルモ、延良本・御巫本ニ抛リ改ム。
- 2 同祖―底本・柳原本此ノ字有リ。延良本・御巫本无シ。但シ、柳原本ハ「祖」ヲ「祢」ニ誤ル。
- 3 祢―底本・柳原本・延良本「祢」ニ作ル。御巫本「宿」ニ作り、右傍ニ「祢」ト記ス。
- 4 紀―底本「記」ニ誤ル。諸本ニ抛リ改ム。
- 5 合―底本・柳原本「合」、延良本・御巫本「令」ニ作ル。

紀朝臣同祖。角宿祢之後也。日本紀合<sup>4</sup>。



坂本朝臣<sup>(七〇)</sup>

●<sup>一</sup>紀朝臣同祖。紀角宿祢男、白城宿祢之後也。

1 朝臣―底本・柳原本「々々」ニ作ルモ、延良本・御巫本ニ抛リ改ム。

林朝臣<sup>(七二)</sup>

●<sup>一</sup>石川朝臣同祖。武内宿禰之後也。日本紀合。<sup>二〇三</sup>

1 朝臣―底本・柳原本「々々」ニ作ルモ、延良本・御巫本ニ抛リ改ム。

2 紀―底本「記」ニ誤ル。諸本ニ抛リ改ム。

3 合―底本・柳原本「合」、延良本・御巫本「合」ニ作ル。

道守朝臣<sup>(七三)</sup>

●<sup>一</sup>波多朝臣同祖。波多矢代宿祢之後也。日本紀合。<sup>二〇三</sup>

1 朝臣―底本・柳原本「々々」ニ作ルモ、延良本・御巫本ニ抛リ改ム。

2 紀―底本「記」ニ誤ル。諸本ニ抛リ改ム。

3 合―底本・柳原本「合」、延良本・御巫本「合」ニ作ル。

雀部朝臣<sup>(七四)</sup>

●<sup>一</sup>巨勢朝臣同祖。建内宿祢之後也。星川建彦宿祢、謚應神御世、代於皇太子大鷦鷯尊、繫木綿櫛、掌監御膳。因賜名曰大雀臣。日本紀合。<sup>二〇八</sup>

1 雀―柳原本・延良本「雀」、底本・御巫本モ之ニ近キ字体ニ作ル。群從本ニ抛リ改ム。佐伯校本・田中校本ハ字体ニハ触レズ。

2 朝臣―底本・柳原本「々々」ニ作ルモ、延良本・御巫本ニ抛リ改ム。

3 川―底本「川」、諸本「河」ニ作ル。『統紀』天平勝宝三年二月己卯条ハ「川」ニ作ル。

4 建―底本・柳原本・御巫本「達」ニ作ルモ、延良本ニ抛リ改ム。

5 櫛―底本「櫛」、柳原本「方」ニ作ル。延良本・御巫本「方」ニ作り、右傍ニ「不審」ト記ス。白井板本ニ抛リ改ム。

6 曰―底本・柳原本「田」ニ作ルモ、延良本・御巫本ニ抛リ改ム。

7 紀―底本「記」ニ誤ルモ、諸本ニ抛リ改ム。

8 合―底本・柳原本「合」、延良本・御巫本「合」ニ作ル。

生江臣<sup>(五)</sup>

石川朝臣同祖。武内宿祢之後也。日本紀合。<sup>1 2 3</sup>

- 1 朝臣―底本・柳原本「々々」ニ作ルモ、延良本・御巫本ニ抛リ改ム。
- 2 紀―底本「記」ニ誤ルモ、諸本ニ抛リ改ム。
- 3 合―底本「合」ニ作ル。柳原本「合」ニ作り、下ニ「漏イ」ト記ス。延良本・御巫本「漏」ニ作ル。

布師首<sup>(五)</sup>

生江臣同祖。武内宿祢之後也。

箭口朝臣<sup>(五)</sup>

宗我石川宿祢四世孫、稻目宿祢之後也。

多朝臣<sup>(七)</sup>

出<sup>レ</sup>自<sup>ニ</sup>謚神武皇子、神八井耳命之後也。日本紀合。<sup>1 2 3</sup>

- 1 朝臣―底本・柳原本「々々」ニ作ルモ、延良本・御巫本ニ抛リ改ム。
- 2 紀―底本「記」ニ誤ルモ、諸本ニ抛リ改ム。
- 3 合―底本・柳原本「合」、延良本・御巫本「令」ニ作ル。

小子部宿祢<sup>(五)</sup>

多朝臣同祖。神八井耳命之後也、大泊瀨幼武天皇御世、所<sup>レ</sup>遣<sup>ニ</sup>諸國、

収<sup>ニ</sup>歛<sup>ニ</sup>蝥<sup>ニ</sup>兒<sup>一</sup>、誤聚<sup>ニ</sup>小兒<sup>一</sup>貢<sup>レ</sup>之、天皇大晒、賜<sup>ニ</sup>姓<sup>ニ</sup>小兒部連<sup>一</sup>。日本紀合。<sup>3 4 5 6</sup>

- 1 朝臣―底本・柳原本「々々」ニ作ルモ、延良本・御巫本ニ抛リ改ム。
- 2 泊―底本・柳原本「伯」ニ作ルモ、延良本・御巫本ニ抛リ改ム。
- 3 収―底本・諸本「収」ニ作ル。佐伯校本ハ「取」ニ改ムモ、根拠ヲ記サズ。
- 4 蝥―底本・延良本・御巫本「蝥」ニ作モ（「蝥」ハ「蝥」ト同字）、柳原本「替」ニ誤ル。
- 5 聚―底本・諸本「聚」ニ作ル。田中校本ハ「衆」ニ改ムモ、校異ヲ逸ス。
- 6 合―底本・柳原本「合」、延良本・御巫本「令」ニ作ル。

吉備朝臣<sup>(五)</sup>  
○<sub>1</sub> ●<sub>2</sub>

大日本根子彦太瓊天皇皇子、稚武彦命之後也。<sup>○<sub>3</sub> ●<sub>4</sub> ○<sub>5</sub></sup>

- 1 備―底本「備」、柳原本・延良本・御巫本「備」ニ作ル。「備」「備」ハ同字。
- 2 朝臣―底本・諸本「宿祢」ニ作ル。白井板本・松下板本・群従本モ「宿祢」ニ作り、橋本板本ハ「朝臣」ニ作ル。佐伯校本「底本（御巫本）・諸写本「宿禰」ニ作り、副本（柳原本）・色甲本・昌本「々々」ニ作ル、コレ「朝臣」ノ略、ヨツテ改ム」トシ、田中校本ハ「菊亭本・延良本・諸写本「宿祢」ニ作ル。橋本板本説ニ從ヒ「朝臣」ニ改ム。底本モ同ジ。菊亭本ハ前行ノ「小子部宿祢」ノ目ウツリテ誤記シタモノデアラウ。以下菊亭本ハ（八〇）（八一）（八二）（八三）（八四）スペテ「々々」ニ作ルガ、コレハ「吉備朝臣」ノ「朝臣」ニ同ジノ意味ナリ。ソレ故（八五）ニ至リテ「間人宿祢」ト「宿祢」ヲ特記シタト思ハレル」トノベ、トモニ「朝臣」ニ改ム。コドモ橋本板本・佐伯校本・田中校本ニ抛リ「朝臣」ニ改ム。
- 3 太―底本・諸本「火」ニ作ル。白井板本・松下板本ハ「大」ニ作ル。群従本・橋本板本ニ抛リ改ム。
- 4 皇―底本・諸本「々」ニ作ル。例ニ抛リ「皇」ニ改ム。
- 5 稚―底本・延良本・御巫本「稚」ニ作ルモ、柳原本ハ「雅」ニ誤ル。

下道朝臣<sup>(六)</sup>  
●<sub>1</sub>

吉備朝臣同祖。稚武彦命之孫、吉備武彦命之後也。<sup>(五)  
○<sub>2</sub> ●<sub>3</sub> ○<sub>4</sub> ○<sub>5</sub></sup>

- 1 朝臣―底本・柳原本「々々」ニ作ル。延良本・御巫本ハ「宿祢」ニ作り、諸板本ハ「朝臣」ニ作ル。諸板本ニ抛リ改ム（七九）註<sub>2</sub>参照。
- 2 備―底本「備」、柳原本・延良本・御巫本「備」ニ作ル。「備」「備」ハ同字。
- 3 朝臣―底本・柳原本「々々」、延良本・御巫本「宿祢」ニ作ル。群従本「宿祢」ニ作ルモ、白井板本・松下板本・橋本板本ハ「朝臣」ニ改ム。白井板本等ニ抛リ「朝臣」ニ改ム（七九）註<sub>2</sub>参照。
- 4 祖―底本・柳原本・延良本「祖」ニ作ル。御巫本ハ「祢」ニ作り、右傍ニ「祖」ト記ス。佐伯校本・田中校本ハ共ニ校異ヲ逸ス。
- 5 稚―底本・延良本・御巫本「稚」ニ作ルモ、柳原本「雅」ニ誤ル。

道守朝臣<sup>(六)</sup>  
●<sub>1</sub>

開化天皇皇子。武豊葉列別命之後也。<sup>○<sub>2</sub> ●<sub>3</sub> ●<sub>4</sub></sup>

- 1 朝臣―底本・柳原本「々々」、延良本・御巫本「宿祢」ニ作ル。諸板本ハ「朝臣」ニ作ル。諸板本ニ抛リ改ム（七九）註<sub>2</sub>参照。
- 2 開―延良本ハ右傍ニ本文ト同筆ニテ「旧事記云、開化天皇々々子、武齒頰命、未知守臣等祖云々」ト記シ、御巫本モ右傍ニ同筆ニテ「旧事記云、開化天皇々々子、武齒頰命、道守臣等祖云々」ト記ス。
- 3 皇―底本・諸本「々」ニ作ル。例ニ抛リ改ム。
- 4 列―底本「剋」、柳原本「判」、延良本・御巫本「判」ニ作ル。群従本ニ抛リ改ム。

御使朝臣<sup>(六三)</sup>

出<sup>レ</sup>自<sup>二</sup>諡景行皇子、氣入彦命之後<sup>一</sup>也。譽田天皇御世、御室雜使大壬生等、  
逋逃不<sup>レ</sup>仕、天皇遣<sup>レ</sup>使尋求、並不<sup>二</sup>復命<sup>一</sup>、於是氣入彦命、奉<sup>レ</sup>詔括<sup>二</sup>追於參<sup>一</sup>  
河國、捕獲參來、天皇嘉<sup>レ</sup>合<sup>二</sup>使旨<sup>一</sup>、賜<sup>二</sup>姓御使連<sup>一</sup>也。續日本紀合。

- 1 朝臣―底本・柳原本「々々」、延良本・御巫本「宿祢」ニ作ル。諸板本ハ「朝臣」ニ作ル。諸板本ニ拠リ改ム(七七九)註2参照。
- 2 入―底本・諸本「入々」ニ作ル。但シ、底本ハ「々」ノ右傍ニ「イ无」ト記ス。諸板本ハ「入」一字ニ作ル。底本傍書ニ拠リ「々」ヲ削ル。
- 3 命―底本・柳原本此ノ字有リ。延良本・御巫本无シ。
- 4 御―底本・柳原本此ノ字有リ。延良本・御巫本无シ。
- 5 壬―底本「壬」ニ作ルモ、諸本「王」ニ誤ル。
- 6 彦―底本「彦」ヲ見セ消チトシテ、右傍ニ「彦」ト記ス。柳原本・延良本・御巫本モ「彦」ニ作ル。田中校本ハ校異ヲ逸ス。
- 7 命―底本・諸本此ノ字无シ。群従本ニ拠リ補ウ。
- 8 追―底本此ノ字无シ。諸本ニ拠リ補ウ。但シ、底本ハ「括於」ノ右傍ニ「追イ」ト記ス。
- 9 合―底本・柳原本「合」、延良本・御巫本「令」ニ作ル。
- 10 續―底本・柳原本此ノ字有ルモ、延良本・御巫本无シ。
- 11 合―底本・柳原本「合」、延良本・御巫本「令」ニ作ル。

犬上朝臣<sup>(六三)</sup>

出<sup>レ</sup>自<sup>二</sup>諡景行皇子、日本武尊<sup>一</sup>也。

- 1 朝臣―底本・柳原本「々々」、延良本・御巫本「宿祢」ニ作ル。諸板本ハ「朝臣」ニ作ル。諸板本ニ拠リ改ム(七七九)註2参照。

坂田朝臣<sup>(六三)</sup>

息長真人同祖。應神皇子、稚渟毛ニ派王之後也。天渟中原瀛真人天皇<sup>諡天武</sup>

御世、出家入道。法名信正。娶<sup>二</sup>近江國人槻本公轉戸女<sup>一</sup>、生<sup>二</sup>男石村<sup>一</sup>。  
附<sup>二</sup>母氏姓<sup>一</sup>冒<sup>二</sup>槻本公<sup>一</sup>。男外從五位下老・男從五位上奈弓麻呂・々々次從  
五位下豐成・次豐人等、皇統弥照天皇<sup>諡桓武</sup>延曆廿二年、賜<sup>二</sup>宿祢姓<sup>一</sup>。於



右第二卷

- 1 右―底本・諸本同ジ。小西甲本「左」ニ誤ル。
- 2 皇―底本・諸本「々」ニ作ル。例ニ拠リ改ム。田中校本ハ校異ヲ逸ス。
- 3 紀―底本「記」ニ誤ルモ、諸本ニ拠リ改ム。
- 4 合―底本・柳原本「合」、延良本・御巫本「令」ニ作ル。

### 左京皇別下

起<sup>〇1</sup>大春日朝臣<sup>〔六七〕</sup>、盡<sup>〇2</sup>鴨縣主<sup>〔二六〕</sup>。卅<sup>〇3</sup>二氏。

- 1 京―底本「京」、諸本「京」ニ作ル。「京」「京」ハ同字。
- 2 盡―底本「書」、延良本・御巫本「盡」ニ作ル。柳原本ハ「書」ニ誤ル。「書」「盡」ハ「盡」ト同字。
- 3 主―底本此ノ字有ルモ、諸本无シ。

### 大春日朝臣

出<sup>レ</sup>自<sup>二</sup>孝昭天皇皇子、天帶彦國押人命<sup>一</sup>也。仲臣令<sup>下</sup>家重<sup>〇4</sup>千金<sup>〇5</sup>、委<sup>レ</sup>糟爲<sup>レ</sup>堵。于時大鷓鴣天皇<sup>〇6</sup>臨<sup>二</sup>幸其家<sup>一</sup>、詔号<sup>二</sup>糟垣臣<sup>一</sup>。後改爲<sup>二</sup>春日臣<sup>一</sup>。桓武

天皇延曆廿年、賜<sup>〇7</sup>大春日朝臣姓<sup>一</sup>。

- 1 昭―底本・柳原本「昭」ニ作ルモ、延良本・御巫本「照」ニ誤ル。
- 2 皇―底本・諸本「々」ニ作ル。例ニ拠リ改ム。
- 3 國押―底本・諸本「押國」ニ作ルモ、諸板本ニ拠リ改ム。
- 4 重―底本・諸本「重」ニ作ル。但シ、底本、右傍ニ「壹」ト記ス。
- 5 千金―底本「千金」ヨリ「詔号」ニ至ル二十二字、綴目ノタメ紙焼キデノ判読ハ不能。佐伯翻刻ハ他本ニ拠リ補ウモ、「右傍ニ記ス「糟」ノ字、「鷓鴣」ノ旁「鳥」ノ字、「諡仁」ノ旁ノ部分ハ判読デキル」トスル。尚、佐伯翻刻ハ「号」ヲ「號」ニ作ルモ、他例ヨリ推シテ「号」トスベキカ。
- 6 大―柳原本此ノ字有ルモ、延良本・御巫本无シ。底本判読能ワザレバ（註5参照）、柳原本ニ拠リ補ウ。
- 7 廿―底本・柳原本「廿」、延良本・御巫本「二十」ニ作ル。
- 8 柳原本ノ鼈頭ニ「文衡三八廿七、大學博士イ五位上春日臣雄繼、賜姓大春日朝臣」ト書入有リ。「文德天皇実録」齋衡三年八月廿七日条ニ「丁酉、大學博士兼越中權守從五位上春日臣雄繼、賜姓大春日朝臣」ト有ルヲ云ウカ。

### 小野朝臣

大春日朝臣同祖。彦姥津命五世孫、米餅搗大使主命之後也。大德小野

臣妹子、家<sup>二</sup>于近江國滋賀郡小野村<sup>一</sup>。因以爲<sup>レ</sup>氏。日本紀合<sup>〇4</sup>。

- 1 朝臣―底本・柳原本「々々」ニ作ルモ、延良本・御巫本ニ拠リ改ム。
- 2 姥―底本・柳原本此ノ字无シ。延良本・御巫本ニ拠リ補ウ。
- 3 妹―底本・柳原本「姓」ニ作ルモ、延良本・御巫本ニ拠リ改ム。

和安部朝臣

- 4 紀―底本「記」ニ誤ル。諸本ニ抛リ改ム。
- 5 合―底本・柳原本「合」、延良本・御巫本「令」ニ作ル。
- 6 御巫本ノ鼈頭ニ「書紀云、大札小野妹子」ト書入有リ。

大春日朝臣同祖。彦姥津命三世孫、難波宿祢之後也。續日本紀合。

- 1 安―底本・諸本「安」ニ作り、イズレモ「和安部」ノ右傍ニ「ヤマトノアヘ」ノ傍訓ヲ附ス。佐伯校本ハ「安」ヲ是トスルモ、田中校本ハ「尔」ノ誤写トスル。新訂増補國史大系本「統紀」神護景雲二年閏六月丁未条ニ「丁未、左京人、從六位下和安部臣男綱等三人、賜姓和安部朝臣」ト有レド、明曆三年板本ハ同条ノ右傍ニ「尔坎」ト記シ、「本朝六國史」モ当該箇所右傍ニ「迹カ」ト記ス。両説有レバ、暫ク底本ノ儘トス。
- 2 朝臣―底本「々々」ニ作ル。柳原本ハ「々々」朝臣「イズレモ无シ。延良本・御巫本ニ抛リ改ム。
- 3 朝臣―底本・柳原本「々々」ニ作ルモ、延良本・御巫本ニ抛リ改ム。
- 4 紀―底本「記」ニ誤ル。諸本ニ抛リ改ム。
- 5 合―底本・柳原本「合」、延良本・御巫本「令」ニ作ル。

和尔部宿祢

和安部朝臣同祖。彦姥津命四世孫、矢田宿祢之後也。續日本紀合。

- 1 尔―底本・諸本「尔」ニ作ル。「尔」ハ同字（八九）註1参照。
- 2 安―底本・諸本「安」ニ作ル。佐伯校本「安」ノ儘トスルモ、田中校本ハ「安」ハ「尔」ノ誤寫ト見テ改ム。暫ク底本ノ儘トス（八九）註1参照。
- 3 紀―底本「記」ニ誤ル。諸本ニ抛リ改ム。
- 4 合―底本・柳原本「合」、延良本・御巫本「令」ニ作ル。

櫛井臣

和安部同祖。彦姥津命五世孫、米餅春大使主命之後也。

- 1 安―底本・諸本「安」ニ作ル。佐伯校本「安」ノ儘トスルモ、田中校本ハ「安」ハ「尔」ノ誤写ト見テ改ム。暫ク底本ノ儘トス（八九）註1参照。
- 2 姥―底本・柳原本此ノ字无シ。御巫本「姥」ノ字有リ。延良本ハ「彦」ト「津」ノ間ニ「〇」ヲ記シ、右傍ニ「姥坎」ト記ス。田中校本ノ校異ニ「延長本」ト有ルハ「延良本」ノ誤リ。
- 3 命―底本・延良本・御巫本「命」ニ作ルモ、柳原本ハ「合」ニ誤ル。
- 4 春―底本「春」ニ誤ル。諸本ニ抛リ改ム。



和安部臣<sup>(五三)</sup>

和安部朝臣同祖。彦姥津命五世之孫也。<sup>(六五)</sup>

- 1 安―底本・諸本「安」ニ作ル。佐伯校本「安」ノ儘トスルモ、田中校本ハ「安」ヲ「尔」ノ誤リト見テ改ム。暫ク底本ノ儘トス（八九）註1参照。
- 2 臣―底本・柳原本「々」ニ作ル。延良本・御巫本ニ抛リ改ム。
- 3 世之孫―底本・諸本「世之孫」ニ作ル。佐伯校本ハ「橋本・考本ニ抛リ補ウ」トシテ「世孫米餅春大使主命之後」ニ作ル。

葉栗臣<sup>(五三)</sup>

和安部朝臣同祖。彦姥津命三世孫、建穴命之後也。<sup>(六五)</sup>

- 1 臣―底本「々」ニ作ル。柳原本ハ此ノ字无シ。延良本・御巫本ニ抛リ改ム。田中校本ハ柳原本ニ関スルノ校異ヲ逸ス。
- 2 安―底本・諸本「安」ニ作ル。佐伯校本「安」ノ儘トシ、田中校本ハ「尔」ノ誤写ト見テ改ム。暫ク底本ニ従ウ（八九）註1参照。
- 3 朝臣―底本・柳原本「々々」ニ作ルモ、延良本・御巫本ニ抛リ改ム。
- 4 穴―底本「元」ニ作ルモ、諸本ニ抛リ改ム。考證本ハ「安」ニ作ル。

吉田連<sup>(五三)</sup>

大春日朝臣同祖。觀松彦香殖稻天皇<sup>昭</sup>皇子、天帶彦國押人命四世孫、

彦國菴命之後也。昔磯城瑞籬宮御宇、御間城入彦天皇御代、任那國奏曰、

臣國東北有<sup>二</sup>三已汶地<sup>一</sup>、<sup>上已汶、中已汶、下已汶、</sup>地方三百里、土地沃壤民亦富饒、与<sup>二</sup>新

羅國<sup>一</sup>相爭、彼此不能<sup>二</sup>攝治<sup>一</sup>、兵戈相尋、民不<sup>レ</sup>聊<sup>レ</sup>生、臣請將<sup>レ</sup>軍令<sup>レ</sup>治<sup>二</sup>此

地<sup>一</sup>、即爲<sup>二</sup>貴國之部<sup>一</sup>也。天皇大悅、勅<sup>レ</sup>群卿、令<sup>レ</sup>奏<sup>二</sup>應<sup>レ</sup>遣之人<sup>一</sup>、卿等奏曰、

彦國菴命孫、塩乘津彦命、頭上有<sup>レ</sup>贅、三岐如<sup>二</sup>松樹<sup>一</sup>、<sup>因号三松樹君、</sup>其長五尺、力

過<sup>二</sup>衆人<sup>一</sup>、性亦勇悍也。天皇令<sup>二</sup>塩乘津彦命遣<sup>一</sup>、奉<sup>レ</sup>勅而鎮守、彼俗稱<sup>レ</sup>宰

爲<sup>レ</sup>吉、故謂<sup>二</sup>其苗裔之姓<sup>一</sup>、爲<sup>二</sup>吉氏<sup>一</sup>、男從五位下知須等、家<sup>二</sup>居奈良京田

村里間、仍天靈國押開豐櫻彦天皇<sup>論聖</sup>神龜元年、賜<sup>二</sup>吉田連姓<sup>一</sup>。<sup>吉在本姓、田取居地名也。</sup>

●<sup>14</sup> ●<sup>15</sup> ●<sup>16</sup> ●<sup>17</sup> ●<sup>18</sup> ●<sup>19</sup> ●<sup>20</sup> ●<sup>21</sup> ●<sup>22</sup> ●<sup>23</sup> ●<sup>24</sup> ●<sup>25</sup> ●<sup>26</sup> ●<sup>27</sup> ●<sup>28</sup> ●<sup>29</sup> ●<sup>30</sup> ●<sup>31</sup> ●<sup>32</sup> ●<sup>33</sup> ●<sup>34</sup> ●<sup>35</sup> ●<sup>36</sup> ●<sup>37</sup> ●<sup>38</sup> ●<sup>39</sup> ●<sup>40</sup> ●<sup>41</sup> ●<sup>42</sup> ●<sup>43</sup> ●<sup>44</sup> ●<sup>45</sup> ●<sup>46</sup> ●<sup>47</sup> ●<sup>48</sup> ●<sup>49</sup> ●<sup>50</sup> ●<sup>51</sup> ●<sup>52</sup> ●<sup>53</sup> ●<sup>54</sup> ●<sup>55</sup> ●<sup>56</sup> ●<sup>57</sup> ●<sup>58</sup> ●<sup>59</sup> ●<sup>60</sup> ●<sup>61</sup> ●<sup>62</sup> ●<sup>63</sup> ●<sup>64</sup> ●<sup>65</sup> ●<sup>66</sup> ●<sup>67</sup> ●<sup>68</sup> ●<sup>69</sup> ●<sup>70</sup> ●<sup>71</sup> ●<sup>72</sup> ●<sup>73</sup> ●<sup>74</sup> ●<sup>75</sup> ●<sup>76</sup> ●<sup>77</sup> ●<sup>78</sup> ●<sup>79</sup> ●<sup>80</sup> ●<sup>81</sup> ●<sup>82</sup> ●<sup>83</sup> ●<sup>84</sup> ●<sup>85</sup> ●<sup>86</sup> ●<sup>87</sup> ●<sup>88</sup> ●<sup>89</sup> ●<sup>90</sup> ●<sup>91</sup> ●<sup>92</sup> ●<sup>93</sup> ●<sup>94</sup> ●<sup>95</sup> ●<sup>96</sup> ●<sup>97</sup> ●<sup>98</sup> ●<sup>99</sup> ●<sup>100</sup>

今上弘仁二年改賜三宿祢姓也。續日本紀合。

○20 ○21

- 1 昭―底本・柳原本「昭」ニ作ルモ、延良本・御巫本ハ「照」ニ誤ル。
- 2 己―底本・諸本「巳」ニ作ル。繼体天皇紀七年六月条ニ「己」ト有ルニ抛リ改ム。
- 3 上―以下「上己汝中己汝下己汝」ノ九字、底本・延良本・御巫本ハ小字割書トスルモ、柳原本ハ本文ト同様ニ記ス。田中校本ハ柳原本ニ触レズ。
- 4 土―底本・延良本・御巫本「土」ニ作ルモ、柳原本「五」ニ誤ル。
- 5 沃壤―底本「校壤」ニ作ルモ、柳原本此ノ字无シ。延良本・御巫本「人」一字ニ作り、佐伯校本ハ之ニ従ウ。田中校本ハ、「校」ヲ「沃」ノ誤写トスレバ、之ニ従ウ。
- 6 亦―底本「爰」ニ作ルモ、諸本「亦」ニ作ル。「爰」「亦」ハ同字。
- 7 即爲―底本破損。諸本ニ抛リ補ウ。
- 8 塩乘―底本破損シ、判読シガタキモ「垣乘」カ。柳原本「垣乘」、延良本・御巫本「垣乘」ニ作ル。村井本「塩乘」、諸板本「鹽乘」「塩乘」ニ作り、佐伯校本ハ「塩垂」ニ作ル。田中校本ハ「塩乘」ニ作り、「上ノ字ニ破損アルモ」「塩」トミテヨシ。下ノ字モ「乘」ニ近シトシ、佐伯翻刻モ「塩乘」ニ作ル。下文モ「塩乘」ト判読シウルニ抛リ、村井本・諸板本・田中校本・佐伯翻刻ニ従ウ。尚、新訂増補國史大系本「統後紀」承和四年六月己未条ニ「塩乘」ト有リ。但シ、頭注ニ「塩、原作監、據姓氏録改」「乘、原作垂、據御本及姓氏録改」ト記セバ、定カナラズ。
- 9 贅―底本「贅」、柳原本・延良本・御巫本「贅」ニ作ル。「贅」ノ異体字ナラン。
- 10 因―底本・柳原本・御巫本「因」、延良本「國」ニ作ルモ、群従本・橋本板本ニ抛リ改ム。
- 11 尺―底本・諸本「寸」ニ作ルモ、松下板本・群従本・橋本板本ニ抛リ改ム。
- 12 力―底本・柳原本・御巫本「力」ニ作ル。延良本「刀」ニ作り、右傍ニ「力坎」ト記ス。
- 13 彦―底本・諸本此ノ字无シ。諸板本ニ抛リ補ウ。
- 14 間―底本・諸本「河」ニ誤ル。白井板本・松下板本ニ抛リ改ム。
- 15 天―底本「大」ニ作ルモ、柳原本・延良本・御巫本ニ抛リ改ム。
- 16 璽―底本・延良本・御巫本「蛭」、柳原本「璽」ニ作ル。諸板本ニ抛リ改ム。
- 17 田―底本・延良本・御巫本「田」ニ作ル。但シ、底本、右傍ニ「用イ」ト記ス。柳原本ハ「用」ニ作り、右傍ニ「田イ」ト記ス。
- 18 在―底本此ノ字有ルモ、諸本无シ。
- 19 姓―底本「始」ニ作り、右傍ニ「姓」ト記ス。諸本ニ抛リ改ム。
- 20 紀―底本・諸本「紀」ニ作ル。
- 21 合―底本・柳原本「合」、延良本・御巫本「令」ニ作ル。

丸部

和安部同祖。彦姥津命男、伊富都久命之後。

- 1 丸―底本・諸本「凡」ニ作ル。白井板本・群従本「凡」ニ作り、群従本ハ左傍ニ「丸イ」ト記ス。松下板本・橋本板本ハ「丸」(「丸」ノ異体字)ニ作ル。群従本イ本ニ抛リ「丸」ニ改ム。

〔六〕  
丈部

天足彦國押人命孫、比古意祁豆命之後也。

- 2 安―底本・諸本「安」ニ作ル。佐伯校本「安」ノ儘トスルモ、田中校本ハ「安」ハ「尔」ノ誤寫ト見テ改ム。暫ク底本ノ儘トス（八九）註1参照
- 3 後―底本・諸本「後」一字ニ作ル。佐伯校本、「也」ヲ補ヒ「後也」二字ニ作ル。

- 1 古―底本・柳原本「吉」ニ作ル。延良本・御巫本ニ抛リ改ム。
- 2 之―底本・諸本此ノ字无シ。例ニ抛リ補ウ。

〔七〕  
下毛野朝臣

崇神天皇皇子、豊城入彦命之後也。日本紀合。

- 1 皇―底本・諸本「々」ニ作ル。例ニ抛リ改ム。
- 2 紀―底本「記」ニ誤ル。諸本ニ抛リ改ム。
- 3 合―底本・柳原本「合」、延良本・御巫本「令」ニ作ル。

〔八〕  
上毛野朝臣

〔九〕  
下毛野朝臣同祖。豊城入彦命五世孫、多奇波世君之後也。大泊瀨幼武

天皇<sup>略</sup>御世、努賀君男百尊、爲阿女產<sup>略</sup>向<sup>略</sup>智家<sup>略</sup>犯<sup>略</sup>夜而歸、於<sup>略</sup>應神天

皇御陵邊<sup>略</sup>、逢<sup>略</sup>騎馬人<sup>略</sup>、相共語話、換<sup>略</sup>馬而別、明日看<sup>略</sup>所<sup>略</sup>換馬<sup>略</sup>是<sup>略</sup>土馬也。

因<sup>略</sup>負<sup>略</sup>姓<sup>略</sup>陵邊君<sup>略</sup>、百尊男德尊、孫斯羅、謚皇極御世、賜<sup>略</sup>河内山下田<sup>略</sup>、

以<sup>略</sup>解<sup>略</sup>文書<sup>略</sup>、爲<sup>略</sup>田邊史<sup>略</sup>。寶字稱德孝謙皇帝天平勝寶二年、改賜<sup>略</sup>上毛野

公<sup>略</sup>。今上弘仁元年、改賜<sup>略</sup>朝臣姓<sup>略</sup>。續日本紀合。

- 1 祖―底本・延良本・御巫本「祖」ニ作ルモ、柳原本「裡」ニ誤ル。
- 2 彦命―底本・諸本「彦」一字ニ作り、白井板本・松下板本モ同ジ。群從本・橋本板本「彦命」二字ニ作り、佐伯校本モ之ニ從ウ。田中校本ハ「彦」ノミニテモ可ナリトシ、「彦」一字ニ作ル。ココデハ群從本・橋本板本ニ抛リ「命」ヲ補ウ。

池田朝臣<sup>(五)</sup>

- 3 世―底本・柳原本「世々」二作ルモ、延良本・御巫本二抛り改ム。
- 4 泊―底本「伯」、柳原本「伯」二作ルモ、延良本・御巫本二抛り改ム。
- 5 謚雄略―底本・柳原本「謚雄略」、延良本・御巫本「謚雄略」二作ル。底本・諸本ハ本文同様ニ記ス。例ニ抛り小字ニ行ニ改ム。佐伯校本・田中校本共ニ小字割書ニ改ムルモ、校異ヲ逸ス。
- 6 産―底本・諸本・白井板本「彦」二作ルモ、松下板本・群從本・橋本板本二抛り改ム。
- 7 聳―底本・柳原本「聳」、延良本・御巫本「智」二作ル。
- 8 夜―底本・柳原本・延良本此ノ字有リ。御巫本无ケレド、「○」印ヲ附シ、左傍ニ朱筆デ「夜イ」ト記ス。
- 9 語話―底本・柳原本「語話」、延良本・御巫本「話語」二作ル。イズレニテモ可ナレバ底本ニ從ウ。
- 10 換―底本・柳原本「援」(「換」ノ譌字) 二作ル。延良本・御巫本二抛り改ム。
- 11 看―底本・延良本・御巫本「看」、柳原本「者」二作ル。
- 12 土―底本「土」、延良本・御巫本「土」二作ル。柳原本「土」二作ル。「土」「土」ハ同字。
- 13 因―底本「因」ニ似ルモ、国構ノ中、崩レテ判読シガタシ。柳原本ハ「國」ニ作ル。延良本・御巫本二抛り改ム。
- 14 邊―底本・延良本・御巫本「邊」、柳原本「邊」ニ作ル。「邊」「邊」ハ「邊」ノ異体字。
- 15 稱―底本・柳原本「稱」ニ作ルモ、延良本・御巫本二抛り改ム。
- 16 紀―底本「記」ニ誤ル。諸本ニ抛り改ム。
- 17 合―底本・柳原本「合」、延良本・御巫本「令」ニ作ル。

上毛野朝臣同祖。豊城入彦命十世孫、佐太公之後也。<sup>(六)</sup>

- 1 朝臣―底本・柳原本「々々」ニ作ル。延良本・御巫本二抛り改ム。
- 2 十―底本・柳原本「十」一字ニ作ル。延良本・御巫本ハ「十一」二字ニ作り、「一」ヲ見セ消チトス。
- 3 太―底本・柳原本「太」、延良本・御巫本「大」ニ作ル。
- 4 也―底本・延良本・御巫本此ノ字有ルモ、柳原本无シ。佐伯校本ハ、「也」ノ下ニ「日本紀合」ノ四字ヲ「副本・色甲本・昌本ニヨリ補ウ」トスルモ、イズレニモ見エズ。

住吉朝臣<sup>(100)</sup>

上毛野同祖氏。<sup>(六)</sup> 豊城入彦命五世孫、多奇波世君之後也。日本紀賜姓合也。依<sup>(一)</sup> 續日本紀。<sup>(三)</sup>

- 1 朝臣―底本・柳原本「々々」ニ作ルモ、延良本・御巫本二抛り改ム。
- 2 氏―底本・諸本此ノ字有リ。佐伯校本「柏本・橋本ニ抛り削ル」トスルモ、田中校本ハ「削ル必要ナシ」ト記ス。
- 3 紀―底本「記」ニ誤ル。諸本ニ抛り改ム。

池原朝臣<sup>〔101〕</sup>

住吉同氏。多奇波世君之後也。

- 1 朝臣―底本・柳原本「々々」ニ作ルモ、延良本・御巫本ニ抛リ改ム。

上毛野坂本朝臣<sup>〔101〕</sup>

上毛野同祖。豊城入彦命十世孫、佐太公之後也。續日本紀合。

- 1 朝臣―底本・柳原本「々々」ニ作ルモ、延良本・御巫本ニ抛リ改ム。
- 2 同―〔九九〕〔一〇三〕ヨリ推スニ、或ハ此ノ前ニ「朝臣」有ルベキカ。
- 3 太―底本・柳原本「太」、延良本・御巫本「大」ニ作ル。
- 4 紀―底本「記」ニ誤ル。諸本ニ抛リ改ム。
- 5 合―底本・柳原本「合」、延良本・御巫本「令」ニ作ル。

車持公<sup>〔101〕</sup>

上毛野朝臣同祖。豊城入彦命八世孫、射狹君之後也。雄略天皇御世、<sup>○<sub>1</sub></sup>供進乘輿、仍賜<sup>ニ</sup>姓車持公<sup>一</sup>。

- 1 略―底本・柳原本「略」、延良本・御巫本「畧」ニ作ル。

大網公<sup>〔101〕</sup>

上毛野朝臣同祖。豊城入彦命六世孫、下毛君奈良弟眞若君之後也。

- 1 網―底本「網」、柳原本「網」、延良本・御巫本「網」ニ作ル。田中校本ハ校異ヲ逸ス。
- 2 公―底本・柳原本「々」ニ作ルモ、延良本・御巫本ニ抛リ改ム。
- 3 毛野―底本「野毛」ニ作ルモ、諸本ニ抛リ改ム。
- 4 朝臣―底本・柳原本「々々」ニ作ルモ、延良本・御巫本ニ抛リ改ム。
- 5 彦命―底本・諸本「彦」一字ニ作ルモ、御巫本ハ「彦」ノ下ニ〇ヲ挿入シ、左傍ニ朱筆デ「命イ」ト記ス。諸板本ハ「彦命」二字ニ作ル。佐伯校本モ之ニ倣ウ。田中校本「彦」ノミニテモ可ナリトシ、「彦」一字ニ作ル。ココデハ御巫本イ本・諸板本ニ從イ「命」ヲ補イ「彦命」トス。
- 6 君―底本・延良本・御巫本此ノ字有ルモ、柳原本无シ。

桑原公(一〇五)

上毛野同氏。豐城入彦命五世孫、多奇波世君之後。〇<sub>2</sub>

- 1 公―底本・柳原本「々」ニ作ルモ、延良本・御巫本ニ抛リ改ム。
- 2 氏―底本・諸本「氏」ニ作ルモ、佐伯校本ハ林崎本ニ抛リ「祖」ニ改ム。「同氏」ノ例ハ「(一〇六)・(一一〇七)・(一一〇八)・(一二五九)ニモ見ユ。
- 3 後―底本・諸本「後」一字ニ作ル。佐伯校本ハ「也」ヲ補イ「後也」二字ニ作ル。

川合公(一〇六)

上毛野同氏。多奇波世君之後。〇<sub>2</sub>

- 1 公―底本・柳原本「々」、延良本・御巫本ニ抛リ改ム。
- 2 後―底本・諸本「後」一字ニ作ル。佐伯校本ハ「也」ヲ補イ「後也」二字ニ作ル。

垂水史(一〇七)

上毛野同氏。豐城入彦命男、彦狹嶋命之後。〇<sub>2</sub>

- 1 垂―底本「垂」、延良本・御巫本「垂」ニ作ル。柳原本「糸」ニ作ルモ判讀シガタシ。
- 2 男―底本・諸本「男」ニ作ル。佐伯校本ハ「橋本・考本ニ抛リ改ム」トシテ「孫」ニ作ル。田中校本ハ之ヲ採ラズ、底本ノ儘トス。記紀ニ抛レバ、豐城入彦命ハ崇神天皇皇子、彦狹嶋命(日子寤間命)ハ孝靈天皇皇子ナレバ合ワズ。暫ク底本ノ儘トス。
- 3 嶋―底本・柳原本「嶋」、延良本・御巫本「島」ニ作ル。
- 4 後―底本・諸本「後」一字ニ作ル。佐伯校本ハ「也」ヲ補イ「後也」二字ニ作ル。

商長首(一〇八)

上毛野同氏。多奇波世君之後也。三世孫、久比。泊瀬部天皇論崇御世、

被レ遣<sub>3</sub>吳國<sub>4</sub>、〇<sub>3</sub>雜寶物等獻<sub>4</sub>於天皇。其中有<sub>5</sub>吳權<sub>6</sub>、天皇敕此何物也。久比奏曰、吳國以此懸<sub>7</sub>定萬物<sub>8</sub>、令<sub>9</sub>爲<sub>9</sub>交易<sub>10</sub>。其名云<sub>10</sub>波賀理<sub>10</sub>。天皇勅之、勿<sub>11</sub>令<sub>11</sub>他人同<sub>11</sub>。久比男、宗磨。舒明天皇御代、負<sub>12</sub>商長姓<sub>13</sub>也。日本紀漏。〇<sub>12</sub>〇<sub>13</sub>

- 1 泊―底本「佰」、柳原本「伯」ニ作ルモ、延良本・御巫本ニ抛リ改ム。
- 2 論崇峻―底本ハ本文ト同様ニ記シ、柳原本ハ小字右寄ニ作ル。延良本・御巫本ニ抛リ小字割書ニ改ム。佐伯校本・田中校本ハ共ニ小

字割書トスルモ、其ノ校異ヲ逸ス。

3 異―底本・御巫本「呉」、延良本「吳」ニ作ル。同字ナレバ「呉」ノ儘トスル。柳原本ハ「口天」ニ誤ル。

4 □―底本、「𠄎」ノ如キ字アルモ未詳。諸本此ノ字无シ。佐伯翻刻ハ「賣」ニ作り、「コノ字草体ノモノヲ判読」ト記ス。暫ク「□」トス。

5 此―「此」ヨリ「勅」マデ底本ニハ二十九字有リ。延良本・御巫本ニハ二十七字有リ。柳原本ハ之ヲ脱ス。田中校本ニ「コレハ底本ノホボ一行分ニ相当スル。恐ラク目ウツリニヨリ一行分ヲ誤脱セルモリナリ。コノ点ハ建武系本ノ系統ヲ考ヘル上デ極メテ重要」ト記ス。

6 何―底本此ノ字有ルモ、延良本・御巫本无シ。

7 此―底本此ノ字有ルモ、延良本・御巫本无シ。

8 爲―底本・諸本此ノ字有リ。白井板本・松下板本・群従本モ此ノ字有ルモ、橋本板本・考證本无シ。

9 交―底本・柳原本・延良本「交」ニ作ル。御巫本「交」ニ似ルモ字形詳ラカナラズ。

10 波―底本「彼」ニ作ルモ、延良本・御巫本ニ抛リ改ム。

11 同―底本・諸本・諸板本イズレモ「同」ニ作ルモ、考證本ハ「司」ニ作ル。

12 紀―底本・諸本「紀」ニ作ル。以下、底本「紀」ト正シク記ス例多ク、一々指摘ハセズ。

13 漏―底本・延良本・御巫本「漏」、柳原本「合」ニ作ル。「商長首」ハ『日本書紀』ニ見エズ。

### 吉弥侯部

### 上毛野朝臣同祖。豊城人彦命六世孫、奈良君之後。

1 侯―底本「侵」、諸本「隻」ニ作ル。松下板本ニ抛リ改ム。

2 部―底本・諸本此ノ字无ケレド、右傍ニ「部イ」或ハ「部」ト補ウ。

3 朝臣―底本・柳原本「々々」ニ作ルモ、延良本・御巫本ニ抛リ改ム。

4 後―底本・諸本「後」一字ニ作ル。群従本「後」ニ作り、白井板本・松下板本・橋本板本ハ「後也」ニ作ル。佐伯校本モ「大本・色乙本ニヨリ補ウ」トシテ「也」ヲ補イ「後也」二字ニ作ル。

### 甲能

### 從五位下御方大野之後也。續日本紀合。

1 甲―底本・柳原本「甲」ニ作り、右傍ニ「申イ」ト記ス。延良本・御巫本「甲」ニ作ル。

2 合―底本・柳原本「合」、延良本・御巫本「令」ニ作ル。

葛城朝臣<sup>(二二〇)</sup>

葛城襲津彦命之後也。日本紀・續日本紀・官符改姓並合。<sup>○<sub>3</sub></sup>

- 1 朝臣―底本・柳原本「々々」ニ作ルモ、延良本・御巫本ニ抛リ改ム。
- 2 後也―底本・延良本・御巫本此ノ字有ルモ、柳原本无シ。
- 3 合―底本・柳原本「合」、延良本・御巫本「令」ニ作ル。田中校本ハ校異ヲ逸ス。

稻城壬生公<sup>(二二一)</sup>

出レ自<sup>二</sup>垂仁天皇皇子、鐸石別命<sup>一</sup>也。

- 1 皇―底本・諸本「々」ニ作ル。例ニ抛リ改ム。

小槻臣<sup>(二二二)</sup>

同天皇皇子、於知別命之後也。<sup>○<sub>1</sub></sup>

- 1 同―底本・諸本「同」ニ作ル。田中校本ハ「三二六」デハ漢風諡号ニ改メ、本条ハ「同」ノ儘トス。尚、「同天皇」トハ垂仁天皇ヲ云ウ。
- 2 皇―底本・諸本「々」ニ作ル。例ニ抛リ改ム。

牟義公<sup>(二二四)</sup>

景行天皇皇子、大碓命之後。<sup>○<sub>3</sub></sup>

- 1 皇―底本・諸本「々」ニ作ル。例ニ抛リ改ム。
- 2 碓―底本・柳原本「雄」ニ作ルモ、延良本・御巫本ニ抛リ改ム。
- 3 後―底本・諸本「後」一字ニ作ル。群従本「後」ニ作り、白井板本・松下板本・橋本板本ハ「後也」ニ作ル。佐伯校本ハ「井本・大本ヨリ補ウ」トシテ「也」ヲ補イ「後也」二字ニ作ル。

守公<sup>(二二五)</sup>

牟義公同氏。大碓命之後。<sup>○<sub>3</sub></sup>

- 1 公―底本・柳原本「々」ニ作ルモ、延良本・御巫本ニ抛リ改ム。
- 2 碓―底本・柳原本「雄」ニ作ルモ、延良本・御巫本ニ抛リ改ム。
- 3 後―底本・諸本「後」一字ニ作ル。群従本「後」ニ作り、白井板本・松下板本・橋本板本ハ「後也」ニ作ル。佐伯校本「井本・大本・色乙本ニヨリ補ウ」トシテ「也」ヲ補イ「後也」二字ニ作ル。



治田連 二二六

開化天皇皇子、彦坐命之後也。四世孫、彦命征北夷、有功效、因割近江國淺井郡地賜之、爲墾田地、大海・眞持等、墾開彼地、以爲居地、大海六世孫之後、熊田・宮手等、因行事賜治田連姓也。

- 1 皇―底本・諸本「々」二作ル。例ニ抛リ改ム。
- 2 彦―底本・諸本「彦」一字二作り、色川乙本「彦坐」二字二作ル。白井板本・松下板本「彦」一字二作り（「ヒコイマスノ」ノ傍訓有リ）、橋本板本・考證本ハ「彦□」二作ル。暫ク底本ノ儘トス。
- 3 北―底本・柳原本此ノ字有ルモ、延良本・御巫本无シ。
- 4 因―底本・延良本・御巫本「因」、柳原本「目」二作ル。
- 5 手―底本「手」、柳原本「平」、延良本・御巫本「手」二作ル。

輕我孫 二二七

治田連同氏。彦坐命之後。四世孫、白髮王、初彦坐分來賜阿比古姓。成務天皇御代、賜輕地卅千代。是負輕我孫姓之由也。

- 1 後―底本・諸本「後」一字二作ル。佐伯校本ハ「也」ヲ補イ「後也」二字二作ル。
- 2 分來―底本・諸本「分來」二作ル。但シ、御巫本ハ「分」「來」ノ左傍ニ朱筆デソレゾレ「命イ」「未イ」ト記ス。
- 3 卅千―底本・諸本・昌平本「卅千」二作ル。佐伯校本ガ「副本（柳原本）・色甲本・昌本「三十千」二作ル」トスルハ誤リ。三本ハイズレモ「卅千」二作ル。
- 4 代―底本・柳原本此ノ字有ルモ、御巫本・延良本无シ。
- 5 由―底本「甲」、柳原本「男」、延良本・御巫本「田」二作ル。但シ、御巫本ハ左傍ニ朱筆デ「由イ」ト記ス。諸板本ニ抛リ改ム。

鴨縣主 二二八

治田連同祖。彦坐命之後也。

右第三卷

右京皇別上

起<sup>(二五)</sup>八多朝臣<sup>(二五)</sup>、盡<sup>(二五)</sup>猪使宿祢<sup>(二五)</sup>。卅三氏。

- 1 京―底本「京」、諸本「京」ニ作ル。「京」「京」ハ同字。
- 2 盡―底本「盡」、諸本「盡」ニ作ル。「盡」「盡」ハ同字。

八多朝臣

石川朝臣同祖。武内宿祢命之後也。日本紀合。

- 1 合―底本・柳原本「合」、延良本・御巫本「令」ニ作ル。

巨勢朝臣

石川同氏。巨勢雄柄宿祢之後也。日本紀合。

- 1 朝臣―底本・柳原本「々々」ニ作ルモ、延良本・御巫本ニ抛リ改ム。
- 2 氏―底本・延良本・御巫本「氏」、柳原本「祖」ニ作ル。
- 3 合―底本・柳原本「合」、延良本・御巫本「令」ニ作ル。

巨勢械田朝臣

雄柄宿祢四世孫、稻茂臣之後。男荒人、天豐財重日足姫天皇<sup>謚皇</sup>御世、  
 遣<sup>(四)</sup>佃葛城屯田<sup>(五)</sup>。其地野上。漑<sup>(三)</sup>水難<sup>(三)</sup>至。荒人能<sup>(七)</sup>解<sup>(六)</sup>機術<sup>(七)</sup>。始造<sup>(一)</sup>長械<sup>(一)</sup>。川  
 水灌<sup>(八)</sup>田。天皇大悅。賜<sup>(一)</sup>械田臣姓<sup>(一)</sup>也。日本紀漏。

- 1 械―底本・諸本「械」ニ作ルモ、松下板本・群從本・橋本板本ニ抛リ改ム。「械」ト「械」ハ別字。
- 2 朝臣―底本・柳原本「々々」ニ作ルモ、延良本・御巫本ニ抛リ改ム。
- 3 後―底本・諸本「後」一字ニ作ルモ、佐伯校本ハ「也」ヲ補イ「後也」ニ字ニ作ル。
- 4 佃―底本「佃」ニ作ルモ、諸本ニ抛リ改ム。
- 5 屯―底本「屯」、諸本「長」ニ作ル。
- 6 解―底本「解」、諸本「鮮」ニ作ル。白井板本・群從本「鮮」、松下板本「廂」、橋本板本「解」作ル。橋本板本ニ抛リ改ム。田中校本方「菊亭本・柳原本・延良本・御巫本、スベテ「鮮」ニ作ル」ト記スハ誤リ。
- 7 機―底本「機」ニ作ルモ、諸本ハ「机」ニ作ル。
- 8 水―底本・延良本・御巫本此ノ字有ルモ、柳原本无シ。

巨勢斐太臣<sup>(一三三)</sup>

巨勢械田同祖。巨勢雄柄四世孫、稻茂男荒人之後也。<sup>(一三三)</sup>

- 1 太―底本「大」二作ル。諸本二抛リ改ム。
- 2 械―底本・諸本「械」二作ルモ、松下板本・群従本・橋本板本二抛リ改ム（一一二）註一参照。「械」ト「械」ハ別字。
- 3 柄―底本・柳原本・御巫本「柄」、延良本「柄」二作ル。田中校本ハ校異ヲ逸ス。

紀朝臣<sup>(一三四)</sup>

石川朝臣同祖。屋主忍雄建猪心命之後也。日本紀合。<sup>(一三四)</sup>

- 1 朝臣―底本・柳原本「々々」二作ルモ、延良本・御巫本二抛リ改ム。
- 2 屋―延良本・御巫本、左傍二「武内父之父也屋主忍男武雄心命景行天皇時人」ト傍書有リ。
- 3 命―底本・延良本・御巫本「命」、柳原本「令」二作ル。田中校本ハ校異ヲ逸ス。
- 4 合―底本・柳原本「合」、延良本・御巫本「令」二作ル。

平群朝臣<sup>(一三五)</sup>

石川朝臣同氏。武内宿祢男、平群都久宿祢之後也。日本紀合。<sup>(一三五)</sup>

- 1 朝臣―底本・柳原本「々々」二作ルモ、延良本・御巫本二抛リ改ム。
- 2 氏―底本・延良本・御巫本「氏」、柳原本「代」二作ル。
- 3 男―底本此ノ字无シ。諸本二抛リ補ウ。
- 4 都―底本・柳原本此ノ字无シ。延良本・御巫本二抛リ補ウ。
- 5 合―底本・柳原本「合」、延良本・御巫本「令」二作ル。

平群文室朝臣<sup>(一三六)</sup>

同都久宿祢之後也。日本紀漏。<sup>(一三六)</sup>

- 1 朝臣―底本「々々」二作ル。柳原本此ノ字无シ。延良本・御巫本二抛リ改ム。
- 2 都―底本「郡」ニ誤ル。諸本二抛リ改ム。
- 3 久―底本・柳原本ハ右傍二「木免イ」ト記ス。田中校本ガ底本ノ書入ヲ「郡」ノ右傍トスルハ誤リ。尚、田中校本ハ、柳原本書入ニハ触レズ。

都保朝臣<sup>(三六)</sup>

平群朝臣同祖。都久足尼之後也。<sup>○<sub>2</sub></sup>  
●<sup>○<sub>3</sub></sup>  
○<sup>○<sub>4</sub></sup>  
●<sup>○<sub>5</sub></sup>

- 1 朝臣―底本「々々」二作ル。柳原本二无シ。延良本・御巫本二抛り改ム。
- 2 群―底本・柳原本・御巫本「群」、延良本「郡」二作り、右傍ニ「群款」ト記ス。
- 3 朝臣―底本・柳原本「々々」、延良本・御巫本二抛り改ム。
- 4 祖―底本・延良本・御巫本「祖」、柳原本「宿」二作ル。
- 5 也―底本・柳原本此ノ字无シ。延良本・御巫本二抛り補ウ。

高向朝臣<sup>(三七)</sup>

石川同祖。武内宿祢六世孫、猪子臣之後也。日本紀合。<sup>○<sub>2</sub></sup>  
○<sup>○<sub>3</sub></sup>

- 1 朝臣―底本・柳原本「々々」二作ルモ、延良本・御巫本二抛り改ム。
- 2 世―底本・柳原本「世」一字二作ルモ、延良本・御巫本ハ「世之」二字二作ル。
- 3 合―底本・柳原本「合」、延良本・御巫本「令」二作ル。

田中朝臣<sup>(三八)</sup>

武内宿祢五世孫、稻目宿祢之後也。日本紀合。<sup>○<sub>2</sub></sup>  
○<sup>○<sub>3</sub></sup>

- 1 朝臣―底本「々々」、柳原本「々」二作ル。延良本・御巫本二抛り改ム。
- 2 目―底本「日」二作ルモ、諸本二抛り改ム。
- 3 合―底本・柳原本「合」、延良本・御巫本「令」二作ル。

小治田朝臣<sup>(三九)</sup>

同上。日本紀合。<sup>○<sub>2</sub></sup>

- 1 朝臣―底本・柳原本「々々」二作ルモ、延良本・御巫本二抛り改ム。
- 2 合―底本・柳原本「合」、延良本・御巫本「令」二作ル。

川邊朝臣<sup>(四〇)</sup>

武内宿祢四世孫、宗我宿祢之後也。日本紀合。<sup>○<sub>2</sub></sup>  
○<sup>○<sub>3</sub></sup>

- 1 朝臣―底本「々々」二作ル。柳原本此ノ字无シ。延良本・御巫本二抛り改ム。
- 2 内―底本・柳原本・延良本「内」、御巫本「内」二作ル。
- 3 合―底本・柳原本「合」、延良本・御巫本「令」二作ル。

岸田朝臣<sup>(三三)</sup>  
●朝臣<sup>1</sup>

武内宿祢五世孫、稻目宿祢之後也。男小祚臣孫耳高、家居<sup>二</sup>岸田村<sup>一</sup>、因<sup>○3</sup>  
負<sup>二</sup>岸田臣号<sup>一</sup>、日本紀合。<sup>○4</sup>

- 1 朝臣―底本・柳原本「々々」ニ作ルモ、延良本・御巫本ニ抛リ改ム。
- 2 之―底本此ノ字有ルモ、諸本无シ。
- 3 因―底本・延良本・御巫本此ノ字有ルモ、柳原本无シ。田中校本ハ校異ヲ逸ス。
- 4 合―底本・柳原本「合」、延良本・御巫本「令」ニ作ル。

久米朝臣<sup>(三三)</sup>  
●朝臣<sup>1</sup>

武内宿祢五世孫、稻目宿祢之後也。日本紀合。<sup>○3</sup>

- 1 朝臣―底本「、」、柳原本「々々」ニ作ルモ、延良本・御巫本ニ抛リ改ム。
- 2 五世孫―底本・諸本此ノ字无シ。群従本・橋本板本ニ抛リ補ウ。
- 3 合―底本・柳原本「合」、延良本・御巫本「令」ニ作ル。

御炊朝臣<sup>(三三)</sup>  
●朝臣<sup>1</sup>

武内宿祢六世孫、宗我馬背宿祢之後也。日本紀漏。

- 1 朝臣―底本・柳原本「々々」ニ作ルモ、延良本・御巫本ニ抛リ改ム。

玉手朝臣<sup>(三四)</sup>  
●朝臣<sup>1</sup>

同宿祢男、葛木曾頭日古命之後也。日本紀合。<sup>○4</sup>

- 1 朝臣―底本「、」、柳原本「々々」ニ作ルモ、延良本・御巫本ニ抛リ改ム。
- 2 木―底本・延良本・御巫本「木」、柳原本「本」ニ作ル。田中校本ハ校異ヲ逸ス。
- 3 日―底本・延良本・御巫本「日」、柳原本「日」ニ作ル。田中校本ハ校異ヲ逸ス。
- 4 合―底本・柳原本「合」、延良本・御巫本「令」ニ作ル。

掃守田首<sup>(三五)</sup>

武内宿祢男、紀都奴宿祢之後也。<sup>○1</sup>

- 1 奴―底本・柳原本此ノ字无シ。延良本・御巫本「久」ニ作ル。松下板本・群従本・橋本板本ニ抛リ改ム。

上毛野朝臣<sup>(二三六)</sup>

●<sup>1</sup> 崇神天皇皇子、豊城入彦命之後也。日本紀合。<sup>○<sub>3</sub></sup>

- 1 朝臣―底本・柳原本「々々」二作ルモ、延良本・御巫本二抛り改ム。
- 2 皇―底本・諸本「々」二作ル。例二抛り改ム。
- 3 合―底本・柳原本「合」、延良本・御巫本「令」二作ル。

佐味朝臣<sup>(二三七)</sup>

●<sup>1</sup> 上毛野朝臣同祖。豊城入彦命之後也。日本紀合。<sup>○<sub>3</sub></sup>

- 1 朝臣―底本「々々」二作ル。柳原本此ノ字无シ。延良本・御巫本二抛り改ム。
- 2 朝臣―底本・柳原本「々々」二作ルモ、延良本・御巫本二抛り改ム。
- 3 合―底本・柳原本「合」、延良本・御巫本「令」二作ル。

大野朝臣<sup>(二三八)</sup>

●<sup>1</sup> 同豊城入彦命四世孫、大荒田別命之後也。日本紀合。<sup>○<sub>2</sub></sup>

- 1 朝臣―底本・柳原本「々々」二作ルモ、延良本・御巫本二抛り改ム。
- 2 合―底本・柳原本「合」、延良本・御巫本「令」二作ル。

垂水公<sup>(二三九)</sup>

豊城入彦命四世孫、賀袁乃眞稚命之後也。六世孫、阿利眞公、諡孝徳<sup>○<sub>4</sub></sup>  
 天皇御世、天下旱魃、河井涸絶、于時阿利眞公、造<sup>○<sub>5</sub></sup>作高樋、以垂水岡<sup>○<sub>6</sub></sup>  
 基之水、令<sup>○<sub>7</sub></sup>通<sup>○<sub>8</sub></sup>宮内、供<sup>○<sub>9</sub></sup>奉御膳、天皇美<sup>○<sub>9</sub></sup>其功、使<sup>○<sub>9</sub></sup>賜<sup>○<sub>9</sub></sup>垂水公姓、掌<sup>○<sub>6</sub></sup>垂  
 水神社也。日本紀漏。

- 1 袁―底本・諸本「表」二作ル。橋本板本頭注ニ「表。恐袁之誤」トアルニ抛り改ム。
- 2 乃―底本・柳原本此ノ字有ルモ、延良本・御巫本无シ。
- 3 稚―底本・延良本・御巫本「稚」、柳原本「雅」二作ル。
- 4 德―底本・諸本「元」二作ルモ、橋本板本二抛り改ム。
- 5 絶―底本・延良本・御巫本「絶」、柳原本「洩」二作ル。

田邊史<sup>〔160〕</sup>

豊城入彦命四世孫、大荒田別命之後。<sup>○<sub>1</sub></sup>

- 6 岡―底本「罌」、延良本・御巫本「岡」二作ル。「罌」「岡」ハ同字。柳原本ハ「田山」二字二作ル。
- 7 水―底本・柳原本此ノ字有ルモ、延良本・御巫本无シ。但シ、御巫本ハ「通」ノ下ニ〇ヲ附シ、左傍ニ朱筆デ「水イ」ト記ス。
- 8 令―底本・延良本・御巫本「令」、柳原本「合」二作ル。
- 9 使―底本・諸本「使」二作ル。但シ、御巫本ハ右傍ニ朱筆デ「便イ」ト記ス。田中校本ハ校異ヲ逸ス。

佐自努公<sup>〔161〕</sup>

同<sup>レ</sup>上。日本紀漏。

- 1 命―底本・諸本ハ此ノ字有リ。佐伯校本「命―底本〔御巫本〕・副本〔柳原本〕・諸本无シ」トスルハ誤リ。
- 2 後―底本・諸本「後」一字二作ル。佐伯校本ハ「也」ヲ補イ「後也」二字二作ル。

若櫻部朝臣<sup>〔162〕</sup>

阿倍朝臣同祖。大彦命孫、伊波我加利命之後也。日本紀合。<sup>○<sub>1</sub></sup>

- 1 朝臣―底本・柳原本「々々」二作ルモ、延良本・御巫本ニ抛リ改ム。
- 2 加―底本・諸本・白井板本・松下板本・群従本イズレモ「加」一字二作ル。橋本板本ハ「加加」ト三字二作ル。
- 3 之―底本・延良本・御巫本此ノ字有ルモ、柳原本无シ。
- 4 合―底本・柳原本「合」、延良本・御巫本「令」二作ル。

阿閑臣<sup>〔163〕</sup>

大彦命男、彦背立大稻與命之後也。日本紀合。<sup>○<sub>1</sub></sup>

- 1 閑―底本・柳原本・延良本「閑」、御巫本「閉」二作ル。
- 2 背―底本・延良本・御巫本「背」、柳原本「皆」二作ル。
- 3 與―底本「與」二作ルモ、諸本ニ抛リ改ム。
- 4 合―底本・柳原本「合」、延良本・御巫本「令」二作ル。

伊賀臣<sup>(一四四)</sup>

大稻輿命男、彦屋主田心命之後也。日本紀合。<sup>○<sub>2</sub></sup>

- 1 伊賀臣―底本・諸本「伊賀」二字二作ル。白井板本「伊賀」、松下板本「伊賀宿祢」、群従本・橋本板本「伊賀臣」二作ル。佐伯校本・田中校本ハ橋本板本ニ従ウ。田中校本ハ「次ノ「阿閉間人臣」ノ「臣」ヲ底本・柳原本「々」ニ作ルヲ見レバ、本条ノ表記ハモト「々」又は「ト」ト有リシモノト思ハル」トシテ「伊賀臣」三字ニ作ル。妥当ナ推測ナレバ「臣」ヲ補ウ。
- 2 田―底本「日」、柳原本「日」ニ作り、イツレモ右傍ニ「田イ」ト記ス。延良本・御巫本ニ抛リ改ム。
- 3 合―底本・柳原本「合」、延良本・御巫本「令」ニ作ル。

阿閉間人臣<sup>(一四五)</sup>

同氏。<sup>○<sub>3</sub></sup>

- 1 閉―底本・柳原本・延良本「閉」、御巫本「閉」ニ作ル。
- 2 臣―底本・柳原本「々」ニ作ルモ、延良本・御巫本ニ抛リ改ム。
- 3 氏―底本・諸本「氏」ニ作ル。橋本板本・考證本・皇學本ハ「祖(祖)」ニ作ル。

他田廣瀨朝臣<sup>(一四六)</sup>

同祖。續日本紀、加廣瀨二字不見。<sup>○<sub>1</sub></sup>

- 1 加―底本・諸本「加」一字ニ作ル。松下板本・群従本モ「加」ニ作ルモ、白井板本「伊加」二字、橋本板本「伊賀」二字ニ作ル。
- 2 字―底本・柳原本此ノ字有ルモ、延良本・御巫本无シ。

道公<sup>(一四七)</sup>

同祖。大彦命孫、彦屋主田心命之後。<sup>○<sub>1</sub></sup>

- 1 祖―底本・柳原本「祖」、延良本・御巫本「氏」ニ作ル。
- 2 田―底本・柳原本「日」ニ作ルモ、延良本・御巫本ニ抛リ改ム。
- 3 後―底本・諸本「後」一字ニ作ル。佐伯校本ハ「也」ヲ補イ「後也」二字ニ作ル。

音太郎<sup>(一四八)</sup>

高橋朝臣同祖。彦屋主田心命之後。<sup>○<sub>2</sub></sup>

- 1 太―底本・諸本「大」ニ作り、「フト」ト假名ヲ附ス。白井板本・松下板本モ「大」ニ作ル。群従本・橋本板本ニ抛リ改ム。



會加臣<sup>(四五)</sup>

孝元天皇皇子、大彥命之後。

- 2 田―底本・柳原本「日」一字、延良本・御巫本「日男」二字ニ作ル。但シ、御巫本ハ「日」ノ右傍ニ「武カ」ト記ス。諸板本及ビ（一四七）ノ例ニ拠リ改ム。
- 3 後―底本・諸本「後」一字ニ作ル。佐伯校本ハ「也」ヲ補イ「後也」二字ニ作ル。

杖部造<sup>(五〇)</sup>

同氏。

- 1 氏―底本・諸本「氏」、橋本板本・皇學本「祖（祖）」ニ作ル。考證本「同氏」ニ代エテ「孝元天皇皇子大彥命之後也」ノ十二字ヲ意補ス。

猪使宿祢<sup>(五二)</sup>

安寧天皇皇子、志紀都比古命之後也。日本紀合。

- 1 皇―底本・諸本「々」ニ作ルモ、例ニ拠リ改ム。
- 2 志―底本・諸本此ノ字无シ。群從本・橋本板本ニ拠リ補ウ。田中校本ハ左傍ニ「2」ヲ附スモ、●ヲ脱ス。
- 3 合―底本・柳原本「合」、延良本・御巫本「令」ニ作ル。

右第四卷

右京皇別下

起<sup>○1</sup>粟田朝臣<sup>○2</sup>、盡<sup>○3</sup>新良貴<sup>○4</sup>。卅四氏。

- 1 京―底本「京」、諸本「京」ニ作ル。「京」「京」ハ同字。
- 2 盡―底本「盡」、諸本「盡」ニ作ル。「盡」「盡」ハ同字。
- 3 卅―底本・柳原本「卅」、延良本・御巫本「三十」ニ作ル。

粟田朝臣

大春日朝臣同祖。天足彦國忍人命之後也。日本紀合<sup>○1</sup>。

- 1 國―底本・延良本・御巫本「國」、柳原本「同」ニ作ル。
- 2 人―底本此ノ字有ルモ、諸本无シ。
- 3 合―底本・柳原本「合」、延良本・御巫本「令」ニ作ル。

山上朝臣

同氏。日本紀合<sup>○2</sup>。

- 1 朝臣―底本・柳原本「々々」、延良本・御巫本ニ抛リ改ム。
- 2 合―底本・柳原本「合」、延良本・御巫本「令」ニ作ル。

眞野臣

天足彦國押人命<sup>○1</sup>三世孫、彦國膏命之後也。男、大口納命男、難波宿祢男、大矢田宿祢、從<sup>○2</sup>氣長足姫皇尊<sup>○3</sup>。征<sup>○4</sup>伐新羅、凱旋之日、便留<sup>○5</sup>爲<sup>○6</sup>鎮守將軍、于時娶<sup>○7</sup>彼國王猶榻之女、生<sup>○8</sup>二男、々々兄佐久命、次武義命、佐久命九世孫、和珥部臣鳥、務大肆忍勝等、居<sup>○8</sup>住近江國志賀郡眞野村、庚寅年負<sup>○8</sup>眞野臣姓<sup>○8</sup>也。

- 1 押―底本・延良本・御巫本「押」、柳原本「掃」ニ作ル。
- 2 彦―底本・柳原本此ノ字有ルモ、延良本・御巫本无シ。
- 3 便―底本・柳原本「便」、延良本・御巫本「使」ニ作ル。

和迹部<sup>(一五五)</sup>  
○<sub>1</sub>

- 1 迹―底本・柳原本「迹」、延良本・御巫本「邇」ニ作ル。「迹」ハ「尔」ト共ニ字体ガ問題トナル箇所ナレバ、暫ク底本ノ儘トス。〔八九〕
- 2 彦―底本・諸本此ノ字无シ。諸板本ニ抛リ補ウ。
- 3 國―底本・延良本・御巫本「國」、柳原本「国」ニ作ル。
- 4 膏―底本・延良本・御巫本「膏」、柳原本「荒」ニ作ル。佐伯校本・田中校本共ニ校異ヲ逸ス。
- 5 後―底本「三世」ニ誤ル。諸本ニ抛リ改ム。前行ノ目移リニ抛ルカ。尚、群従本ハ「後」一字ニ作ルモ、白井板本・松下板本・橋本板本ハ「後也」ト「也」ヲ補ウ。

天足彦國押人命三世孫、彦國膏命之後。  
○<sub>2</sub> ○<sub>3</sub> ○<sub>4</sub> ○<sub>5</sub>

安那公<sup>(一五六)</sup>  
○<sub>1</sub>

- 1 那―底本「那」、柳原本「那」、延良本・御巫本「郡」ニ作ル。佐伯校本・田中校本、共ニ校異ヲ逸ス。
- 2 同上―底本・柳原本「同上」、延良本・御巫本「上同」ニ作ル。

同レ上。  
○<sub>1</sub> ○<sub>2</sub>

野中<sup>(一五七)</sup>

同彦國押人命之後。  
○<sub>1</sub> ○<sub>2</sub>

- 1 押人―底本・諸本「押人」ニ作り、群従本モ同ジ。白井板本・松下板本「押」一字ニ作り、橋本板本ハ「膏」ニ作ル。
- 2 後―底本・諸本「後」一字ニ作ル。群従本「後」ニ作り、白井板本・松下板本・橋本板本ハ「後也」ニ作ル。佐伯校本ハ「也」ヲ補イ「後也」二字ニ作ルモ、校異ヲ逸ス。

和氣朝臣<sup>(一五八)</sup>

垂仁天皇皇子、鐸石別命之後也。神功皇后征<sup>一</sup>伐新羅<sup>二</sup>凱歸、明年車駕還<sup>三</sup>都、于時忍熊別皇子等、竊構<sup>四</sup>逆謀、於<sup>五</sup>明石埼<sup>六</sup>、備<sup>七</sup>兵待<sup>八</sup>之、皇后鑿識<sup>九</sup>、遣<sup>一〇</sup>弟彥王於針間吉備堺<sup>一一</sup>、造<sup>一二</sup>關防<sup>一三</sup>之、所謂和氣關是也。太平之後、錄<sup>一四</sup>從駕勲<sup>一五</sup>、酬<sup>一六</sup>以<sup>一七</sup>封地<sup>一八</sup>、仍被<sup>一九</sup>吉備磐梨縣<sup>二〇</sup>、始家之焉。光仁天皇龜寶五年、改賜<sup>二一</sup>和氣朝臣姓<sup>二二</sup>也。續日本紀合。<sup>二〇</sup><sup>一一</sup><sup>一二</sup>

- 1 皇―底本・諸本「々」ニ作ル。例ニ抛リ改ム。
- 2 凱―底本・御巫本・延良本「凱」ニ作ル。御巫本「凱」ノ下ニ〇印ヲ記シ、右傍ニ朱筆デ「旋イ」ト記ス。田中校本ハ校異ヲ逸ス。
- 3 還―底本・柳原本「還」、延良本・御巫本「还」ニ作ル。「還」「还」ハ同字。
- 4 埼―底本「埼」、柳原本「崎」ニ作ル。延良本・御巫本ハ「埼」ニ作り、右傍ニ「堺坎崎坎」ト記シ、御巫本ハ左傍ニモ「堺イ」ト記ス。田中校本ガ延良本・御巫本ヲ「埼」トスルハ字形ヲ誤ル。
- 5 鑿―底本・諸本「鑿」ニ作ル。佐伯校本ガ「副本(柳原本)……「監」ニ作ルハ非ナリ」ト記スハ誤リ。
- 6 關―底本「開」、柳原本「開」ニ作ル。延良本・御巫本「関」ニ作ルニ抛リ改ム。田中校本ガ「菊亭本・延良本・御巫本モ同ジ」ト記スハ誤リ。
- 7 大―底本・柳原本「太」、延良本・御巫本「大」ニ作ル。
- 8 錄―底本・柳原本「録」、延良本・御巫本「銀」ニ作ル。但シ、御巫本ハ左傍ニ朱筆デ「録イ」ト記ス。
- 9 酬―底本・延良本・御巫本「酬」、柳原本「酬」ニ作ル。
- 10 改―底本・延良本・御巫本「改」ニ作ル。柳原本「政」ヲ見セ消チトシ、右傍ニ「改」ト記ス。
- 11 賜―底本此ノ字有ルモ、諸本无シ。
- 12 合―底本・柳原本「合」、延良本・御巫本「令」ニ作ル。

山邊公<sup>(一五九)</sup>

和氣朝臣同祖。

阿保朝臣<sup>(一六〇)</sup>

垂仁天皇皇子、息速別命之後也。息速別命幼弱之時、天皇爲<sup>一</sup>皇子<sup>二</sup>、築<sup>三</sup>宮室於伊賀國阿保村<sup>四</sup>、以爲<sup>五</sup>封邑<sup>六</sup>、子孫因<sup>七</sup>家之焉、允恭天皇御代、以<sup>八</sup>

居地名、「賜<sup>○4</sup>阿保君姓<sup>○4</sup>、廢帝天平寶字八年、改<sup>○5</sup>公賜<sup>○5</sup>朝臣姓<sup>○5</sup>」。續日本紀合。<sup>○6</sup>

- 1 皇一底本・諸本「々」ニ作ル。例ニ抛リ改ム。
- 2 爲一底本・柳原本此ノ字有ルモ、延良本・御巫本无シ。
- 3 皇一底本・柳原本「皇」、延良本・御巫本「々」ニ作ル。
- 4 廢一底本「廢」、諸本「廢」ニ作ル。
- 5 字一底本・延良本・御巫本「字」ニ作ルモ、柳原本「子」ニ誤ル。
- 6 合一底本・柳原本「合」、延良本・御巫本「令」ニ作ル。

### 羽咋公(六)

同天皇皇子、磐衝別命之後也。<sup>○1</sup>

- 1 同一底本・諸本「同」ニ作ル。尚、「同天皇」トハ前条ノ「垂仁天皇」ヲ云ウ。
- 2 皇一底本・諸本「々」ニ作ル。例ニ抛リ改ム。
- 3 後也一底本・柳原本「後」ノ下ニ「亦名神櫛別命也續日本紀合」ト有リ。延良本・御巫本ハ「也」ノ下ニ「亦名神櫛別命續日本紀令」ト有リ。佐伯校本ハ「私見ニ抛リ讚岐公ノ條下に入レル」トシ、田中校本モ「底本〔佐伯校本〕、コレヲ次条〔讚岐公〕トノ錯乱トミテ次条ニ移スニ從フ」トスル。今之ニ倣ウ。

### 讚岐公(六)

大足彦忍代別天皇皇子、五十香彦命亦名神櫛別命之後也。續日本紀合。<sup>○1</sup>

- 1 公一底本「々」ニ作ル。諸本ニ抛リ改ム。
- 2 代一底本此ノ字无シ。諸本ニ抛リ補ウ。
- 3 皇一底本・諸本「々」ニ作ル。例ニ抛リ改ム。
- 4 香一底本・諸本「香」一字ニ作り、諸板本「香足」二字ニ作ル。
- 5 亦名神櫛別命一底本・諸本此ノ字无シ。前条ヨリ移ス。「亦名神櫛別命」ハ底本・柳原本ニ抛リ小字割書トス。延良本・御巫本ハ之ヲ本文同様ニ作ル（一一六一）註<sup>3</sup>参照。
- 6 也續日本紀合一底本・諸本此ノ字无シ。前条ヨリ移ス（一一六一）註<sup>3</sup>参照。

### 酒部公(六)

同皇子三世孫、足彦大兄王之後也。大鷓鷯天皇之御代、從<sup>○2</sup>韓國<sup>○2</sup>參來人、

兄曾保利・弟曾々保利二人、天皇勅<sup>○3</sup>有<sup>○4</sup>何才、皆有<sup>○3</sup>造<sup>○4</sup>酒之才、令<sup>○3</sup>造<sup>○4</sup>御

酒<sup>一</sup>、於<sup>レ</sup>是賜<sup>二</sup>磨号酒看都子<sup>一</sup>、賜<sup>二</sup>山鹿比咩号酒看都女<sup>一</sup>、因<sup>二</sup>以酒看都<sup>一</sup>爲<sup>レ</sup>氏。

1 公―底本・柳原本「々」、延良本・御巫本二抛り改ム。

2 同―底本・諸本「同」ニ作ル。「同」ハ前条ノ「景行天皇」ヲ云ウ。

3 人兄―底本・柳原本「兄人」ニ作ルモ、延良本・御巫本二抛り改ム。

4 曾―底本・諸本「曾」ニ作り、白井板本・松下板本モ「曾」ニ作ル。群従本ハ「曾々」、橋本板本ハ「曾曾」ニ作ル。

5 磨―底本・柳原本「磨」、延良本・御巫本「麻呂」ニ作ル。佐伯校本・田中校本モ「麻呂」トスルモ、暫ク底本ノ儘トス。「三九」註

2 参照。

6 看―底本・延良本・御巫本「看」、柳原本「者」ニ作ル。

7 都―底本・柳原本「即」ニ作ルモ、延良本・御巫本二抛り改ム。

8 都―底本・諸本「即」ニ作ル。但シ、延良本ハ左傍ニ「都」ト記シ、御巫本ハ右傍ニ朱筆テ「都イ」ト記シ、右傍ニモ「都」ト記ス。

建部公<sup>(一六四)</sup>

1

犬上朝臣同祖。日本武尊之後也。續日本紀合。

3

1 公―底本・柳原本「々」ニ作ルモ、延良本・御巫本二抛り改ム。

2 犬―底本・諸本「大」ニ作ルモ、諸板本二抛り改ム。

3 合―底本・柳原本「合」、延良本・御巫本「令」ニ作ル。

別公<sup>(一六五)</sup>

1

建部公同氏。

2

1 公―底本・柳原本「々」ニ作ルモ、延良本・御巫本二抛り改ム。

2 公―底本・柳原本「々」ニ作ルモ、延良本・御巫本此ノ字无シ。例ニ抛り改ム。

御立史<sup>(一六六)</sup>

1

御使同氏。氣入彦命之後也。持統天皇御代、依<sup>レ</sup>居<sup>二</sup>參河國青海郡御立地<sup>一</sup>、

1

賜<sup>二</sup>御立史姓<sup>一</sup>。日本紀漏。

1 使―底本・柳原本「使」ニ作り、柳原本・御巫本「史」ニ作ル。白井板本・松下板本「史」、群従本・橋本板本「使」ニ作ル。

高篠連 (一六七)

景行天皇皇子、五百木入彦命之後也。續日本紀合。<sup>○3</sup>

- 1 皇―底本・諸本「々」二作ル。例ニ抛リ改ム。
- 2 後―底本「御」二作ル。諸本ニ抛リ改ム。
- 3 合―底本・柳原本「合」、延良本・御巫本「令」二作ル。

佐伯直 (一六八)

景行天皇皇子、稻背入彦命之後也。男御諸別命、稚足彦天皇 諡成務 御代、

中分針間國給之、仍号針間別、男阿良都命 一名伊許自別 譽田天皇爲定國堺、

車駕巡幸、到針間國神埼郡瓦村東岡上、于時青葉葉自岡邊川流下、天

皇詔應三川上有レ人也。仍差伊許自別命往問、即答曰、己等是日本武尊

平東夷時、所俘蝦夷之後也。散遣於針間・阿藝・阿波・讚岐・伊豫

等國、仍居此等州氏也。後改爲佐伯、伊許自別命以狀復奏、天皇詔曰、

宜汝爲君治之、即賜氏針間別佐伯直。佐伯者所賜氏姓也。直者謂君也。 尔後至庚午年、脱

落針間別三字、偏爲佐伯直。

- 1 皇―底本・諸本「々」二作ル。例ニ抛リ改ム。
- 2 也―底本・柳原本此ノ字无シ。延良本・御巫本ニ抛リ補ウ。
- 3 稚―底本・柳原本・延良本「稚」、御巫本「雅」二作ル。
- 4 自―底本「白」二作り、右傍ニ「自坎」ト記ス。柳原本「自」二作り、右傍ニ「日坎」ト記ス。延良本・御巫本ニ抛リ改ム。尚、群從本・橋本板本「自」、白井板本・松下板本ハ「白」二作ル。
- 5 別―底本・柳原本此ノ字有ルモ、延良本・御巫本无シ。
- 6 幸―底本・柳原本「幸」、延良本・御巫本「達」二作ル。
- 7 埼―底本・柳原本「埼」二作ル。延良本・御巫本「堺」二作り、右傍ニ「崎カ」ト記ス。
- 8 瓦―底本「尾」二作ルモ、諸本ニ抛リ改ム。
- 9 岡―底本・延良本・御巫本「岡」一字二作り、柳原本「山岡」二字二作ル。

笠朝臣<sup>〔六七〕</sup>

- 10 自―底本・諸本「自」二作ル。群従本・橋本板本「自」白井板本・松下板本ハ「白」二作ル。
- 11 別―底本・諸本此ノ字无シ。白井板本・群従本・橋本板本ニ抛リ補ウ。松下板本ハ「分」二作ル。
- 12 問―底本・延良本・御巫本「問」、柳原本「問」二作ル。
- 13 曰―底本・延良本・御巫本「曰」、柳原本「田」二作ル。
- 14 所―底本「時」ノ下ニ「可停東夷時」ノ五字ガ衍入シ、更ニ「所停」ヲ「可停」ニ誤ル。諸本モ「可」ニ作ルモ、群従本ニ抛リ改ム。
- 15 藝―底本「藝」二作ル。柳原本・延良本・御巫本ニ抛リ改ム。
- 16 豫―底本・延良本・御巫本「豫」、柳原本「預」二作ル。
- 17 等州―底本此ノ字有ルモ、諸本无シ。
- 18 復―底本・柳原本「復」二作ル。延良本・御巫本ハ「後」ニ作り、右傍ニ「復歟」ト記ス。
- 19 君―底本・柳原本・延良本此ノ字有ルモ、御巫本无シ。
- 20 佐伯者……君也―底本「佐伯者所賜氏姓」、柳原本「佐伯者、賜氏也」二作ル。
- 21 賜―底本・諸本「賜」二作ル。田中校本ハ「底本(佐伯校本)ガ「賜」(初版本)ヲ後ニワザワザ「謂」(第七刷)ニ改メテキルノハ不審。佐伯氏ガ御巫本・柳原本ニ「所賜」ガ「所謂」ニナツテキルトスルノハ(同氏著考証篇第(二)一五八頁)見誤ニテ、両写本トモニ「所賜」ト記ス。底本・延良本ニモ「所賜」トアリ、「賜」デ正シイ」ト指摘ス。

孝靈<sup>○<sub>1</sub></sup>天皇皇子、稚武彦命<sup>○<sub>2</sub></sup>之後也。應神天皇巡<sup>○<sub>3</sub></sup>幸吉備國、登<sup>○<sub>4</sub></sup>加佐米山之時、飄風吹<sup>○<sub>1</sub></sup>放御笠、天皇恠<sup>○<sub>2</sub></sup>之、鴨別命言、神祇欲<sup>○<sub>3</sub></sup>奉<sup>○<sub>4</sub></sup>天皇、故其狀尔、

天皇欲<sup>○<sub>1</sub></sup>知<sup>○<sub>2</sub></sup>其眞僞、令<sup>○<sub>3</sub></sup>獵<sup>○<sub>4</sub></sup>其山、所得甚多、天皇大悅、賜<sup>○<sub>1</sub></sup>名賀佐<sup>○<sub>2</sub></sup>。

笠臣<sup>〔六七〕</sup>

笠朝臣<sup>〔六七〕</sup>同祖。稚武彦命孫、鴨別命之後也。

- 1 靈―底本・柳原本「靈」、延良本・御巫本「灵」二作ル。
- 2 皇―底本・諸本「々」二作ル。例ニ抛リ改ム。
- 3 稚―底本・延良本・御巫本「稚」、柳原本「雅」二作ル。
- 4 獵―底本・柳原本「獵」、延良本・御巫本「獵」二作ル。
- 1 朝臣―底本・柳原本「々々」二作ル。延良本・御巫本ニ抛リ改ム。
- 2 稚―底本・延良本・御巫本「稚」、柳原本「雅」二作ル。



吉備臣<sup>(一七〇)</sup>  
○<sub>1</sub> ●<sub>2</sub>

稚武彦命孫、御友別命之後也。<sup>○<sub>3</sub></sup> ○<sub>4</sub> ●<sub>5</sub>

- 1 備―底本「備」、諸本「備」ニ作ル。「備」「備」ハ同字。
- 2 臣―底本・延良本・御巫本此ノ字无ケレド、柳原本「一」ニ作ル。「一」ヲ「臣」ノ省略ト見テ改ム。
- 3 稚―底本・延良本・御巫本「稚」、柳原本「雅」ニ作ル。
- 4 友―底本・諸本「友（支）」ニ作り、白井板本・松下板本「文」ニ作ル。群従本ハ「支」ニ作り、右傍ニ「友イ」ト記ス。
- 5 命―底本・諸本此ノ字无シ。諸板本ニ抛リ補ウ。田中校本ハ校異ヲ逸ス。

眞髮部<sup>(一七一)</sup>

同命男、吉備武彦命之後也。<sup>○<sub>1</sub></sup>

- 1 備―底本、諸本「備」ニ作ル。「備」「備」ハ同字。

廬原公<sup>(一七二)</sup>  
○<sub>1</sub>

笠朝臣同祖。稚武彦命之後也。孫吉備建彦命、景行天皇御世、被レ遣<sup>二</sup>東<sup>一</sup>方、伐<sup>二</sup>毛人及凶鬼神<sup>一</sup>、到<sup>二</sup>于阿倍廬原國<sup>一</sup>、復命之日、以<sup>二</sup>廬原國<sup>一</sup>給<sup>レ</sup>之。<sup>○<sub>1</sub></sup>

- 1 廬―底本・柳原本「廬」、延良本・御巫本「廬」ニ作ル。
- 2 朝臣―底本・柳原本「々々」ニ作ル。延良本・御巫本ニ抛リ改ム。
- 3 稚―底本・延良本・御巫本「稚」、柳原本「雅」ニ作ル。
- 4 備―底本「備」、諸本「備」ニ作ル。「備」「備」ハ同字。
- 5 伐―底本・柳原本・延良本「代」ニ作ルモ、御巫本ニ抛リ改ム。田中校本ハ校異ヲ逸ス。
- 6 凶―底本・柳原本此ノ字有ルモ、延良本・御巫本无シ。
- 7 到―底本・諸本「到」ニ作ル。佐伯校本ガ「副本〔柳原本〕……〔至〕ニ作ル」トスルハ誤リ。
- 8 廬―底本・諸本「廬」「廬」ニ作ル。

宇自可臣<sup>(一七三)</sup>

孝靈天皇皇子、彦狹嶋命之後也。<sup>○<sub>1</sub></sup> ●<sub>2</sub> ○<sub>3</sub>

- 1 靈―底本・柳原本「靈」、延良本・御巫本「灵」ニ作ル。田中校本ハ校異ヲ逸ス。
- 2 皇―底本・諸本「々」ニ作ル。例ニ抛リ改ム。
- 3 嶋―底本・柳原本「嶋」、延良本・御巫本「島」ニ作ル。

道守臣(一七五)

道守朝臣同祖。豐葉頰別命之後也。  
○<sub>1</sub> ○<sub>2</sub>

- 1 臣―底本「、」、柳原本「一」ニ作ル。延良本・御巫本ニ抛リ改ム。
- 2 道守朝臣―延良本・御巫本ハ左傍ニ「旧事記云、開化天皇々子、武齒頰命江也、道守臣等祖云々」ト傍書有リ。

嶋田臣(一七六)

多朝臣同祖。神八井耳命之後也。五世孫、武惠賀前命孫、仲臣子上、  
○<sub>1</sub> ○<sub>2</sub>

稚足彦天皇○<sub>3</sub> 御代、尾張國嶋田上下二縣有二惡神、遣子上二平二服之、  
○<sub>4</sub> ○<sub>1</sub>

復命之日、賜二号嶋田臣一也。  
○<sub>5</sub> ○<sub>6</sub> ○<sub>7</sub>

- 1 嶋―底本・柳原本「嶋」、延良本・御巫本「島」ニ作ル。
- 2 臣―底本此ノ字无シ。柳原本「々」ニ作ル。延良本・御巫本ニ抛リ補ウ。
- 3 稚―底本・延良本・御巫本「稚」、柳原本「雅」ニ作ル。
- 4 彦―底本・諸本此ノ字无シ。白井板本・松下板本モ同ジ。群従本・橋本板本ニ抛リ補ウ。
- 5 復―底本・柳原本此ノ字有ルモ、延良本・御巫本无シ。
- 6 之―底本・柳原本此ノ字有ルモ、延良本・御巫本无シ。
- 7 日―底本・柳原本「日」、延良本・御巫本「日」ニ作ル。延良本・御巫本ノ字形ハ、他ノ「日」ノ字形ニ比シテ稍幅広キニ抛リ「日」ト見ル。田中校本ハ校異ヲ逸ス。

茨田連(一七七)

多朝臣同祖。神八井耳命男、彦八井耳命之後也。日本紀漏。

志紀首(一七八)

多朝臣同祖。神八井耳命之後也。  
○<sub>1</sub>

- 1 朝臣―底本・柳原本「々々」ニ作ル。延良本・御巫本ニ抛リ改ム。

藪部(一七九)

同氏。

- 1 藪―底本・柳原本「藪」、延良本・御巫本「園」ニ作ル。

火<sup>(二六〇)</sup>

同氏。

高圓朝臣<sup>(二六一)</sup>

出<sup>レ</sup>自<sup>三</sup>正六位上高圓朝臣廣世<sup>一</sup>也。

元就<sup>二</sup>母氏。  
爲<sup>三</sup>石川朝臣<sup>一</sup>。續日本紀合。<sup>〇<sub>4</sub></sup>

- 1 高圓朝臣―諸板本、(二八二)「高圓朝臣」ヲ(二八二)「日置朝臣」ノ次ニ配ス。
- 2 正六位上―底本ハ「六」上ノ右傍ニ、ソレゾレ「五」「下イ」ト記ス。諸本ハ右傍ニ「或本正五位下」ト記ス。
- 3 氏―底本・延良本・御巫本「氏」、柳原本「代」ニ作ル。
- 4 合―底本・柳原本「合」、延良本・御巫本「令」ニ作ル。

日置朝臣<sup>(二六二)</sup>

應神天皇皇子、大山守王之後也。續日本紀合。<sup>〇<sub>3</sub></sup>

- 1 朝臣―底本・柳原本「々々」ニ作ル。延良本・御巫本ニ抛リ改ム。
- 2 皇―底本・諸本「々」ニ作ル。例ニ抛リ改ム。
- 3 合―底本・柳原本「合」ニ作ル。延良本・御巫本「令」ニ作ル。

息長連<sup>(二六三)</sup>

同天皇皇子、稚淳毛ニ派王之後也。<sup>〇<sub>1</sub></sup>

- 1 同―底本・諸本「同」ニ作ル。尚、「同天皇」トハ前条ノ「應神天皇」ヲ云ウ。
- 2 皇―底本・諸本「々」ニ作ル。例ニ抛リ改ム。
- 3 稚―底本・延良本・御巫本「稚」、柳原本「雅」ニ作ル。
- 4 淳―底本・柳原本「停」ニ作ル。延良本・御巫本ニ抛リ改ム。
- 5 派―底本・柳原本「流」ニ作ル。延良本・御巫本ニ抛リ改ム。

大私部<sup>(二六四)</sup>

開化天皇皇子、彥坐命之後也。日本紀漏。<sup>〇<sub>2</sub></sup>

- 1 私―底本「私」、柳原本「松」ニ作ル。延良本・御巫本ニ抛リ改ム。
- 2 皇―底本・諸本「々」ニ作ル。例ニ抛リ改ム。

新良貴<sup>(二六五)</sup>

彦波瀲武鸕鷀草葺不合尊男、稻飯命之後也。是出<sup>二</sup>於新良國<sup>一</sup>、即爲<sup>二</sup>國主<sup>一</sup>、  
稻飯命出<sup>二</sup>於新羅國王<sup>一</sup>者祖<sup>○</sup>。日本紀不<sup>レ</sup>見。

1 祖<sup>一</sup>底本「祖」一字二作ル。柳原本「祖合」二字二作り、延良本・御巫本「祖令」二字二作ル。

右第五卷

山城國皇別

起<sup>○1</sup>小野朝臣<sup>○1</sup>、盡<sup>○1</sup>息長竹原公<sup>○1</sup>。廿四氏<sup>○2</sup>。

- 1 盡―底本「盡」、諸本「盡」ニ作ル。「盡」「盡」ハ同字。
- 2 廿―底本・柳原本「廿」、延良本・御巫本「二十」ニ作ル。

小野朝臣

孝昭天皇皇子、天足彦國押人命之後<sup>○3</sup>。

- 1 孝昭天皇―白井板本ハ、本条ノ本系ヨリ〔二九四〕阿閉臣の標目ニ至ル一丁ヲ三十二丁ノ前ニ置ク。板本彫刻ノ際ニ生ジタル錯簡ナリ。
- 2 皇―底本・諸本「々」ニ作ル。例ニ拠リ改ム。
- 3 後―底本・諸本「後」一字ニ作ル。佐伯校本ハ「也」ヲ補イ「後也」ニ字ニ作ル。

粟田朝臣

天足彦國押人命三世孫、彦國菴命之後也。

- 1 朝臣―底本・柳原本「々々」ニ作ルモ、延良本・御巫本ニ拠リ改ム。

小野臣

同命七世孫、人花命之後也。

- 1 同―底本・諸本「同」ニ作ル。尚、「同命」トハ「天足彦國押人命」ヲ云ウ。
- 2 七―底本・柳原本「七」ニ作ル。延良本・御巫本ハ「命」ノ下ニ〇ヲ挿入シ、右傍ニ「有落字坎」、左傍ニ朱筆テ「七イ」ト記ス。

和迩部

小野朝臣同祖。天足彦國押人命六世孫、米餅搗大使主命之後<sup>○3</sup>。一本<sup>○4</sup>、

彦姥津命三世孫、難波宿祢之後也。日本紀漏。

- 1 迩―底本・柳原本「迩」、延良本・御巫本「邇」ニ作ル。「迩」ハ「尔」ト共ニ字体ガ問題トナル箇所ナレバ、暫ク底本ノ儘トス。〔八九〕註1・〔九〇〕註2参照。
- 2 朝臣―底本・柳原本「々々」ニ作ルモ、延良本・御巫本ニ拠リ改ム。
- 3 使―底本・柳原本「使」一字、延良本・御巫本「使王」ニ字ニ作ル。
- 4 一本―以下、底本・諸本スベテ同ジ。「一本」トシテ本系ニ異説ヲ記ス特異例ナリ。

大宅(一九〇)

小野朝臣同祖(一九〇)

- 1 宅―底本・諸本「宅」ニ作り、白井板本・松下板本・群従本モ同ジ。橋本板本ハ「宅臣」ニ作ル。
- 2 朝臣―底本・柳原本「々々」ニ作ルモ、延良本・御巫本ニ抛リ改ム。

葉栗(一九二)

小野同祖(一九二)

- 1 野―底本・諸本「野」ニ作り、白井板本・松下板本・群従本モ同ジ。橋本板本ハ「野朝臣」ト二字ヲ補ウ。

村公(一九三)

天足彦國押人命之後也。

- 1 村―底本・延良本・御巫本「村」、柳原本「松」ニ作ル。

度守首(一九三)

村公同祖(一九三)

- 1 度―底本・諸本「度」ニ作ル。佐伯校本ガ「副本」(柳原本)……「渡」ニ作ルトスルハ誤リ。

阿閉臣(一九四)

阿倍朝臣同祖(一九四)

- 1 倍―底本・柳原本「倍」、延良本・御巫本「部」ニ作ル。
- 2 朝臣―底本・柳原本「々々」ニ作ルモ、延良本・御巫本ニ抛リ改ム。
- 3 同祖―底本・諸本此ノ字无シ。白井板本・松下板本モ同ジ。群従本・橋本板本ニ抛リ補ウ。

的臣(一九四)

石川朝臣同祖(一九四)

- 1 臣―底本「々」、柳原本「一」ニ作ルモ、延良本・御巫本ニ抛リ改ム。
- 2 朝臣―底本「々々」、柳原本「一」ニ作ルモ、延良本・御巫本ニ抛リ改ム。
- 3 太―底本・柳原本「太」、延良本・御巫本「大」ニ作ル。

与等連 (二九六)

塩屋連同祖。彦太忍信命之後也。<sup>○1</sup><sup>○2</sup>

- 1 太―底本・柳原本「太」、延良本・御巫本「大」ニ作ル。
- 2 也―底本・延良本・御巫本此ノ字有ルモ、柳原本无シ。田中校本ハ校異ヲ逸ス。

曰佐 (二九七)

紀朝臣同祖。武内宿祢之後也。欽明天皇御世、率同族四人、國民卅五人<sup>○1</sup>歸化、天皇矜<sup>○2</sup>其遠來、勅<sup>○3</sup>玆勲臣、爲<sup>○4</sup>卅九人之譯、時人号曰<sup>○5</sup>譯氏、男諸石臣、次麻奈臣、是近江國野洲郡曰佐、山代國相樂郡山村曰佐、大和國添上郡曰佐等祖也。<sup>○6</sup><sup>○7</sup><sup>○8</sup><sup>○9</sup>

- 1 曰―底本「曰」、諸本「日」ニ作ル。
- 2 朝臣―底本・柳原本「々々」ニ作ルモ、延良本・御巫本ニ拠リ改ム。
- 3 四人―底本・柳原本此ノ字有ルモ、延良本无シ。御巫本「同族」ノ下ニ〇ヲ挿入シ左傍ニ朱筆デ「四人」ト記ス。田中校本ガ「御巫本ニ逸ス」ト記スハ説明不足。
- 4 矜―底本・諸本「務」ニ作ル。白井板本・松下板本・橋本板本モ同ジ。群従本ニ拠リ改ム。尚、御巫本ハ「務」ノ下ニ〇印ヲ挿入シ左傍ニ朱筆デ「以イ」ト記ス。
- 5 卅―底本「卅」、諸本「卅」ニ作ル。「同族四人」ト「國民卅五人」ト有レバ、諸本ノ説ヲ採ル。田中校本ハ「卅」ニ作ル。
- 6 臣―底本・柳原本「巨」、延良本・御巫本ニ拠リ改ム。
- 7 洲―底本・御巫本「洲」、柳原本「州」、延良本「洌」ニ作ル。
- 8 郡―底本・延良本・御巫本「郡」、柳原本「群」ニ作ル。
- 9 曰―底本・延良本・御巫本「曰」、柳原本「日」ニ作ル。

出庭臣 (二九八)

孝元天皇皇子、彦太忍信命之後也。<sup>○1</sup><sup>○2</sup><sup>○3</sup><sup>○4</sup>

- 1 皇―底本・諸本「々」ニ作ル。例ニ拠リ改ム。
- 2 彦―底本・諸本此ノ字无シ。白井板本・松下板本・群従本モ同ジ。橋本板本ニ拠リ補ウ。
- 3 太―底本・柳原本「太」、延良本・御巫本「大」ニ作ル。
- 4 也―底本・延良本・御巫本此ノ字有ルモ、柳原本无シ。

●<sup>1</sup> 日下部宿祢

開化天皇皇子、彦坐命之後也。日本紀合。<sup>●<sub>3</sub>○<sub>4</sub></sup>

- 1 日下―底本「早」一字二作り、諸本「日下」二字二作ル。
- 2 皇―底本・諸本「々」二作ル。例ニ抛リ改ム。
- 3 紀―底本「記」ニ誤ル。諸本ニ抛リ改ム。
- 4 合―底本・柳原本「合」、延良本・御巫本「令」二作ル。

輕我孫公

治田連同祖。彦今實命之後也。<sup>●<sub>1</sub></sup>

- 1 今―底本・諸本「命」ニ作ル。但シ、御巫本ハ右傍ニ朱筆デ「今イ」、左傍ニ「今坎」ト記ス。諸板本ニ抛リ改ム。

●<sup>1</sup> 堅井公

彦坐命之後也。續日本紀合。<sup>○<sub>2</sub> ●<sub>3</sub> ○<sub>4</sub></sup>

- 1 公―底本此ノ字无シ。柳原本「一」ニ作ル。延良本・御巫本ニ抛リ補ウ。
- 2 續―底本此ノ字有ルモ、諸本无シ。
- 3 紀―底本「記」ニ誤ル。諸本ニ抛リ改ム。
- 4 合―底本・柳原本「合」、延良本・御巫本「令」ニ作ル。

●<sup>1</sup> 別公

同レ上。

- 1 公―底本・柳原本「一」ニ作ルモ、延良本・御巫本ニ抛リ改ム。

道守臣

道守朝臣同祖。武波都良和氣命之後也。<sup>●<sub>1</sub></sup>

- 1 波―底本「彼」ニ作ルモ、諸本ニ抛リ改ム。



今木<sup>(104)</sup>

道守同祖。建豐羽頰別命之後也。<sup>(105)</sup>

- 1 同―底本・柳原本・御巫本「同」、延良本「國」ニ作ル。
- 2 也―底本・延良本・御巫本此ノ字有ルモ、柳原本无シ。

間人造<sup>(104)</sup>

間人宿祢同祖。譽屋別命之後也。<sup>(105)</sup>

布勢公<sup>(104)</sup>

仲哀天皇皇子、忍稚命之後也。續日本紀不レ見。<sup>(105)</sup>

- 1 勢―底本・諸本「勢」ニ作ル。「勢」「勢」ハ同字。佐伯校本ハ「施」ニ作ルモ校異ヲ逸ス。
- 2 皇―底本・諸本「々」ニ作ル。例ニ拠リ改ム。
- 3 稚―底本・延良本・御巫本「稚」、柳原本「雅」ニ作ル。

茨田連<sup>(104)</sup>

茨田宿祢同祖。彦八井耳命之後也。<sup>(105)</sup>

茨田勝<sup>(104)</sup>

景行天皇皇子、息長彦人大兄瑞城命之後也。<sup>(105)</sup>

- 1 皇―底本・諸本「々」ニ作ル。例ニ拠リ改ム。
- 2 大―底本・延良本・御巫本「大」、柳原本「天」ニ作ル。

息長竹原公<sup>(104)</sup>

應神天皇三世孫、阿居乃王之後也。<sup>(105)</sup>

- 1 居―底本・諸本「居」ニ作ル。白井板本・松下板本・橋本板本ハ「居」、群從本「古」ニ作ル。

右第六卷

大和國皇別<sup>○<sub>1</sub></sup>

起<sup>○<sub>1</sub></sup>星川朝臣<sup>○<sub>1</sub></sup>、盡<sup>○<sub>2</sub></sup>川侯公<sup>○<sub>2</sub></sup>。十八氏。

- 1 皇―底本此ノ字无シ。諸本ニ抛リ補ウ。
- 2 盡―底本「盡」、諸本「盡」ニ作ル。「盡」「盡」ハ同字。

星川朝臣<sup>○<sub>1</sub></sup>

石川朝臣同祖。武内宿祢之後也。敏達天皇御世、依<sup>○<sub>2</sub></sup>居改賜<sup>○<sub>2</sub></sup>姓星川臣<sup>○<sub>2</sub></sup>。日本紀合<sup>○<sub>3</sub></sup>。

- 1 朝臣―底本・柳原本「々々」ニ作ルモ、延良本・御巫本ニ抛リ改ム。
- 2 改―底本・柳原本「政」ニ作ルモ、延良本・御巫本ニ抛リ改ム。
- 3 合―底本・柳原本「合」、延良本・御巫本「令」ニ作ル。

江沼臣<sup>○<sub>1</sub></sup>

石川同氏。建内宿祢男、若子宿祢之後也。日本紀漏<sup>○<sub>3</sub></sup>。

- 1 建―底本・延良本・御巫本「達」ニ作ル。但シ、延良本ハ右傍ニ「建坎」、御巫本ハ右傍ニ「建坎」、左傍ニ「建イ」ト記ス。柳原本ニ抛リ改ム。
- 2 男―底本・柳原本此ノ字有ルモ、延良本・御巫本无シ。
- 3 紀―底本「記」ニ誤ル。諸本ニ抛リ改ム。

内臣<sup>○<sub>1</sub></sup>

孝元天皇皇子、彦太忍信命之後也<sup>○<sub>3</sub></sup>。

- 1 臣―底本「、」、柳原本「一」ニ作ルモ、延良本・御巫本ニ抛リ改ム。
- 2 皇―底本・諸本「々」ニ作ル。例ニ抛リ改ム。
- 3 也―底本・諸本此ノ字有ルモ、柳原本无シ。

山公<sup>○<sub>1</sub></sup>

内臣同祖。味内宿祢之後也。

阿祇奈君 <sup>(三三)</sup>

玉手朝臣同祖。彦太忍信命孫、武内宿祢命之後也。 <sup>(三三)</sup>

- 1 祖―底本・柳原本「祖」、延良本・御巫本「姓」ニ作ル。但シ、御巫本ハ左傍ニ朱筆デ「祖都イ」ト記ス。
- 2 命―底本・柳原本此ノ字有ルモ、延良本・御巫本无シ。
- 3 也―底本・諸本此ノ字有ルモ、柳原本无シ。

馬工連 <sup>(三三)</sup>

平群朝臣同祖。平群木兔宿祢之後也。 <sup>(三三)</sup>

- 1 群―底本・柳原本「郡」ニ作ルモ、延良本・御巫本ニ抛リ改ム。
- 2 祢―底本・延良本・御巫本「祢」、柳原本「祖」ニ作ル。

曰佐 <sup>(三三)</sup>

紀朝臣同祖。武内宿祢之後也。 <sup>(三三)</sup>

- 1 曰―底本「日」、諸本「日」ニ作ル。

池後臣 <sup>(三七)</sup>

建内宿祢之後也。日本紀不<sub>レ</sub>見。 <sup>(三七)</sup>

- 1 紀―底本「記」ニ誤ル。諸本ニ抛リ改ム。

巨勢械田臣 <sup>(三三)</sup>

巨勢械田朝臣同祖。武内宿祢命之後也。 <sup>(三三)</sup>

- 1 械―底本・諸本「械」ニ作リ、白井板本ハ「械」ニ作ル。松下板本・群從本・橋本板本ニ抛リ改ム。「械」「械」ハ別字。
- 2 巨勢械田―底本・柳原本「々々」ニ作ルモ、延良本・御巫本ニ抛リ改ム。
- 3 命―底本・柳原本此ノ字有ルモ、延良本・御巫本无シ。

音太郎 <sup>(三三)</sup>

高橋朝臣同祖。大日子命之後也。 <sup>(三三)</sup>

- 1 太―底本・柳原本「太」、延良本・御巫本「大」ニ作ル。

坂合部首(三三〇)

- 2 朝臣―底本・柳原本「々々」ニ作ルモ、延良本・御巫本ニ抛リ改ム。
- 3 子―底本・延良本・御巫本「子」一字ニ作り、柳原本ハ「子子」二字ニ作ル。
- 4 也―底本・延良本・御巫本此ノ字有ルモ、柳原本无シ。

阿倍朝臣同氏。大彥命之後也。

○<sub>1</sub> ●<sub>2</sub> ○<sub>3</sub>

柿本朝臣(三三一)

○<sub>1</sub> ○<sub>2</sub>

- 1 倍―底本・柳原本「倍」、延良本・御巫本「部」ニ作ル。
- 2 朝臣―底本・柳原本「々々」ニ作ルモ、延良本・御巫本ニ抛リ改ム。
- 3 氏―底本・諸本「氏」ニ作ル。佐伯校本ハ諸板本ニ抛リ「祖」ニ改ムルモ、田中校本ハ「氏」ニ作ル。

大春日朝臣同祖。天足彥國押人命之後也。敏達天皇御世、依家門有柿

樹、爲柿本臣氏。

○<sub>1</sub>

- 1 柿―底本・諸本「柿」ニ作ル。田中校本ハ「柿」ニ作ルモ校異ヲ逸ス。本条逸文参照。
- 2 本―底本・柳原本「本」、延良本・御巫本「下」ニ作ル。
- 3 朝臣―底本・柳原本「々々」ニ作ルモ、延良本・御巫本ニ抛リ改ム。
- 4 世―底本・柳原本「代」ニ作ルモ、延良本・御巫本ニ抛リ改ム。

布留宿祢(三三二)

\*<sub>11</sub>

柿本朝臣同祖。天足彥國押人命七世孫、米餅搗大使主命之後也。男木

事命男、市川臣、大鷓鷯天皇御世、達倭賀布都努斯神社於石上御布留

村高庭之地、以市川臣爲神主、四世孫、額田臣、武藏臣、齊明天皇

御世、宗我蝦夷大臣、号武藏臣、日物部首并神主首。因茲失臣姓爲

物部首、男正五位上日向、天武天皇御世、依社地名改布留宿祢姓、

日向三世孫、邑智等也。

日向三世孫、邑智等也。

- 1 柿―底本・諸本「柿」ニ作ル。田中校本ハ「柿」ニ作ル（二二二）註1参照。
- 2 朝臣―底本・柳原本「々々」ニ作ルモ、延良本・御巫本ニ抛リ改ム。
- 3 七世孫―底本・柳原本・延良本「七世孫」、御巫本「七世之孫」ニ作ル。御巫本ハ上欄ニ朱筆デ「六クダリ、イニ二字サケテアリ」ト記ス。御巫本デハ「之孫」ノ二字ガ次行ノ行頭ニ位置シ、以下、標目ト同ジ高サニ記サルルガ故ニ斯ク記スナリ。尚、佐伯校本ハ底本（御巫本）ヲ改メ「七世孫」ニ作ルモ、校異ヲ逸ス。
- 4 事―底本「事」、柳原本・延良本「夏」、御巫本「夏」ニ作ル。
- 5 布都努斯神社―御巫本、左傍ニ「石上社ハ者、非經津主神、不審」ノ書入アリ。
- 6 臣―底本・延良本・御巫本「臣」、柳原本「臣」ニ作ル。
- 7 齊明天皇―底本・諸本「齊明天皇」ニ作ル。田中校本ハ「国風謚号デハ後飛鳥岡本宮御宇天皇デ、「後」ガナケレバ、舒明天皇ヲ指ス。兩者ニヨク混同ノ誤ガアルノデ、コノ場合ハ舒明天皇カモ知レズ」ト記ス。
- 8 日―底本「日」、柳原本「日」、延良本・御巫本「臣」ニ作ル。
- 9 主―底本・柳原本此ノ字有ルモ、延良本・御巫本无シ。
- 10 世―底本・柳原本「代」ニ作ルモ、延良本・御巫本ニ抛リ改ム。
- 11 (龍頭)―御巫本ノ本条龍頭ニハ「旧事記五云、厥神劍、師灵釵刀、亦名市都主神魂刀、亦云、佐土布都、亦云建布都、亦云豊布都神是矣」「石上布都御魂社、武甕槌也、一名建布都、一名豊布都」ノ書入アリ。

### 久米臣<sup>(三三)</sup>

○<sub>1</sub>

柿本同祖。天足彦國押人命五世孫、大難波命之後也。

○<sub>3</sub>

- 1 臣―底本・延良本・御巫本「臣」、柳原本「臣」ニ作ル。
- 2 柿―底本・諸本「柿」ニ作リ、田中校本ハ「柿」ニ作ル（二二二）註1参照。
- 3 押―底本・延良本・御巫本此ノ字有ルモ、柳原本无シ。

### 肥直<sup>(三四)</sup>

多朝臣同祖。神八井耳命之後也。

### 下養公<sup>(三五)</sup>

○<sub>1</sub>

上毛野朝臣同祖。豊城入彦命之後也。

- 1 養―底本・延良本・御巫本「養」、柳原本「養」ニ作ル。

廣來津公<sup>(三三六)</sup>  
●<sub>1</sub>

下養公同祖。豐城入彥命四世孫、大荒田別命之後也。<sup>(三三五)</sup>

1 公―底本「、」、柳原本「―」ニ作ルモ、延良本・御巫本ニ抛リ改ム。

川俣公<sup>(三三七)</sup>  
●<sub>1</sub>

●<sub>2</sub> 下部宿祢同祖。彦坐命之後也。<sup>(三三九)</sup>

1 公―底本・柳原本「―」ニ作ルモ、延良本・御巫本ニ抛リ改ム。

2 日下―底本「早」ニ作ル。諸本ニ抛リ改ム。

### 右第七卷

攝津國皇別

起<sup>○1</sup>川原公<sup>○1</sup>、盡<sup>○2</sup>車持公<sup>○2</sup>、廿九氏<sup>○3</sup>。

- 1 攝―底本「攝」、柳原本「攝」、延良本・御巫本「撰」ニ作ル。
- 2 盡―底本・諸本「盡」ニ作ル。「盡」ハ同字。
- 3 公―底本・柳原本此ノ字无シ。延良本・御巫本ニ抛リ補ウ。
- 4 廿―底本・柳原本「廿」、延良本・御巫本「二十」ニ作ル。

川原公

爲奈真人同祖。火焰親王之後也。<sup>○1</sup>天智天皇御世、依<sup>レ</sup>居賜<sup>ニ</sup>川原公姓<sup>一</sup>。日

本紀漏。<sup>●2</sup>

- 1 親―底本・諸本「親」ニ作ル。○三二六（四四）ハ「親」ノ字无シ。
- 2 紀―底本「記」ニ誤ル。諸本ニ抛リ改ム。

榛原公

息長真人同祖。大山守命之後也。

- 1 公―底本「々」、柳原本「一」ニ作ルモ、延良本・御巫本ニ抛リ改ム。
- 2 也―底本・延良本・御巫本此ノ字有ルモ、柳原本无シ。

高橋朝臣

阿倍朝臣同祖。大彥命之後也。<sup>○1</sup>日本紀不<sup>レ</sup>見。<sup>●3</sup>

- 1 倍―底本・柳原本「倍」、延良本・御巫本「部」ニ作ル。
- 2 朝臣―底本・柳原本「々々」ニ作ルモ、延良本・御巫本ニ抛リ改ム。
- 3 紀―底本「記」ニ誤ル。諸本ニ抛リ改ム。

佐々貴山君

同<sup>レ</sup>上。

久々智

同<sup>レ</sup>上。

坂合部(三三三)  
○<sub>1</sub>

同大彥命之後也。允恭天皇御世、造<sub>1</sub>立國境之標<sub>2</sub>、因賜<sub>3</sub>姓坂合部連<sub>1</sub>。

- 1 部―底本・諸本「部」ノミニ作ルモ、本系デハ「坂合部連」ト記ス。
- 2 恭―底本・延良本・御巫本「恭」、柳原本「恭」ニ作ル。

伊我水取(三三四)

阿倍朝臣同祖。大彥命之後也。

- 1 倍―底本・柳原本「倍」、延良本・御巫本「部」ニ作ル。
- 2 朝臣―底本・柳原本「々々」ニ作ルモ、延良本・御巫本ニ抛リ改ム。

吉志(三三五)

難波忌寸同祖。大彥命之後也。

三宅人(三三六)

大彥命男、波多武日子命之後也。

- 1 波―底本・柳原本「波」、延良本・御巫本「彼」ニ作ル。

雀部朝臣(三三七)  
○<sub>1</sub>

巨勢朝臣同祖。建内宿祢命之後也。

- 1 雀―底本・延良本・御巫本「雀」、柳原本「雀」ニ作ル。「雀」「雀」ハ別字。
- 2 朝臣―底本・柳原本「々々」ニ作ルモ、延良本・御巫本ニ抛リ改ム。

坂本臣(三三八)

紀朝臣同祖。彥太忍信命孫、武内宿祢命之後。

- 1 朝臣―底本・柳原本「々々」ニ作ルモ、延良本・御巫本ニ抛リ改ム。
- 2 祖―底本・柳原本「祖」、延良本・御巫本「姓」ニ作ル。
- 3 後―田中校本「底本」「トアリ」也ヲ略ス意。柳原本・延良本・御巫本ニ「也」欠クトスルモ、末尾ノ「也」ヲ「、」作ル例无シ。底本ノ「、」ハ、破損或ハ汚レカト思ワレバ「也」ハ補ワズ。



阿支奈臣<sup>(三二六)</sup>

○<sub>1</sub> ●<sub>2</sub>

玉手朝臣同祖。武内宿祢男、葛城曾豆比古命之後也。<sup>(三二七)</sup>

○<sub>3</sub> ●<sub>4</sub>

○<sub>5</sub> ●<sub>6</sub>

- 1 奈―底本・延良本・御巫本「奈」、柳原本「奈」ニ作ル。
- 2 臣―底本「一」、柳原本「一」ニ作ルモ、延良本・御巫本ニ抛リ改ム。
- 3 手―底本・柳原本「手」、延良本・御巫本「午」ニ作ル。但シ、御巫本ハ左傍ニ朱筆デ「手イ」ト記ス。
- 4 朝臣―底本・柳原本「々々」ニ作ルモ、延良本・御巫本ニ抛リ改ム。
- 5 古―底本・柳原本「古」一字ニ作り、延良本・御巫本「古津」二字ニ作ル。
- 6 之―底本此ノ字无ケレド、諸本ニ抛リ補ウ。

布敷首<sup>(三二八)</sup>

玉手同祖。葛木襲津彦命之後也。<sup>(三二九)</sup>

井代臣<sup>(三三〇)</sup>

○<sub>1</sub>

大春日朝臣同祖。米餅搗大使主命之後也。居大和國添上郡井手村、因負姓井出臣。<sup>(三三一)</sup>

○<sub>4</sub>

- 1 代―底本・諸本「代」ニ作ル。但シ、御巫本ハ右傍ニ「出イ」ト朱書、左傍ニ「出坎」ト記ス。尚、底本・諸本ハ「イシロ」、佐伯考證篇二ハ「みて」ト假名ヲ附ス。
- 2 朝臣―底本・柳原本「々々」ニ作ルモ、延良本・御巫本ニ抛リ改ム。
- 3 使―底本・柳原本「使」一字ニ作り、延良本・御巫本「使主」二字ニ作ル。
- 4 出―底本・諸本「出」ニ作ル。白井板本「手」、群從本・橋本板本・考證本「代」ニ作ル。

津門首<sup>(三三二)</sup>

櫛井臣同祖。米餅搗大使主命之後也。<sup>(三三三)</sup>

物部首<sup>(三三四)</sup>

大春日朝臣同祖。<sup>(三三五)</sup>

●<sub>1</sub> ○<sub>2</sub> ○<sub>3</sub>

- 1 朝臣―底本・柳原本「々々」ニ作ルモ、延良本・御巫本ニ抛リ改ム。
- 2 同―底本・柳原本・御巫本此ノ字有ルモ、延良本无シ。
- 3 祖―底本・柳原本「祖(祖)」ニ作ル。延良本・御巫本ハ「祖也」ニ作り、延良本ハ「祖」ノ右傍ニ「同坎」ト記ス。

和迩部 (二四四)

大春日朝臣同祖。天足彦國忍人命之後也。

1. 迩―底本・柳原本「迩」、延良本・御巫本「通」ニ作ル。「迩」ハ「尔」ト共ニ字体ガ問題トナル箇所ナレバ、暫ク底本ノ儘トス。〔八九〕  
〔九〇〕参照。

2. 朝臣―底本・柳原本「々々」ニ作ルモ、延良本・御巫本ニ抛リ改ム。

物部 (二四五)

物部首同祖。米餅搗大使主命之後也。

1. 使―底本・柳原本・延良本・御巫本此ノ字无シ。但シ、御巫本ハ「〇」印ヲ記シ、右傍ニ「使イ」、左傍ニ「便イ」ト註ス。諸板本ニ抛リ補ウ。

羽束首 (二四六)

天足彦國押人命男、彦姥津命之後也。

日下部宿祢 (二四七)

出レ自開化天皇皇子、彦坐命也。日本紀合。

1. 日下―底本「早」一字ニ作リ、諸本「日下」二字ニ作ル。

2. 皇―底本・諸本「々」ニ作ル。例ニ抛リ改ム。

3. 合―底本・柳原本「合」、延良本・御巫本「令」ニ作ル。

依羅宿祢 (二四八)

日下部宿祢同祖。彦坐命之後也。續日本紀合。

1. 日下―底本「早」一字ニ作リ、諸本「日下」二字ニ作ル。

2. 宿祢―底本・柳原本「々々」ニ作ルモ、延良本・御巫本ニ抛リ改ム。

3. 合―底本・柳原本「合」、延良本・御巫本「令」ニ作ル。

鴨君 (二四九)

同前氏。

1. 同前氏―底本・諸本「同前氏」三字ニ作ル。白井板本・松下板本・群從本モ「同前氏」ニ作ル。橋本板本・皇學本ハ「同上」二字ニ作リ、考證本ハ之ニ代エテ「日下部宿禰同祖彦坐命之後也續日本紀合」十八字ヲ意補ス。

山邊公(三五〇)

和氣朝臣同祖。大鐸石和居命之後也。○<sub>1</sub> ●<sub>2</sub>

- 1 鐸―底本・柳原本「鐸」、延良本・御巫本「鐸」ニ作ル。
- 2 石―底本・諸本此ノ字无シ。白井板本・松下板本モ无シ。群従本・橋本板本ニ拠リ補ウ。

山守(三五二)

垂仁天皇皇子、五十日足彦命之後也。●<sub>1</sub> ●<sub>2</sub>

- 1 皇―底本・諸本「々」ニ作ル。例ニ拠リ改ム。
- 2 也―底本・柳原本此ノ字无シ。延良本・御巫本ニ拠リ補ウ。

豐嶋連(三五三)

多朝臣同祖。彦八井耳命之後也。日本紀漏。●<sub>1</sub> ●<sub>2</sub> ●<sub>3</sub>

- 1 嶋―底本・柳原本「嶋」、延良本・御巫本「島」ニ作ル。
- 2 朝臣―底本・柳原本「々々」ニ作ルモ、延良本・御巫本ニ拠リ改ム。
- 3 紀―底本「記」ニ誤ル。諸本ニ拠リ改ム。

松津首(三五四)

豐嶋連同祖。○<sub>1</sub>

- 1 嶋―底本・柳原本「嶋」、延良本・御巫本「島」ニ作ル。

道守臣(三五四)

道守朝臣同祖。武葉列別命之後也。●<sub>1</sub>

- 1 列―底本「判」、柳原本・御巫本「判」、延良本「判」ニ作ル。白井板本「判」、松下板本・群従本・橋本板本「類」ニ作ル。「タケトヨハヅラワケ」ノコトナレバ〔八一〕註3ニ倣イ「列」ニ改ム。

韓矢田部造(三五五)

上毛野朝臣同祖。豐城入彦命之後也。三世孫、弥母里別命孫、現古君、

氣長足比賣○<sub>1</sub> 筑紫樞水宮御宇之時、海中有レ物、爰差○<sub>2</sub>現古君一遣レ見、

右第八卷

車持公<sup>(二五六)</sup>

復奏之日、率<sup>二</sup>韓蕪使主等<sup>一</sup>參來、因<sup>レ</sup>茲賜<sup>二</sup>韓矢田部造姓<sup>一</sup>。日本紀漏<sup>●</sup><sub>4</sub>。

- 1 氷―底本・柳原本「氷」、延良本・御巫本「冰」ニ作ル。
- 2 爰―底本此ノ字有ルモ、諸本无シ。
- 3 主―底本・諸本「王」ニ作ル。白井板本・群從本モ「王」ニ作ル。橋本板本ノ頭注ニ抛リ改ム。
- 4 紀―底本「記」ニ誤ル。諸本ニ抛リ改ム。

同豊城入彦命之後也。<sup>●</sup><sub>2</sub>

- 1 公―底本・柳原本此ノ字无シ。延良本ニ抛リ補ウ。
- 2 同豊城入彦命之後也―底本・柳原本此ノ字有ルモ、延良本・御巫本无シ。但シ、御巫本ハ朱書ニテ「同豊城入彦命之後也イ」ト記ス。佐伯校本ハ朱書ニ触レズ。

## 河内國皇別

起<sup>二</sup>阿閑朝臣<sup>一</sup>、盡<sup>二</sup>秦原<sup>一</sup>。冊<sup>二</sup>六氏<sup>一</sup>。

- 1 盡―底本「盡」、柳原本・延良本・御巫本「盡」ニ作ル。「盡」「盡」ハ同字。
- 2 秦―底本・柳原本「秦」、延良本・御巫本「秦」ニ作ル。イズレモ「秦」ノ異体字ナラン。
- 3 冊―底本・柳原本「冊」、延良本・御巫本「四十」ニ作ル。

## 阿閑朝臣

阿倍朝臣同祖。孝元天皇皇子、大彦命之後也。

- 1 倍―底本・諸本「閑」ニ作ル。田中校本ハ「底本（佐伯校本）・柳原本・延良本・御巫本、スベテ「閑」（閑）ニ作り、文意通ゼズ。橋本板本「倍」ニ作ルニヨリ改ム」トス。之ニ従ウ。
- 2 朝臣―底本・柳原本「々々」ニ作ルモ、延良本・御巫本ニ抛リ改ム。
- 3 皇―底本・諸本「々」ニ作ル。例ニ抛リ改ム。

## 阿閑臣

阿閑朝臣同祖。大彦男、瀬立大稻起命之後也。

- 1 朝臣―底本・柳原本「々々」ニ作ルモ、延良本・御巫本ニ抛リ改ム。
- 2 彦―底本・諸本「彦（彦）」一字ニ作ル。群従本・橋本板本ハ「彦」ノ下ニ「命」ヲ補ウ。
- 3 瀬―底本・諸本「瀬」一字ニ作ル。但シ、御巫本ハ〇ヲ附シ「男」ノ下ニ朱筆テ「彦イ」ト記ス。橋本板本「彦瀬」二字ニ作り、佐伯校本モ之ニ抛ル。田中校本ハ「彦」ヲ「無クテモ可ナリ」トス。

## 日下連

阿閑朝臣同氏。大彦男、紐結命之後也。日本紀漏。

- 1 日下―底本「早」一字ニ作り、諸本「日下」二字ニ作ル。
- 2 朝臣―底本「々」、柳原本「々々」ニ作ルモ、延良本・御巫本ニ抛リ改ム。
- 3 氏―底本・諸本「氏」ニ作り、佐伯校本ハ「祖」ニ改ム。
- 4 彦―底本・諸本「彦」一字ニ作り、橋本板本「彦命」二字ニ作ル。佐伯校本ハ橋本板本ニ抛ル。
- 5 紐―底本・諸本「紐」ニ作り、白井板本・群従本・橋本板本モ「紐」ニ作ル。松下板本ニ抛リ改ム。「紐」ハ「紉（ナハ・ムスブ）」ト同字。神名ハ次条「二六〇」「大戸首」ニ見ユル「比毛由比命」ト同神ナレバ、「紐」ヲ可トスベキカ。佐伯校本ハ「紐」ニ作ルモ校異ヲ逸ス。マタ、佐伯翻刻ハ「紐」ニ作り、右傍ニ〇ヲ附スモ校異ヲ逸ス。
- 6 也―底本・柳原本此ノ字有ルモ、延良本・御巫本无シ。

大戸首(三五〇)

阿閑朝臣同祖。大彥命男、比毛由比命之後也。謚安閑御世、河内國日

下大戸村造立御宅、爲首仕奉、仍賜大戸首姓、日本紀漏。

- 1 朝臣―底本・柳原本「々々」ニ作ルモ、延良本・御巫本ニ抛リ改ム。
- 2 由―底本・延良本・御巫本「田」ニ作ルモ、柳原本ニ抛リ改ム。
- 3 仕奉―底本「仕奉」、柳原本「任奉」、延良本・御巫本「仕奉行」ニ作ル。
- 4 賜―底本・延良本・御巫本「賜」、柳原本「贈」ニ作ル。田中校本ハ校異ヲ逸ス。
- 5 紀―底本「記」ニ誤ル。諸本ニ抛リ改ム。

難波忌寸(三五二)

大彥命之後也。阿倍氏遠祖大彥命、磯城瑞籬宮御宇天皇御世、遣治蝦夷之時、至於兔田墨坂、忽聞嬰兒啼泣。即認覓獲棄嬰兒。大彥命見而大歡。即訪求乳母、得兔田弟原媛。便付嬰兒曰、能養長安酬功。於是成人奉送之。大彥命爲子愛育、号曰得彦宿祢者。異說並存。

- 1 波―底本・柳原本「破」ニ誤ル。延良本・御巫本ニ抛リ改ム。
- 2 覓―底本・柳原本「不見」二字ニ作ル。但シ、底本、見セ消チニシテ右傍ニ「覓」ト記ス。
- 3 長―底本・延良本・御巫本此ノ字有ルモ、柳原本无シ。
- 4 酬―底本「酬」、諸本「酌」ニ作ル。「酌」ハ「酬」ノ俗字。
- 5 曰―底本・柳原本此ノ字有ルモ、延良本・御巫本无シ。

難波(三五三)

難波忌寸同祖。大彥命孫、波多武彥命之後也。

道守朝臣<sup>(二六三)</sup>

<sup>(二二九)</sup>八多朝臣

波多朝臣同祖。武内宿祢男、八多八代宿祢之後也。日本紀合。

- 1 男―底本・延良本・御巫本「男」一字二作ル。柳原本ニ「男之後也」トアルモ「之後也」ハ衍入カ。
- 2 紀―底本「記」ニ誤ル。諸本ニ抛リ改ム。
- 3 合―底本・柳原本「合」、延良本・御巫本「令」ニ作ル。

山口朝臣<sup>(二六四)</sup>

<sup>(二六三)</sup>道守朝臣同祖。

武内宿祢之後也。續日本紀合。

- 1 朝臣―底本・柳原本「々々」ニ作ルモ、延良本・御巫本ニ抛リ改ム。
- 2 道守―田中校本ハ「道守朝臣」ノ録番号ヲ「二六一」ト記スモ、「二六三」ノ誤リ。
- 3 武内宿祢之後也―底本ニハモト「大彥命孫派多武彥命之後也」ト有リ。「大彥命」ノ右傍ニ「武内宿祢之後也」ト記シ、「孫派多武彥命之後」ヲ抹消シ、其ノ右傍ニ「續日本紀合」ト記ス。
- 4 合―底本・柳原本「合」、延良本・御巫本「令」ニ作ル。

林朝臣<sup>(二六五)</sup>

同レ上。

- 1 朝臣―底本・柳原本「々々」ニ作ルモ、延良本・御巫本ニ抛リ改ム。
- 2 同上―底本・諸本・諸板本「同上」ニ作ル。考證本ハ之ニ代エテ「道守朝臣同祖武内宿祢之後也續日本紀令」ヲ補ウ。

道守臣<sup>(二六六)</sup>

<sup>(二七〇)</sup>道守朝臣同祖。

武内宿祢男、波多八代宿祢之後也。

- 1 朝臣―底本・柳原本「々々」ニ作ルモ、延良本・御巫本ニ抛リ改ム。

的臣<sup>(二六七)</sup>

<sup>(二七〇)</sup>道守朝臣同祖。

武内宿祢男、葛木曾都比古命之後也。

- 1 朝臣―底本・柳原本「々々」ニ作ルモ、延良本・御巫本ニ抛リ改ム。

塩屋連(三六)

同レ上。日本紀漏。○1

●2○3

- 1 同上―底本「同上」、延良本・御巫本「上同」ニ作ル。柳原本ハ「道守連同祖武内宿祢男葛木曾都比古命之後也」ニ作ル。
- 2 紀―底本「記」ニ誤ル。諸本ニ抛リ改ム。
- 3 漏―底本・延良本・御巫本「漏」、柳原本「合」ニ作ル。

小家連(三六)

塩屋連同祖。武内宿祢男、葛木襲津彦命之後也。○1

- 1 也―底本・延良本・御巫本此ノ字有ルモ、柳原本无シ。

原井連(三六)

同レ上。續日本紀漏。

早良臣(三七)

平群朝臣同祖。武内宿祢男、平群都久宿祢之後也。○1

- 1 久―底本「人」ニ作ルモ、諸本ニ抛リ改ム。

布忍首(三七)

的臣同祖。武内宿祢之後也。日本紀漏。●1○2

- 1 紀―底本「記」ニ誤ル。諸本ニ抛リ改ム。
- 2 漏―底本・延良本・御巫本「漏」、柳原本ニ「合」ニ作ル。

額田首(三七)

早良臣同祖。平群木兔宿祢之後也。不レ尋○1父氏○2、負○3母氏額田首○1。

- 1 木―底本・柳原本「木」、延良本・御巫本「大」ニ作ル。但シ、御巫本ハ左傍ニ朱筆テ「木イ」ト記ス。
- 2 父―底本「文」ニ近キ字ナレド、「父」トシテ可ナリ。柳原本「文」、延良本・御巫本「父」ニ作ル。
- 3 首―底本、コノ字ノ下「イ无」ト有リ。



紀祝<sup>(二七四)</sup>

建内宿祢男、紀角宿祢之後也。

1 内―底本・延良本・御巫本「内」ニ作ルモ、柳原本「内」ニ誤ル。

紀部<sup>(二七五)</sup>

建内宿祢男、都野宿祢命之後也。

1 内―底本・延良本・御巫本「内」ニ作ルモ、柳原本「内」ニ誤ル。

2 命―底本・諸本此ノ字有リ。白井板本・松下板本・群從本モ此ノ字有レド、橋本板本・考證本无シ。

3 之―底本・柳原本此ノ字有ルモ、延良本・御巫本无シ。諸板本モ「之」ノ字有リ。田中校本ハ校異ヲ逸ス。

蘇何<sup>(二七六)</sup>

彦太忍信命之後也。

1 蘇―底本・柳原本「蘇」、延良本・御巫本「蘇」ニ作ル。

大宅臣<sup>(二七七)</sup>

大春日同祖。天足彦國押人命之後也。

1 臣―底本・延良本・御巫本此ノ字有ルモ、柳原本无シ。

2 日―底本・諸本、此ノ下ニ姓无シ。橋本板本・考證本ハ「日」ノ下ニ「朝臣」ヲ補ウ。

3 之―底本・柳原本此ノ字有ルモ、延良本・御巫本无シ。

壬生臣<sup>(二七八)</sup>

大宅同祖。

1 宅―底本・諸本・白井板本・松下板本、此ノ下ニ姓无シ。橋本板本・考證本ハ「宅」ノ下ニ「臣」ヲ補ウ。

物部<sup>(二七九)</sup>

天足彦國押人命七世孫、米餅搗大使主命之後也。

● 日下部連 (二六〇)

彦坐命子、狹穗彦命之後也。

1 日下―底本「景」一字二作り、諸本「日下」二字二作ル。

川俣公 (二六一)

● 日下部連同祖。彦坐命之後也。

1 日下―底本「景」一字二作り、諸本「日下」二字二作ル。

豊階公 (二六二)

河俣公同祖。彦坐命男、澤道彦命之後也。

1 河―底本・諸本「河」二作ル。白井板本・松下板本「川」、群從本・橋本板本「河」二作ル。  
2 祖―底本・延良本・御巫本「祖」二作ルモ、柳原本ハ「祢」ニ誤ル。  
3 澤―底本・柳原本「澤」、延良本・御巫本「津」二作ル。

酒人造 (二六三)

● 日下部同祖。日本紀不見。

1 日下―底本「景」一字二作り、諸本「日下」二字二作ル。田中校本ハ「日下部」ノ録番号ヲ「二八四」ト記スモ、「二八〇」ノ誤リ。  
2 部―底本・諸本・白井板本・松下板本、此ノ下ニ姓无シ。橋本板本・考證本ハ「部」ノ下ニ「連」ヲ補ウ。  
3 紀―底本「記」ニ誤ル。諸本ニ抛リ改ム。

● 日下部 (二六四)

● 日下部連同祖。

1 日下―底本「景」一字二作り、諸本「日下」二字二作ル。

忍海部 (二六五)

● 開化天皇皇子、比古由牟須美命之後也。

1 皇―底本・諸本「々」ニ作ル。例ニ抛リ改ム。  
2 由―底本「由」ニ作ルモ、諸本「田」ニ誤ル。

茨田宿祢 (二六六)

多朝臣同祖。彦八井耳命之後也。男、野現宿祢、仁德天皇御代、造<sub>二</sub>茨

田堤。日本紀合。

1 耳―底本・柳原本此ノ字有ルモ、延良本・御巫本无シ。但シ、御巫本ハ〇印ヲ附シ、左傍ニ朱筆デ「耳イ」ト記ス。

2 堤―底本「提」ニ作ル。柳原本此ノ字无シ。延良本・御巫本ニ抛リ改ム。

3 紀―底本「記」ニ誤ル。諸本ニ抛リ改ム。

4 合―底本・柳原本「合」、延良本・御巫本「令」ニ作ル。

志紀縣主 (二六七)

多同祖。神八井耳命之後也。

1 多―底本・諸本、此ノ下ニ姓无シ。諸板本ハ「多」ノ下ニ「朝臣」ヲ補ウ。

2 祖―底本・延良本・御巫本此ノ字有ルモ、柳原本无シ。

紺口縣主 (二六八)

志紀縣主同祖。神八井耳命之後也。

1 縣主―底本「々々」ニ作ル。柳原本此ノ字无シ。延良本・御巫本ニ抛リ改ム。

2 也―底本・柳原本此ノ字无シ。延良本・御巫本ニ抛リ補ウ。

志紀首 (二六九)

志紀縣主同祖。神八井耳命之後也。

1 縣主―底本・柳原本「々々」ニ作ルモ、延良本・御巫本ニ抛リ改ム。

2 也―底本・柳原本此ノ字无シ。延良本・御巫本ニ抛リ補ウ。

下家連 (二七〇)

彦八井耳命之後也。

江首江人附<sup>(二五二)</sup>

彦八井耳命七世孫、來日津彦命之後也。<sup>1</sup>

1 江人附―底本・柳原本小字ニ作り、延良本・御巫本大字ニ作り、イズレモ本系本文ノ冒頭ニ置ク。標目ノ「江首」ニ附属スルモノト見テ体裁ヲ改ム。

2 目―底本・柳原本「自」、御巫本「同」ニ作ル。延良本ニ抛リ改ム。

3 命之後也―底本「大雨宿祖命之後」、柳原本「丈雨宿祢命之後」、延良本・御巫本「大雨宿祢大雄命之後也」ニ作ル。次条ノ標目ノ混入シタルモノト見テ「雨」ヲ「田」ニ改メタ上デ「大田宿祢」ノ四字ヲ次条ニ移シ(二一九二)註1参照)、且ツ橋本板本ニ抛リ「也」ヲ補ウ。

大田宿祢<sup>(二五三)</sup>

大碓命之後也。<sup>1</sup>

1 大田宿祢―底本ノ前条ニ有ル「大雨宿祢」ヲ移シ、本条ノ標目トス。底本・延良本・御巫本「大雨」、柳原本「丈雨」ニ作ルモ、考證本ニ抛リ改ム(二一九一)註3参照)。

2 大碓―底本・柳原本此ノ字无シ。延良本・御巫本「大雄」ニ作ル。諸板本ニ抛リ「大碓」ニ改メ補ウ。

3 也―底本・柳原本此ノ字无シ。延良本・御巫本ニ抛リ補ウ。

尾張部<sup>(二五四)</sup>

彦八井耳命之後也。

守公<sup>(二五五)</sup>

牟義公同祖。大碓命之後也。日本紀漏。<sup>1</sup>

1 碓―底本・柳原本「雄」ニ作ルモ、延良本・御巫本ニ抛リ改ム。

2 紀―底本「記」ニ誤ル。諸本ニ抛リ改ム。

阿禮首<sup>(二五六)</sup>

守公同祖。大碓命之後也。<sup>1</sup>

1 碓―底本・柳原本「雄」ニ作ルモ、延良本・御巫本ニ抛リ改ム。

廣來津公<sup>(三九六)</sup>

上毛野朝臣同祖。豐城入彥命之後也。三世孫、赤麻里、依家地名、負<sup>(三九六)</sup>尋來津君<sup>一</sup>者。

- 1 廣―底本・諸本「廣」ニ作ル。白井板本・松下板本・橋本板本モ「廣」ニ作ルモ、群従本ハ「尋」ニ作ル。
- 2 朝臣―底本・柳原本「々々」ニ作ルモ、延良本・御巫本ニ抛リ改ム。
- 3 入―底本此ノ字无シ。柳原本ハ「八」ニ作ル。延良本・御巫本ニ抛リ補ウ。
- 4 里―底本・諸本「里」ニ作ル。白井板本・松下板本・群従本モ「里」ニ作ルモ、橋本板本ハ「呂」ニ作ル。
- 5 來―底本・柳原本此ノ字无シ。延良本・御巫本ニ抛リ補ウ。

止美連<sup>(三九七)</sup>

尋來津公同祖。豐城入彥命之後也。四世孫、荒田別命男、田道公、被<sup>(三九七)</sup>遣<sup>二</sup>百濟國、娶<sup>三</sup>止美邑<sup>四</sup>吳女<sup>五</sup>生<sup>六</sup>男、田持君、三世孫、熊、次新羅等、欽<sup>七</sup>明天皇御世參來、新羅男吉雄、依<sup>八</sup>居賜<sup>九</sup>姓止美連<sup>一〇</sup>也。日本紀漏<sup>一一</sup>。

- 1 尋―底本・諸本「尋」ニ作ル。但シ、「三二六」「二九六」ハイズレモ「廣」ニ作り、「尋」ニ作ルハ「二〇八二」ノミ。
- 2 男―底本・柳原本「男」ニ作ル。延良本・御巫本ガ「男田別命男」ト記スハ誤リ。
- 3 邑―底本・延良本・御巫本「邑」、柳原本「色」ニ作ル。
- 4 田―底本此ノ字有ルモ、諸本无シ。
- 5 參―底本・柳原本此ノ字有ルモ、延良本・御巫本无シ。但シ、御巫本ハ〇ヲ挿入シ、左傍ニ「參イ」ト記ス。
- 6 吉―底本ハ「男」ノ下ニ〇印ヲ附シ、右傍ニ小字ニテ補ウ。諸本ハ本文ニ記スモ柳原本ハ「吉」、延良本・御巫本ハ「巨」ニ作り、御巫本ハ左傍ニ「吉イ」ト記ス。
- 7 止―底本・柳原本「止」、延良本「上」ニ作ル。御巫本「上」ニ作り、右傍ニ朱筆デ「止イ」、左傍ニ「止坎」ト記ス。
- 8 紀―底本「記」ニ誤ル。諸本ニ抛リ改ム。

村舉首<sup>(三九八)</sup>

豐城入彥命之後也。

- 1 村―底本・諸本「村」ニ作ル。松下板本・群従本・橋本板本「村」ニ作り、白井板本「林」ニ作ル。但シ、白井板本ハ「林」作村ト標目下ニ小字テ記ス。

佐伯直 (三九七)

大足彦忍代別天皇皇子、稻背入彦命之後也。日本紀不<sub>レ</sub>見。

- 1 皇―底本・諸本「々」ニ作ル。例ニ抛リ改ム。
- 2 紀―底本「記」ニ誤ル。諸本ニ抛リ改ム。

蕪宜部首 (三〇〇)

仲哀天皇皇子、譽屋別命之後也。日本紀漏。

- 1 蕪―底本・諸本「蕪」ニ作ル。「蕪」ハ、「蘇」ト同字。
- 2 皇―底本・諸本「々」ニ作ルモ、例ニ抛リ改ム。
- 3 紀―底本「記」ニ誤ル。諸本ニ抛リ改ム。

礮部臣 (三〇一)

同<sub>レ</sub>上。

- 1 礮―底本・諸本「礮」ニ作り、佐伯校本「礮」ニ作ル。両字通用スルモ、本来別字ナレバ底本ノ儘トス。

秦原 (三〇二)

譽田天皇皇子、大山守命之後也。

- 1 皇―底本・諸本「々」ニ作ル。例ニ抛リ改ム。

### 右第九卷

和泉國皇別

起道守朝臣、<sup>(三三)</sup>盡山公<sup>(三五)</sup>。卅三氏。<sup>○<sub>2</sub></sup>

- 1 盡―底本「盡」、諸本「盡」ニ作ル。「盡」「盡」ハ同字。
- 2 卅―底本・柳原本「卅」、延良本・御巫本「三十」ニ作ル。

道守朝臣

波多朝臣同祖。八多八代宿祢之後也。日本紀合。<sup>(二九・八多朝臣)</sup>  
<sup>●<sub>1</sub>○<sub>2</sub></sup>

- 1 紀―底本「記」ニ誤ル。諸本ニ抛リ改ム。
- 2 合―底本・柳原本「合」、延良本・御巫本「令」ニ作ル。

坂本朝臣

紀朝臣同祖。建内宿祢男、紀角宿祢之後也。男、<sup>(六・三三)</sup>白城宿祢三世孫、建

日臣、<sup>○<sub>2</sub></sup>因<sup>●<sub>3</sub></sup>居賜<sup>○<sub>2</sub></sup>姓坂本臣。日本紀合。<sup>●<sub>4</sub>○<sub>5</sub></sup>

- 1 白―底本・柳原本「白」、延良本・御巫本「日」ニ作ル。
- 2 臣―底本・延良本・御巫本「臣」、柳原本「巨」ニ作ル。
- 3 因―底本・諸本「同」ニ作ル。但シ、御巫本ハ左傍ニ朱筆デ「巨イ」ト記ス。諸板本ニ抛リ改ム。
- 4 紀―底本「記」ニ誤ル。諸本ニ抛リ改ム。
- 5 合―底本・柳原本「合」、延良本・御巫本「令」ニ作ル。

的臣

坂本朝臣同祖。建内宿祢男、葛城襲津彦命之後也。<sup>(一〇・一〇四)</sup>  
<sup>●<sub>1</sub></sup>

- 1 朝臣―底本・柳原本「々々」ニ作ルモ、延良本・御巫本ニ抛リ改ム。

布師臣

同<sup>レ</sup>上。

紀辛梶臣（三〇七）

建内宿祢男、紀角宿祢之後也。

1 辛―底本・柳原本「筆」（「辛」ノ異体字）ニ作ルモ、延良本・御巫本无シ。但シ、御巫本〇印ヲ附シ、左傍ニ朱筆テ「辛イ」ト記ス。

大家臣（三〇八）

建内宿祢男、紀角宿祢之後也。謚天智庚午年、依レ居（二）大家（一）、負（三）大宅臣姓（一）。

1 男―底本・柳原本此ノ字有ルモ、延良本・御巫本无シ。但シ、御巫本〇印ヲ附シ、左傍ニ朱筆テ「男イ」ト記ス。

2 年―底本「羊」ニ作ルモ、諸本ニ抛リ改ム。

3 宅―底本・諸本「宅」ニ作リ、諸板本モ「宅」ニ作ル。考證本・神典本ハ「家」ニ作ル。

掃守田首（三〇九）

武内宿祢男、紀角宿祢之後也。

丈部首（三一〇）

同レ上。

1 丈―底本・延良本・御巫本「丈」、柳原本「大」ニ作ル。

雀部臣（三一〇）

多朝臣同祖。神八井耳命之後也。

1 雀―底本・諸本「雀」ニ作ル（二三三七）註1参照。

小子部連（三一〇）

同神八井耳命之後也。

志紀縣主（三一〇）

雀部臣同祖。

1 雀―底本・柳原本「雀」、延良本・御巫本「雀」ニ見ユ（雀）「雀」ハ別字。佐伯校本・田中校本ハ字体ニハ触レズ。



膳臣<sup>(三三)</sup>

宇<sup>○</sup>太<sup>○</sup>臣<sup>○</sup>・松原臣・阿倍朝臣同祖。大鳥膳臣等、付<sup>○</sup>大彦命之後<sup>○</sup>也<sup>●</sup>。

- 1 太―底本「太」、柳原本「多」、延良本・御巫本「大」ニ作ル。
- 2 付―底本・諸本「付」ニ作ル。諸板本「并」ニ作り、群従本ハ小字右寄ニス。
- 3 之―底本・延良本・御巫本此ノ字有ルモ、柳原本无シ。
- 4 也―底本・柳原本此ノ字无シ。延良本・御巫本ニ抛リ補ウ。

他田<sup>(三三)</sup>

膳臣同祖。

葦占臣<sup>(三三)</sup>

大春<sup>○</sup>日同祖。天足彦國押人命之後也。

- 1 日―底本・延良本・御巫本此ノ字有ルモ、柳原本无シ。

物部<sup>(三三)</sup>

布留宿祢同祖。天足彦國押人命之後也。

- 1 國押人―底本・柳原本「大彦」ニ作ルモ、延良本・御巫本ニ抛リ改ム。

納部物部<sup>(三三)</sup>

同<sup>レ</sup>上。日本紀漏<sup>●</sup>。

- 1 紀―底本「記」ニ誤ル。諸本ニ抛リ改ム。

根連<sup>(三三)</sup>

同<sup>レ</sup>上。

櫛代造<sup>(三三)</sup>

同<sup>レ</sup>上。

● 日下部首 (三三〇)

● 日下部宿祢同祖。彦坐命之後也。  
(三三〇西)

- 1 日下―底本「景」一字二作り、諸本「日下」二字二作ル。

● 日下部 (三三一)

● 日下部首同祖。  
(三三一)

- 1 日下―底本「景」一字二作り、諸本「日下」二字二作ル。
- 2 日下―底本・柳原本「同」二作り、右傍ニ「日下イ」ト記ス。延良本・御巫本ニ抛リ改ム。

佐代公 (三三二)

上毛野朝臣同祖。豊城入彦命之後也。敏達天皇行幸吉野川瀬之時、  
(三三二)

依レ有勇事、負賜佐代公。  
(三三二)

- 1 朝臣―底本・柳原本「々々」ニ作ルモ、延良本・御巫本ニ抛リ改ム。
- 2 勇―底本「曾」ニ作ルモ、諸本ニ抛リ改ム。
- 3 事―底本「事」、諸本「夏」ニ作ル。

玆縣主 (三三四)

佐代公同祖。豊城入彦命三世孫、御諸別命之後也。日本紀漏。  
(三三四)

- 1 日本紀漏―底本・柳原本此ノ字有ルモ、延良本・御巫本无シ。但シ、御巫本ハ、右寄ニ朱筆テ「日本紀漏イ」ト記シ、其ノ左隣ニ薄キ朱ニテ「日本紀漏イ」ト同ジ文言ヲ後補ス。佐伯校本ハ朱筆ニ触レズ。

登美首 (三三五)

佐代公同祖。豊城入彦命男、倭日向建日向八綱田命之後也。日本紀漏。  
(三三五)

- 1 紀―底本「記」ニ誤ル。諸本ニ抛リ改ム。

葛原部 (三三六)

佐代公同祖。豊城入彦命三世孫、大御諸別命之後也。日本紀漏。<sup>●1</sup>

- 1 命―底本・諸本此ノ字无シ。但シ、御巫本ハ〇ヲ附シ、右傍ニ朱書ニテ「命イ」、左傍ニ朱書ニテ「命イ」ト後補ス。諸板本ニ抛リ補ウ。
- 2 紀―底本「記」ニ誤ル。諸本ニ抛リ改ム。

茨木造 (三三七)

豊城入彦命之後也。

丹比部 (三三六)

同レ上。日本紀漏。<sup>●1</sup>

- 1 紀―底本「記」ニ誤ル。諸本ニ抛リ改ム。

輕部 (三三六)

倭日向建日向八綱多命之後也。<sup>○1</sup> 雄略天皇御世、獻<sup>●2</sup>加里乃郷<sup>○3</sup>、仍賜<sup>○3</sup>姓輕部君<sup>一</sup>。

- 1 多―底本・柳原本「多」、延良本・御巫本「田」ニ作ル。
- 2 後―底本此ノ字无シ。諸本ニ抛リ補ウ。
- 3 略―底本・柳原本「略」、延良本・御巫本「畧」ニ作ル。

和氣公 (三三〇)

犬上朝臣同祖。倭建尊之後也。

縣主 (三三〇)

和氣公同祖。日本武尊之後也。

酒部公 (三三〇)

讚岐公同祖。神櫛別命之後也。

池田首(三三四)

景行天皇皇子、大碓命之後也。日本紀漏。○<sub>1</sub> ○<sub>2</sub> ○<sub>3</sub>

- 1 皇―底本・諸本「々」ニ作ル。例ニ抛リ改ム。
- 2 碓―底本・柳原本「雄」ニ作ルモ、延良本・御巫本ニ抛リ改ム。
- 3 日本紀漏―底本・柳原本此ノ字有ルモ、延良本・御巫本无シ。但シ、御巫本ハ小字右寄朱書ニテ「日本紀漏イ」ト後補ス。佐伯校本ハ傍書ニハ触レズ。

聿本(三三四)

倭建尊三世孫、大荒田命之後也。○<sub>1</sub> ○<sub>2</sub>

- 1 聿―底本・柳原本「聿」ニ作ル。御巫本・延良本「聿」ニ作ル。「聿」「聿」ハ同字。
- 2 本―底本・諸本「本」ニ作ル。但シ、御巫本ハ左傍ニ朱筆デ「木イ」ト註ス。諸板本ハ「木」ニ作ル。
- 3 田―底本・諸本「田」ニ作り、白井板本・松下板本モ「田」ニ作ル。群從本ハ「田」ノ下ニ「別」ヲ補イ、橋本板本モ「田別」ニ作ル。

山公(三三四)

垂仁天皇皇子、五十日足彦別命之後也。○<sub>1</sub>

- 1 皇―底本・諸本「々」ニ作ル。例ニ抛リ改ム。

右第十卷

